

稚内市
「第3期子ども・子育て支援事業計画」
策定のためのアンケート調査

結果報告書

令和6年3月

□ ■ 目 次 ■ □

調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
3. 報告書のみかた	1
就学前児童のいる世帯の調査結果	2
お住まいの地域について	2
(1) 居住地区	2
お子さんご家族の状況について	3
(2) お子さんの年齢	3
(3) 回答者とお子さんの関係	3
(4) 回答者の配偶関係	4
(5) お子さんの子育てを主に行っている方	4
「定期的な」教育・保育の利用状況について	5
(6) 利用している定期的な教育・保育の事業、今後の利用希望	5
(7) 教育・保育施設等を利用したい場所	7
(8) 教育・保育施設等を利用していない主な理由	8
「不定期な」教育・保育の利用状況について	9
(9) 「不定期に」利用したい一時預かり事業	9
(10) 一時預かり事業の利用を希望しない理由	11
子育て支援事業の利用状況について	12
(11) 地域子育て支援事業の利用有無	12
(12) 地域子育て支援事業の今後の利用希望	15
(13) 地域子育て支援事業の利用を希望しない理由	18
病気やけがの際の対応について	19
(14) 病児・病後児保育について	19
(15) 病児・病後児保育の利用希望	20
(16) 病児・病後児保育を利用したいと思わない理由	20
(17) 事業の利用を希望しない理由	21
(宛名のお子さんが5歳以上である方)	1
小学校就学後の放課後の過ごし方について	22
(18) 放課後の過ごし方	22
保護者の就労状況・職場の両立支援について	24
(19) 保護者【母親】の就労状況	24
(20) 普段の就労時間帯	24
(21) 育児休業取得の有無	25
(22) 保護者【父親】の就労状況	25
(23) 普段の就労時間帯	26
(24) 育児休業取得の有無	26
子どもの育ちを巡る環境について	27
(25) 子育てに関しての相談先	27
(26) 子育てに関して希望するサポート	27

稚内市の子育て環境全般への評価や意向.....	28
(27) 稚内市の子育て環境について.....	28
(28) 望ましい子育て支援施策.....	29
(29) 子育て施策などの情報の入手先.....	30
(30) 子育てファイル「あゆみ」の活用頻度.....	31
子どもの居場所.....	32
(31) 日中にあそぶ場所.....	32
(32) 子どもの遊び場で困ること・困ったこと.....	33
児童虐待について.....	34
(33) 児童虐待について知っていること.....	34
(34) 児童虐待の通報先.....	35
ヤングケアラー関係.....	36
(35) ヤングケアラーについて.....	36
(36) ヤングケアラーと思われるお子さんの有無.....	36
(37) ヤングケアラーへの支援として必要なこと.....	37
子どもへのスマホやネットの影響について.....	38
(38) スマホやタブレットを与えているか.....	38
(39) 使用開始の年齢.....	38
(40) スマホやタブレットを与えることへの悩みや不安.....	39
安全・安心な地域づくりについて.....	40
(41) 防犯活動について.....	40
(42) 災害を受ける可能性の知識の有無.....	40
(43) 避難する方法.....	41
今後の市の取り組みについて.....	42
(44) 子育て環境や支援への満足度.....	42
(45) 子育て支援の取り組みについて.....	43
(46) 自由意見.....	44
小学生のいる世帯の調査結果.....	45
お住まいの地域について.....	45
(1) 居住地区.....	45
お子さんとご家族の状況について.....	46
(2) お子さんの年齢.....	46
(3) きょうだいの数.....	46
(3-1) きょうだいの年齢.....	47
(4) 回答者とお子さんの関係.....	47
(5) 回答者の配偶関係.....	48
(6) お子さんの子育てを主に行っている方.....	48
子どもの育ちを巡る環境について.....	49
(7) 気軽に相談できる相手・場所.....	49
(8) 希望する周囲からのサポート.....	49
保護者の就労状況について.....	50
(9) 保護者【母親】の就労状況.....	50
(9-1) 普段の就労時間.....	50
(9-2) 普段の就労時間帯.....	51
(10) 育児休暇取得の有無.....	51

(11) 保護者【父親】の就労状況	52
(11-1) 普段の就労時間	52
(11-2) 普段の就労時間帯	53
(12) 育児休暇取得の有無	53
お子さんの病気等の対応について	54
(13) 子どもが病気・病気の回復期等で学校を休んだ場合の対応方法	54
(13-1) 病児・病後児のための保育施設等の利用意向	55
(13-2) 病児・病後児のための保育施設等を利用したくない理由	56
(13-3) 仕事を休んで看たいか	57
放課後の過ごし方について	58
(14) 放課後の時間を過ごさせたい場所	58
(15) 放課後児童クラブの利用希望の有無	59
稚内市の子育て環境全般への評価や意向	60
(16) 稚内市の子育て環境について	60
(17) 望ましい子育て支援施策	61
(18) 子育て施策の情報の入手先	62
(19) 子育てファイル「あゆみ」の活用頻度	63
子どもの居場所	64
(20) 日中にあそぶ場所	64
(21) 子どもの遊び場で困ること・困ったこと	65
児童虐待について	66
(22) 児童虐待について知っていること	66
(23) 児童虐待の通報先	66
ヤングケアラー関係	67
(24) ヤングケアラーについて	67
(25) ヤングケアラーと思われるお子さんの有無	67
(26) ヤングケアラーへの支援として必要なこと	68
子どもへのスマホやネットの影響について	69
(27) スマホやタブレットを与えているか	69
(28) 使用開始の年齢	69
(29) スマホやタブレットを与えることへの悩みや不安	70
安全・安心な地域づくりについて	71
(30) 防犯活動について	71
(31) 災害を受ける可能性の知識の有無	71
(32) 避難する方法	72
さいごに	73
(33) 子育て環境や支援への満足度	73
(34) 子育て支援の取り組みについて	74
(35) 自由意見	75

調査の概要

1. 調査の目的

「第3期稚内市子ども・子育て支援事業計画（令和7～11年度）」の策定を進めるにあたり、子育て家庭の生活状況や市の施策に対する、保護者の皆様のご意見・ご要望を計画に反映させるため、本調査を実施しました。

2. 調査の方法

(1) 就学前児童のいる世帯

- 調査対象：本市在住の小学校入学前児童がいる世帯
- 調査期間：令和6年1月29日～令和6年2月18日
- 調査方法：郵送配布・回収、WEB回答
- 配布・回収：

配布数	回収数		回収率
758 票	348 票		約 45.9%
	WEB	紙	
	187 票	161 票	

(2) 小学生のいる世帯

- 調査対象：本市在住の小学生がいる世帯
- 調査期間：令和6年1月29日～令和6年2月18日
- 調査方法：郵送配布・回収、WEB回答
- 配布・回収：

配布数	回収数		回収率
750 票	329 票		約 43.9%
	WEB	紙	
	216 票	113 票	

3. 報告書のみかた

この調査の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分比による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を100%として算出し、本文および図表の数字に関しては、全て小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表記します。また、複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがあります。
- 設問の中には前問に答えた人のみが答える「限定設問」があり、表中の「回答者数」が全体より少なくなる場合があります。

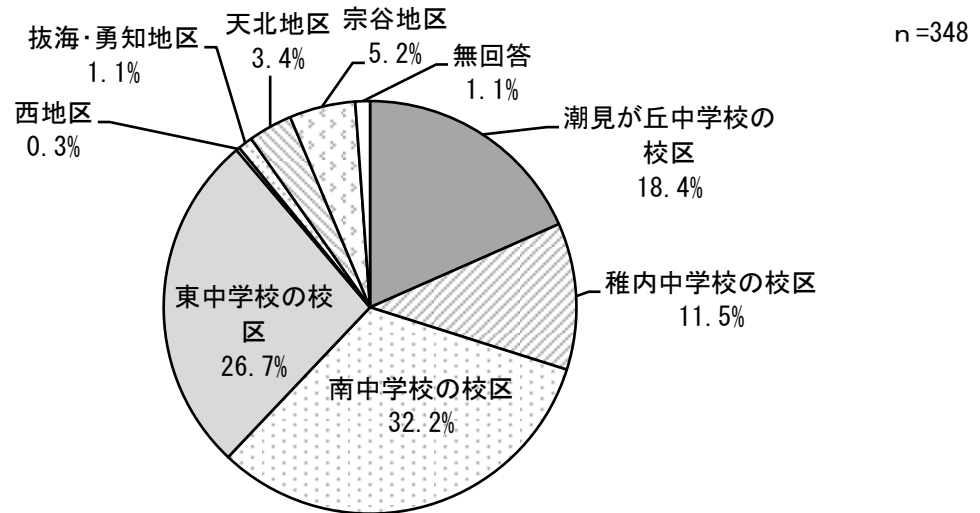
就学前児童のいる世帯の調査結果

お住まいの地域について

(1) 居住地区

問1 お住まいの地区をお答えください。(1つに○)

住まいの地区は、「南中学校の校区」が32.2%と最も多く、次いで「東中学校の校区」が26.7%、「潮見が丘中学校の校区」が18.4%となっています。

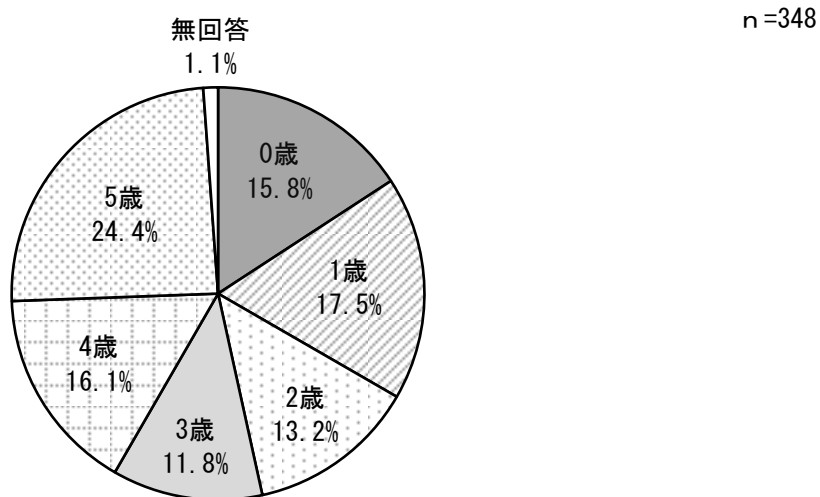


お子さんとご家族の状況について

(2) お子さんの年齢

問2 宛名のお子さんの年齢（令和5年4月1日現在）をお答えください。（1つに○）

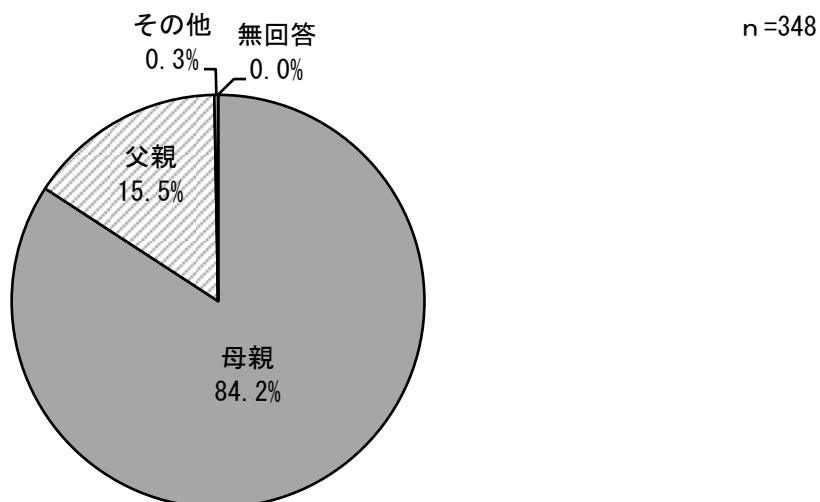
子どもの年齢は、「5歳」が24.4%と最も多く、次いで「1歳」が17.5%、「4歳」が16.1%となっています。



(3) 回答者とお子さんの関係

問3 この調査にご回答いただく方はどなたですか。（1つに○）

回答者は、「母親」が84.2%と最も多く、次いで「父親」が15.5%、「その他」が0.3%となっています。

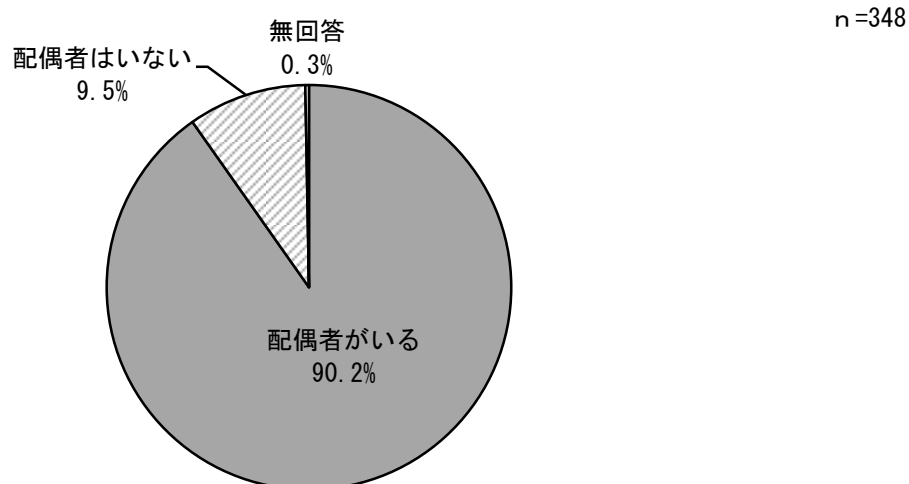


【その他】
保育者

(4) 回答者の配偶関係

問4 この調査にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。(1つに○)

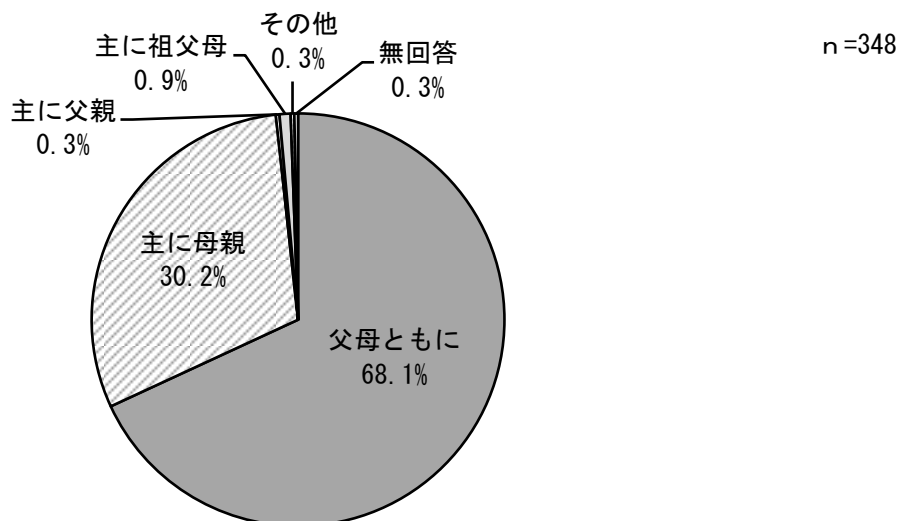
回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」が90.2%、「配偶者はいない」が9.5%となっています。



(5) お子さんの子育てを主に行っている方

問5 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っている方をお答えください。(1つに○)

子育て(教育を含む)を主に行っている人は、「父母ともに」が68.1%と最も多く、次いで「主に母親」が30.2%、「主に祖父母」が0.9%となっています。



【その他】
保育者

「定期的な」教育・保育の利用状況について

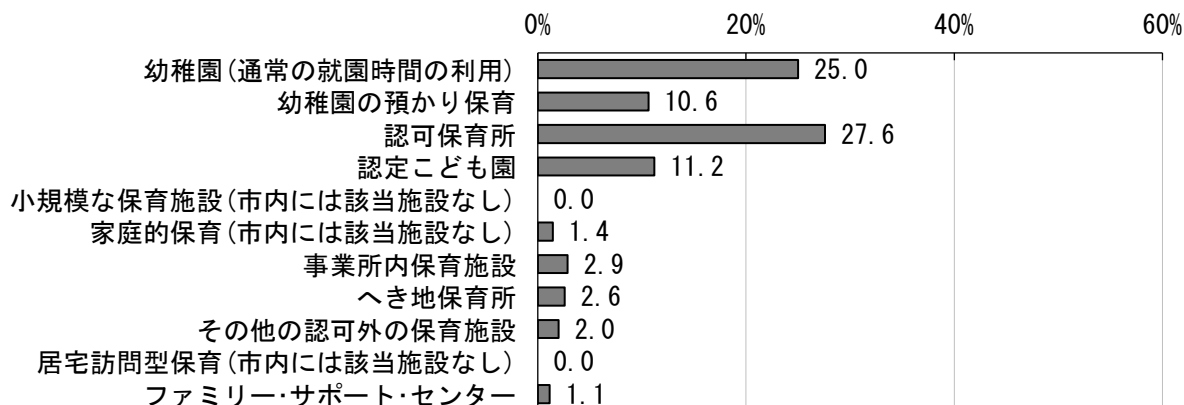
(6) 利用している定期的な教育・保育の事業、今後の利用希望

問6 宛名のお子さんは、現在「定期的に」以下の事業を利用していますか。また、今後はいつ「定期的に」利用したいですか。(あてはまるものすべてに○)

【現在利用している】

定期的にご利用している事業は、「認可保育所」が27.6%と最も多く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が25.0%、「認定こども園」が11.2%となっています。

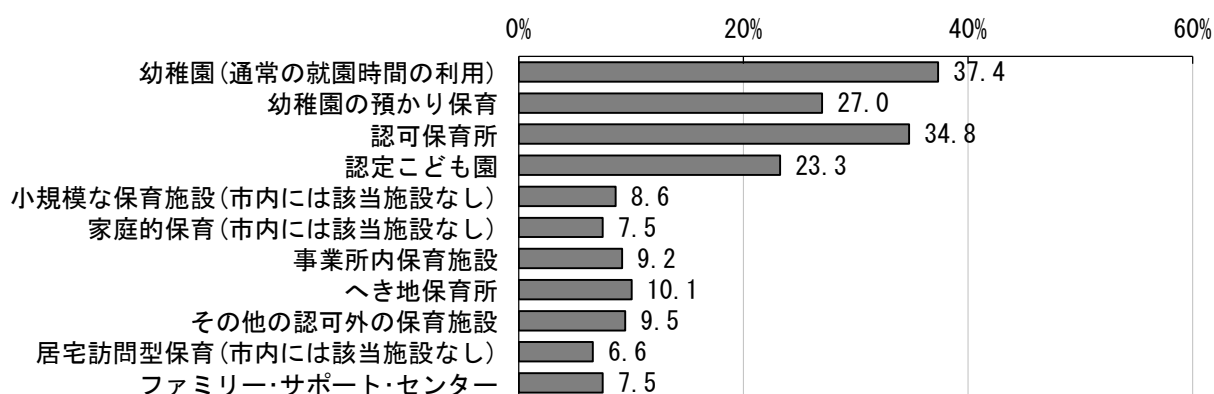
n=348



【今後の利用希望（平日）】

平日に利用したい事業は、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が37.4%と最も多く、次いで「認可保育所」が34.8%、「幼稚園の預かり保育」が27.0%となっています。

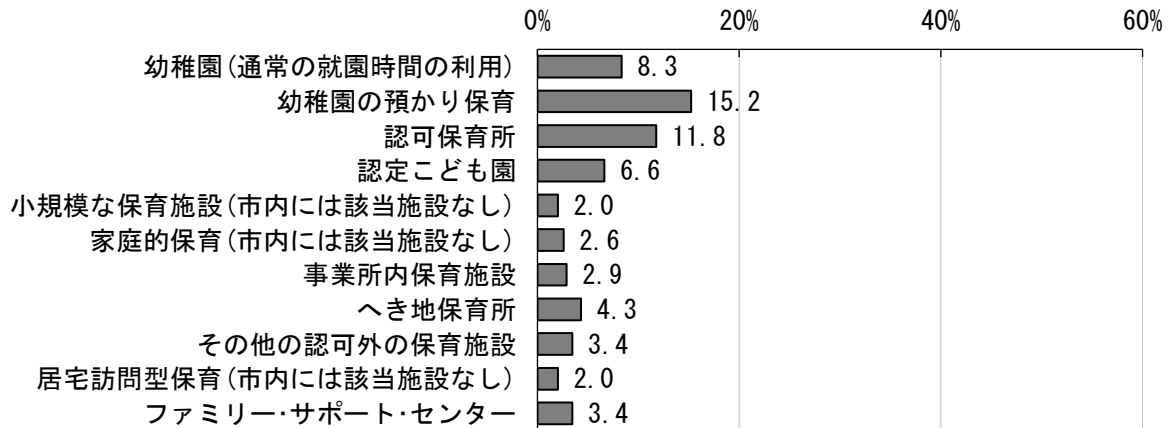
n=348



【今後の利用希望（お子さんの長期休暇期間中）】

子どもの長期休暇期間中に利用したい事業は、「幼稚園の預かり保育」が15.2%と最も多く、次いで「認可保育所」が11.8%、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が8.3%となっています。

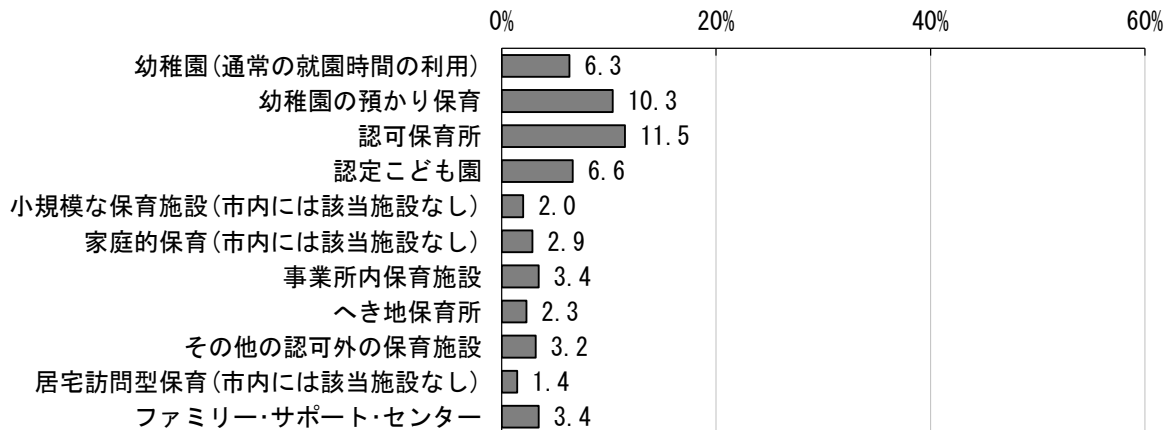
n=348



【今後の利用希望（土曜日）】

土曜日に利用したい事業は、「認可保育所」が11.5%と最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」が10.3%、「認定こども園」が6.6%となっています。

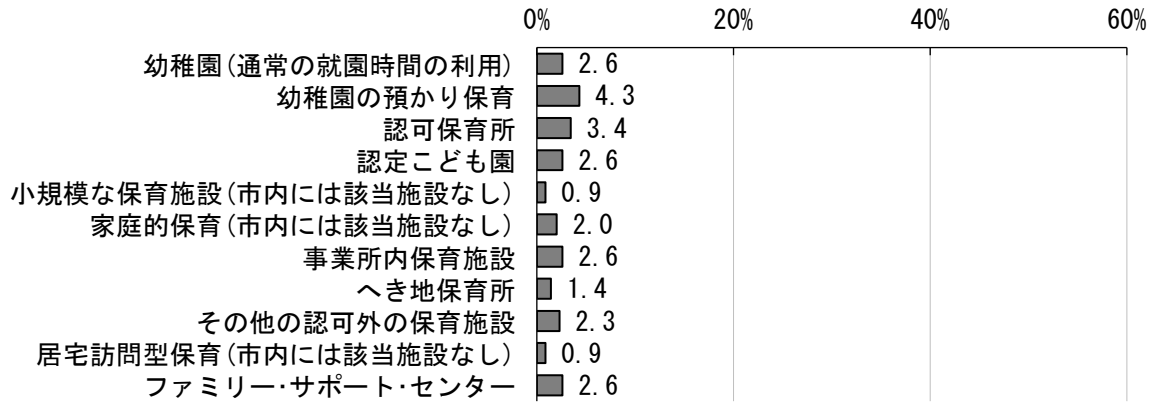
n=348



【今後の利用希望（日曜・祝日）】

日曜・祝日に利用したい事業は、「幼稚園の預かり保育」が 4.3%と最も多く、次いで「認可保育所」が 3.4%、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」、「認定こども園」、「事業所内保育施設」、「ファミリー・サポート・センター」がそれぞれ 2.6%となっています。

n=348



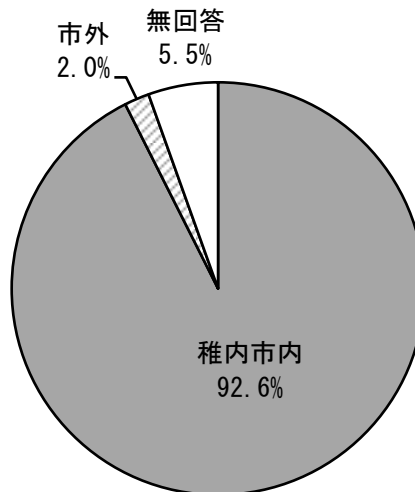
(7) 教育・保育施設等を利用したい場所

問7 問6で1つでも「2～5」を選んだ方にうかがいます。

教育・保育事業を利用したい場所をお答えください。(1つに○)

教育・保育事業を利用したい場所は、「稚内市内」が 92.6%、「市外」が 2.0%となっています。

n=256

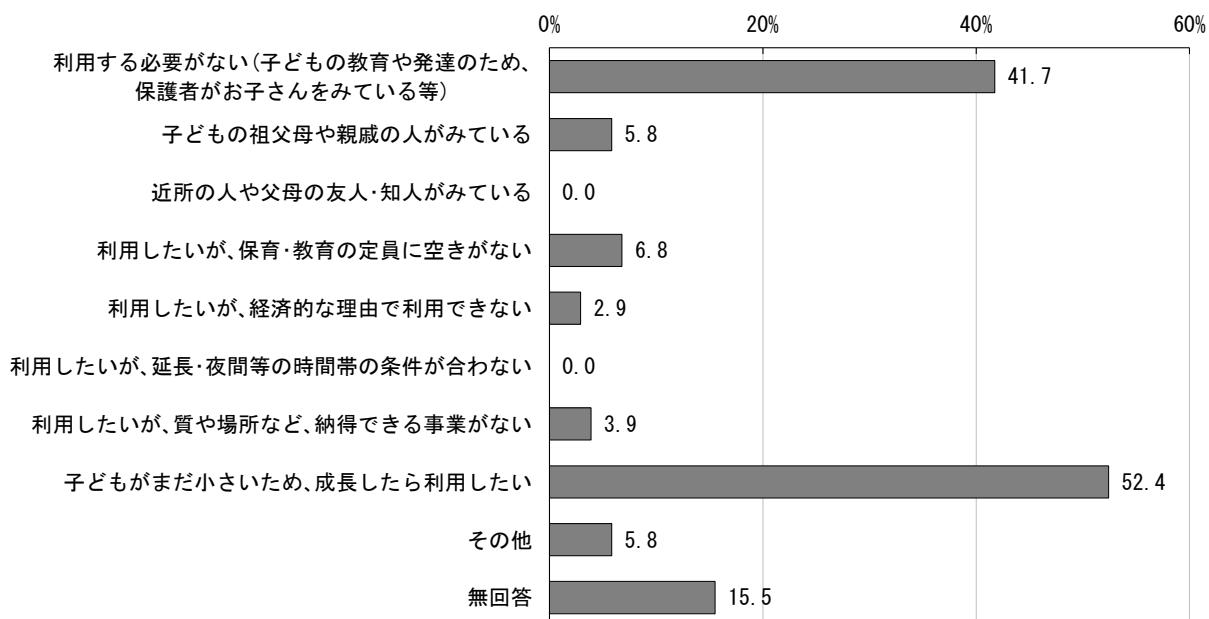


(8) 教育・保育施設等を利用していない主な理由

問8 問6で1つも「1」を選ばなかった方にうかがいます。
教育・保育事業を利用していない理由は何ですか。主な理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

教育・保育事業を利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため、成長したら利用したい」が52.4%と最も多く、次いで「利用する必要がない(子どもの教育や発達のため、保護者がお子さんをみている等)」が41.7%、「利用したいが、保育・教育の定員に空きがない」が6.8%となっています。

n=103



【その他】

- 4月に入園予定
- 利用したいが、1歳から預けられる場所、環境がない
- ファミサポに登録しているが、利用していない。
- 育児休暇中
- 利用したいが利用することで感染症に罹患し、休暇を取得することが難しいため。
- 現在申請中のため

「不規則な」教育・保育の利用状況について

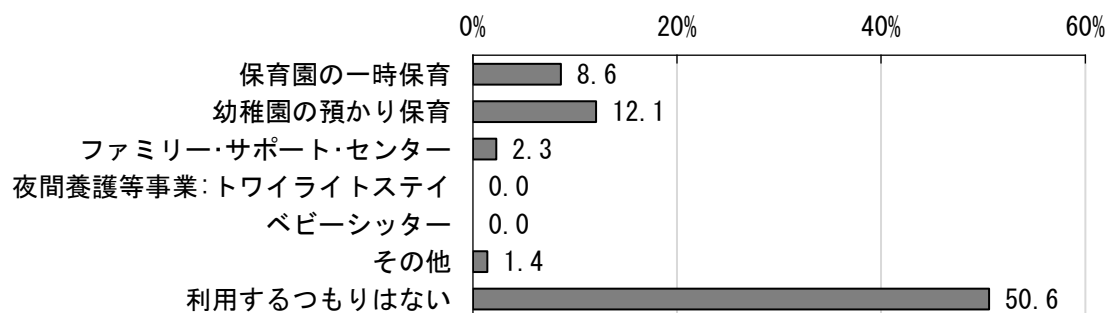
(9) 「不規則に」利用したい一時預かり事業

問9 宛名のお子さんについて、今後「不規則に」利用したい一時預かり事業はありますか。(あてはまるものすべてに○)

【現在利用している】

不規則に利用したい一時預かり事業は、「利用するつもりはない」が 50.6%と最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」が 12.1%、「保育園の一時保育」が 8.6%となっています。

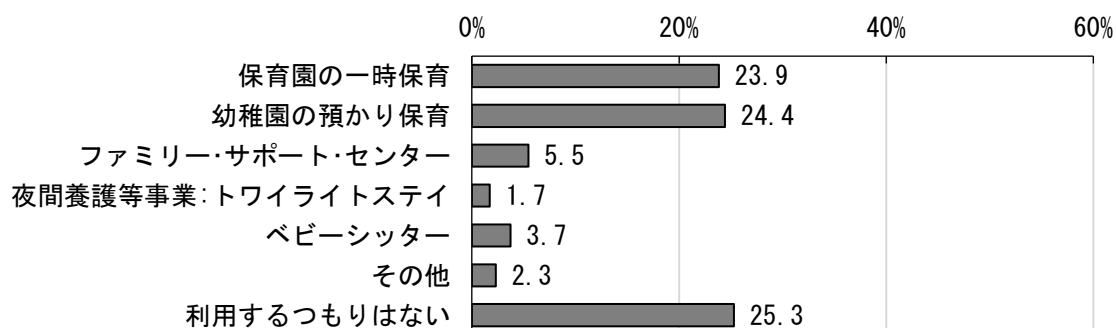
n=348



【今後の利用希望 (平日)】

平日に利用したい一時預かり事業は、「利用するつもりはない」が 25.3%と最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」が 24.4%、「保育園の一時保育」が 23.9%となっています。

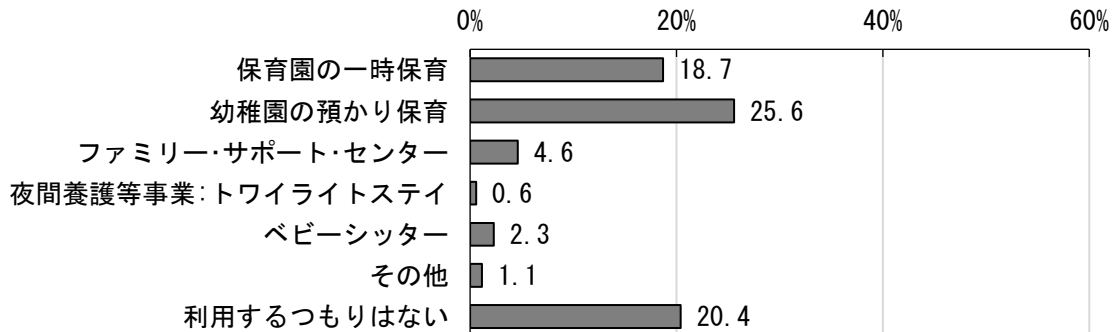
n=348



【今後の利用希望（お子さんの長期休暇期間中）】

子どもの長期休暇期間中に利用したい一時預かり事業は、「幼稚園の預かり保育」が 25.6%と最も多く、次いで「利用するつもりはない」が 20.4%、「保育園の一時保育」が 18.7%となっています。

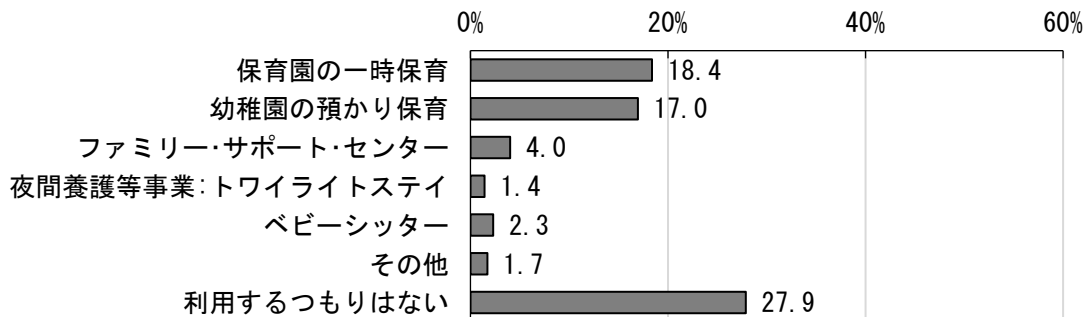
n=348



【今後の利用希望（土曜日）】

土曜日に利用したい一時預かり事業は、「利用するつもりはない」が 27.9%と最も多く、次いで「保育園の一時保育」が 18.4%、「幼稚園の預かり保育」が 17.0%となっています。

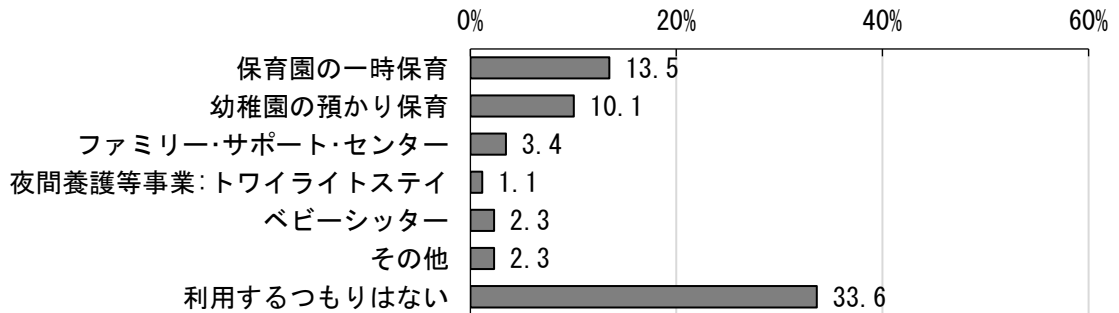
n=348



【今後の利用希望（日曜・祝日）】

日曜・祝日に利用したい一時預かり事業は、「利用するつもりはない」が33.6%と最も多く、次いで「保育園の一時保育」が13.5%、「幼稚園の預かり保育」が10.1%となっています。

n=348



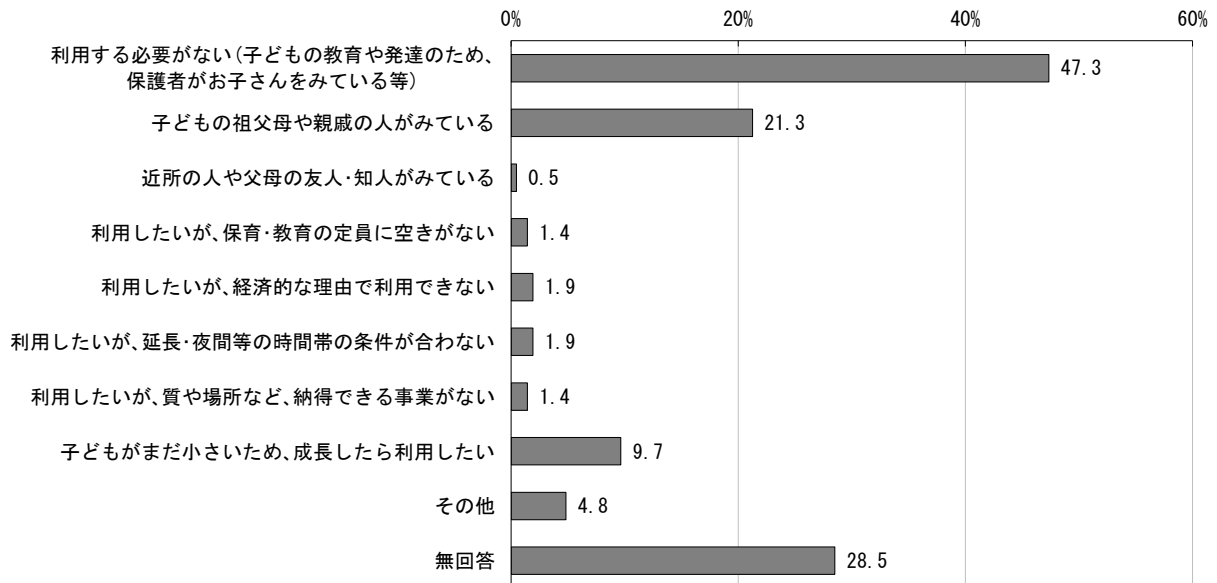
(10) 一時預かり事業の利用を希望しない理由

問10 問9で「7」を選んだ方にうかがいます。

一時預かり事業の利用を希望しない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

一時預かり事業の利用を希望しない理由は、「利用する必要がある（子どもの教育や発達のため、保護者がお子さんを見ている等）」が47.3%と最も多く、次いで「子どもの祖父母や親戚の人がみている」が21.3%、「子どもがまだ小さいため、成長したら利用したい」が9.7%となっています。

n=207



【その他】

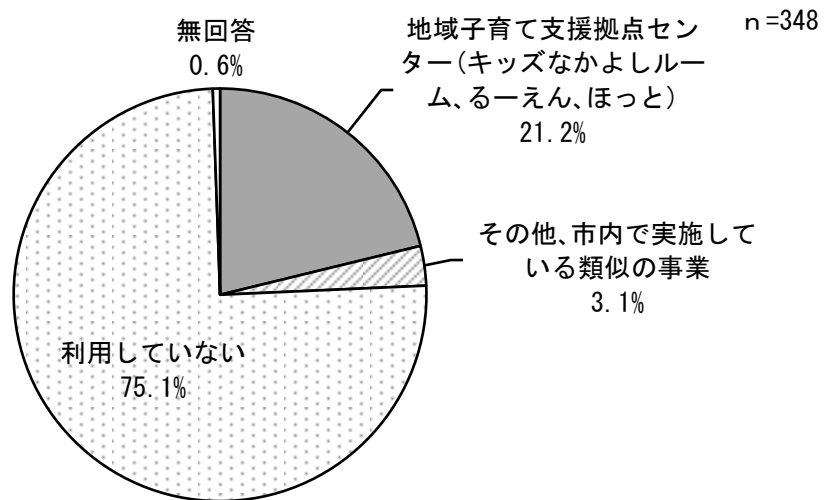
- 職場が自営だから
- 保育園に預けているため
- 気軽に預けられない

子育て支援事業の利用状況について

(11) 地域子育て支援事業の利用有無

問 11 あて名のおさんは、現在、地域子育て支援センター（キッズなかよしルーム、るーえん、ほっと）を利用していますか。（あてはまるものすべてに○）また、おおよその利用回数（頻度）を[]内に数字でご記入ください。

地域子育て支援センター（キッズなかよしルーム、るーえん、ほっと）を利用しているかは、「利用していない」が75.1%と最も多く、次いで「地域子育て支援拠点センター（キッズなかよしルーム、るーえん、ほっと）」が21.2%、「その他、市内で実施している類似の事業」が3.1%となっています。



【その他】

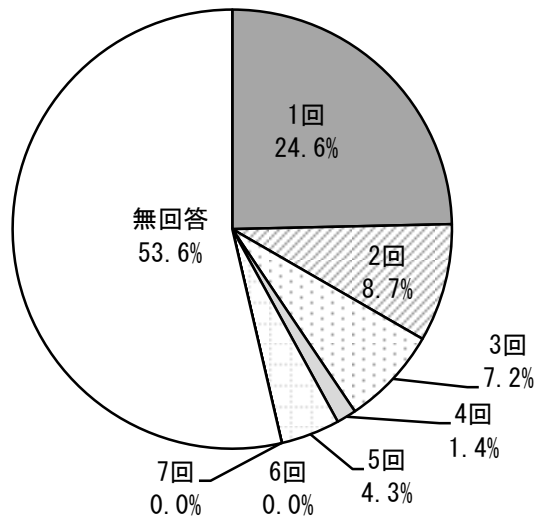
○鈴蘭幼稚園子ども館／ちびっこ広場／ママカフェ／鈴蘭こども園のこども館／ひかり幼稚園あそびんこ／親子スポーツ教室／宗谷健幸人プロジェクト／キタカラ／ふれあい公園／トドックステーション

【地域子育て支援拠点センター（キッズなかよしルーム、るーえん、ほっと）の利用状況】

<週当たり>

利用状況は、「1回」が24.6%と最も多く、次いで「2回」が8.7%、「3回」が7.2%となっています。

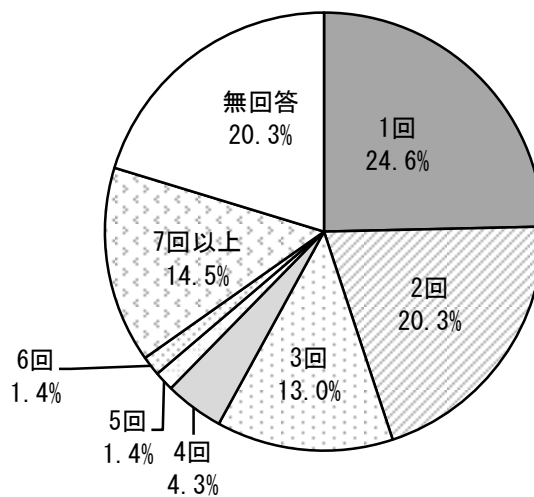
n=69



<月当たり>

利用状況は、「1回」が24.6%と最も多く、次いで「2回」が20.3%、「7回以上」が14.5%となっています。

n=69

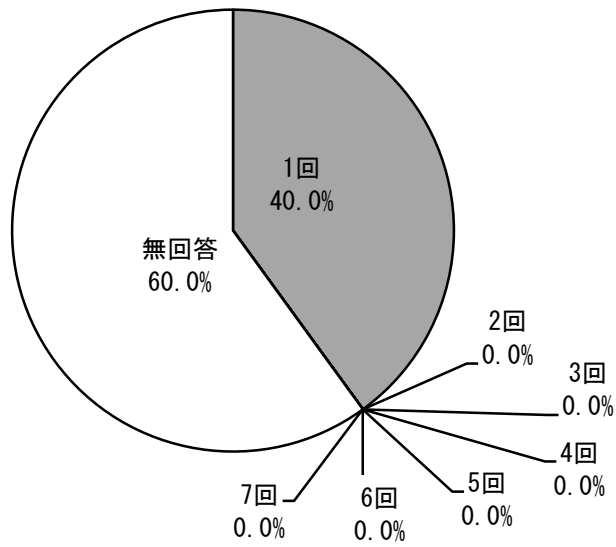


【その他、市内で実施している類似の事業の利用状況】

<週当たり>

利用状況は、「1回」が40.0%となっています。

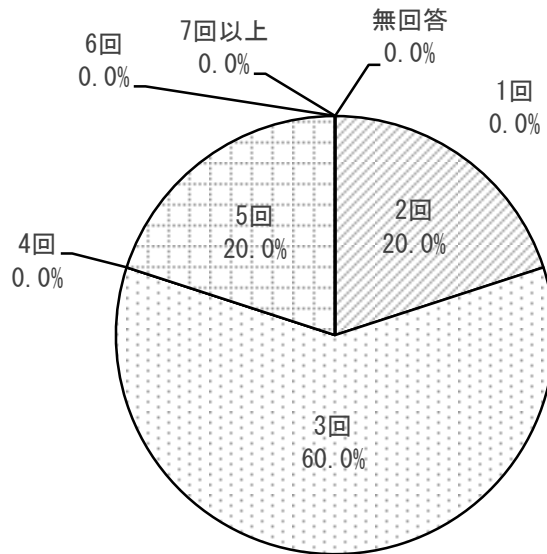
n=5



<月当たり>

利用状況は、「3回」が60.0%と最も多く、次いで「2回」、「5回」がそれぞれ20.0%となっています。

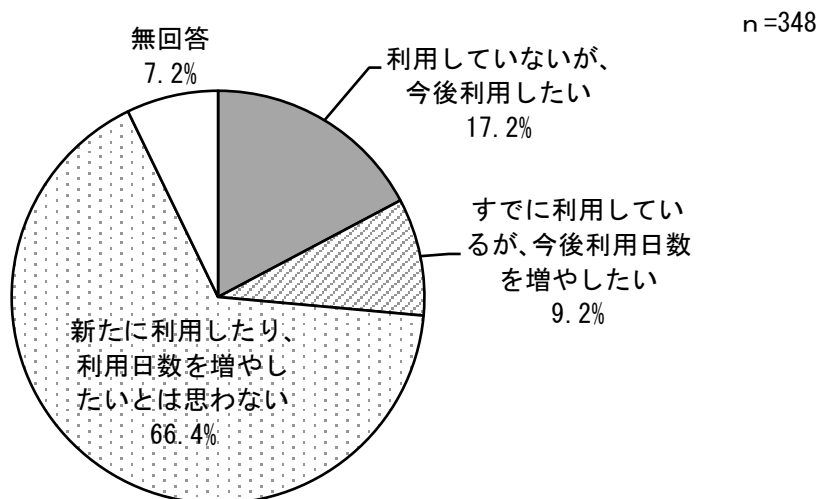
n=5



(12) 地域子育て支援事業の今後の利用希望

問 12 上記のような地域子育て支援センターについて、現在は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。(1つに○) また、おおよその利用回数(頻度)を[]内に数字でご記入ください。

現在は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思うかは、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が66.4%と最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が17.2%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が9.2%となっています。

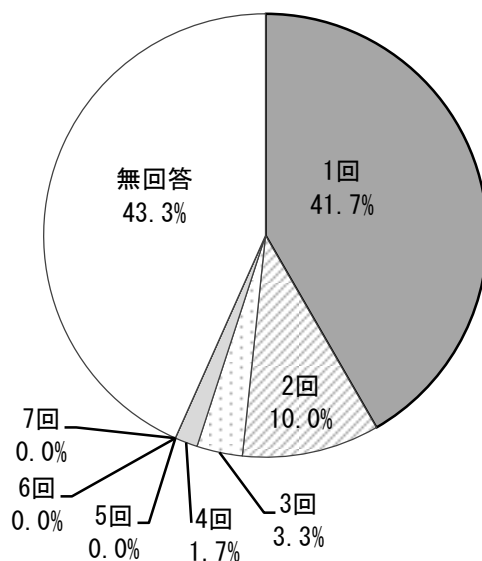


【地域子育て支援センターの利用状況】

<週当たり>

利用回数（頻度）は、「1回」が41.7%と最も多く、次いで「2回」が10.0%、「3回」が3.3%となっています。

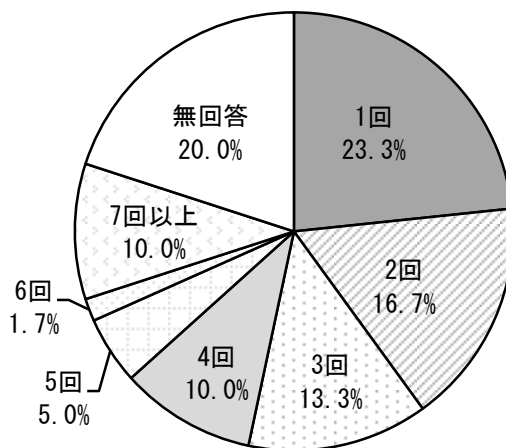
n=60



<月当たり>

利用回数（頻度）は、「1回」23.3%が最も多く、次いで「2回」が16.7%、「3回」が13.3%となっています。

n=60

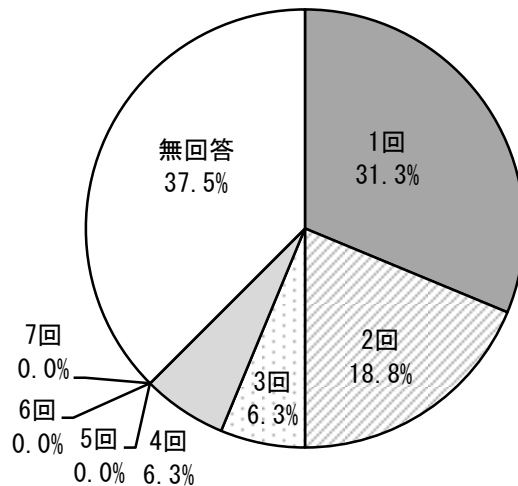


【その他、市内で実施している類似の事業の利用状況】

<週当たり>

利用状況は、「1回」が31.3%と最も多く、次いで「2回」が18.8、「3回」、「4回」がそれぞれ6.3%となっています。

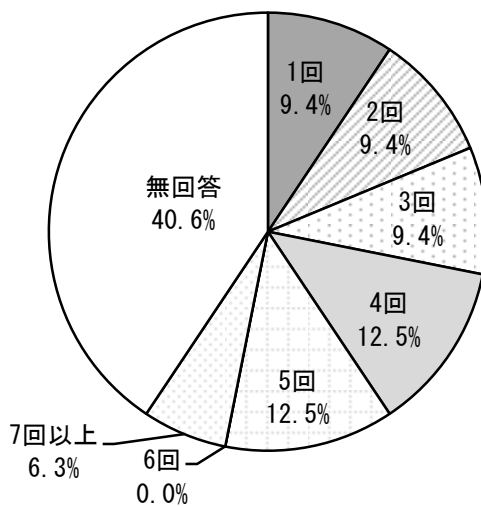
n=32



<月当たり>

利用状況は、「4回」、「5回」がそれぞれ12.5%と最も多く、次いで「1回」、「2回」、「3回」がそれぞれ9.4%となっています。

n=32

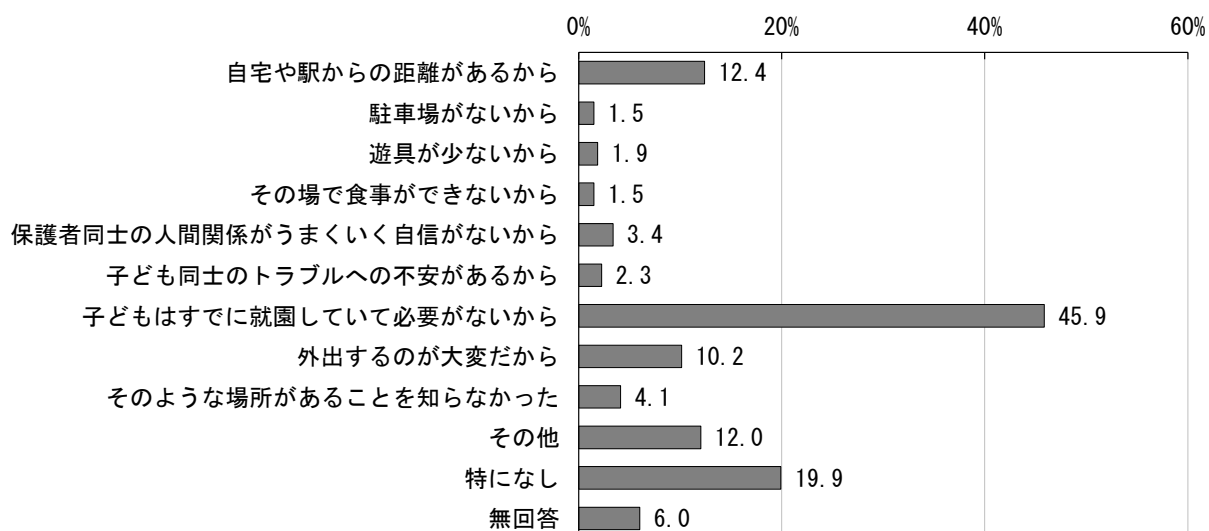


(13) 地域子育て支援事業の利用を希望しない理由

問 13 利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

利用していない理由は、「子どもはすでに就園していて必要がないから」が 45.9%と最も多く、次いで「特になし」が 19.9%、「自宅や駅からの距離があるから」が 12.4%となっています。

n=266



【その他】

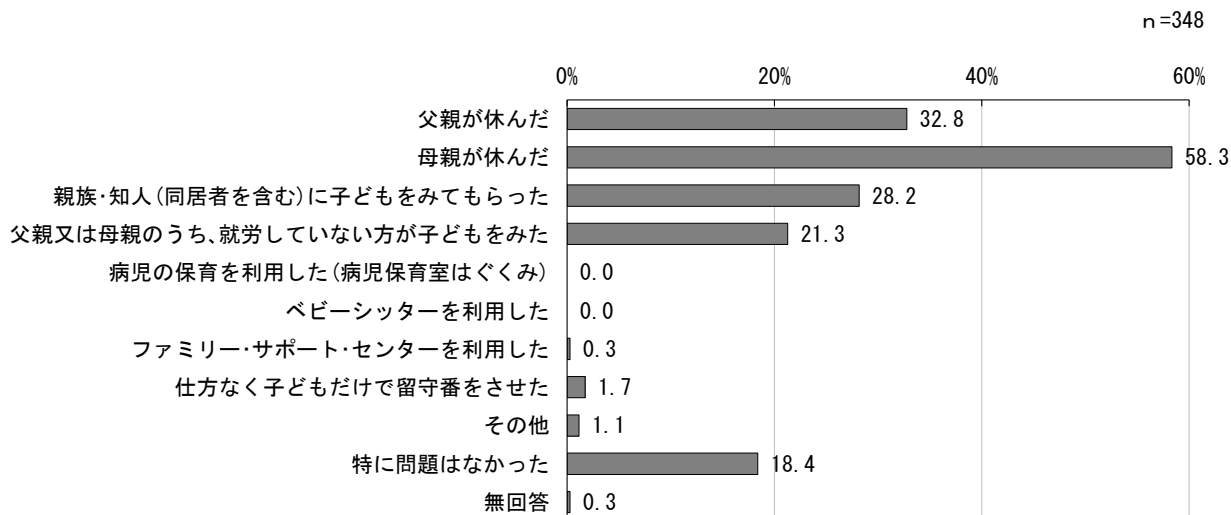
- 保育所に通っているから、休みの日は父母と過ごす
- 季節にもよるが、運転テクニックに自信がなく、なかなか外出ができないから。駐車場がよっぽど狭くないと出られない…
- 充分通っているから。週2～3回いけばそれ以上はよいかなと。
- 仕事をしていて時間が合わない
- 入園前はほっとを利用して、子どもたちはみんなお世話になりました。
- 下の子（3ヶ月）をつれて一緒に行くのが大変だから
- 就園予定なので
- 妻が現在働いていないため
- まだ小さいから
- 普段は事業所内保育施設を利用して日程が合わないから

病気やけがの際の対応について

(14) 病児・病後児保育について

問 14 宛名のお子さんが、病気やけがで通常の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

子どもが病気やけがで通常の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法は、「母親が休んだ」が58.3%と最も多く、次いで「父親が休んだ」が32.8%、「親族・知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった」が28.2%となっています。



【その他】

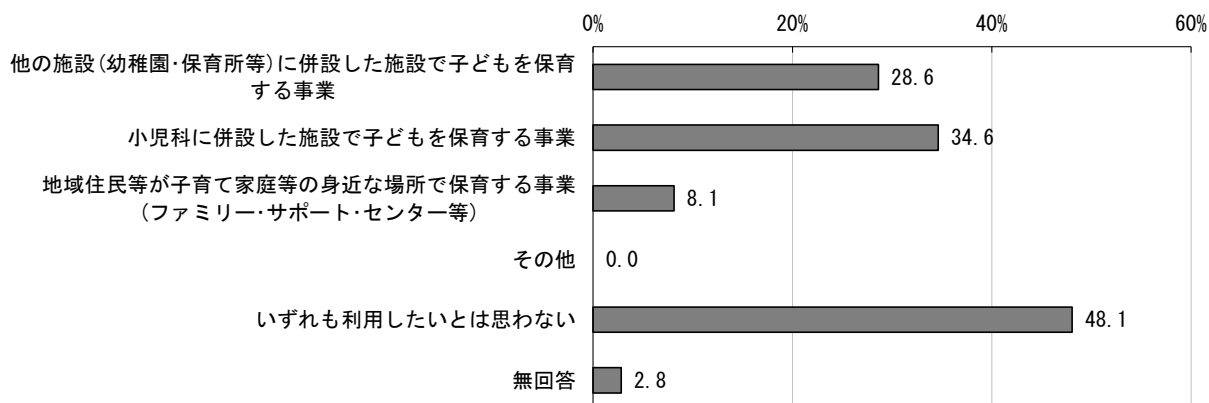
- 会社に連れていった
- 夜だけ働いているので昼間は母親がみている
- そのような場面がなかった

(15) 病児・病後児保育の利用希望

問 15 問 14「1～9」を選んだ方にうかがいます。
宛名のお子さんが病気やけがの際、以下の病児・病後児のための保育施設等を今後（も）利用したいですか。（あてはまるものすべてに○）

子どもが病気やけがの際、以下の病児・病後児のための保育施設等を今後（も）利用したいかは、「いずれも利用したいとは思わない」が 48.1%と最も多く、次いで「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 34.6%、「他の施設（幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が 28.6%となっています。

n=283

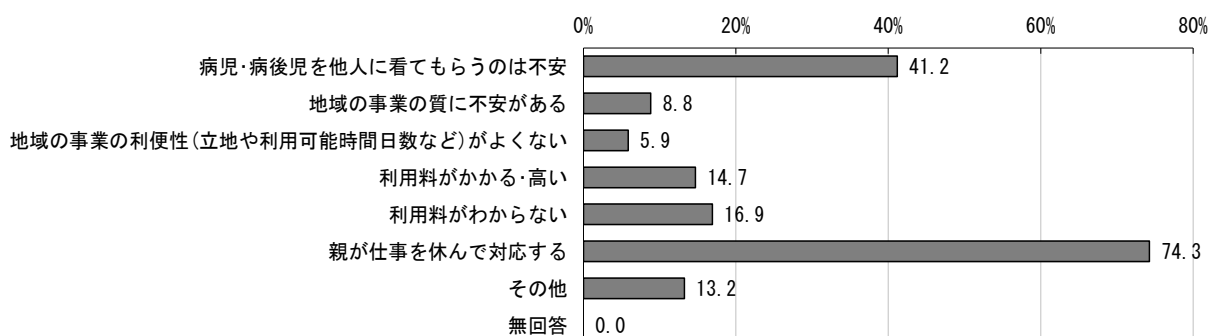


(16) 病児・病後児保育を利用したいと思わない理由

問 16 問 15で「5」を選んだ方にうかがいます。
利用したいと思わない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

病児・病後児保育を利用したいと思わない理由は、「親が仕事を休んで対応する」が 74.3%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が 41.2%、「利用料がわからない」が 16.9%となっています。

n=136



【その他】

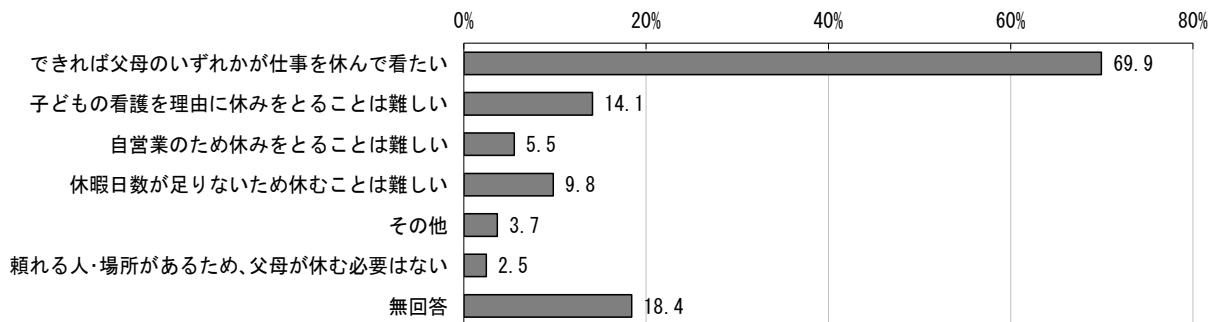
- 子どもの体調が悪い時はそばにいてあげたいから
- 自宅で仕事をしているため、仕事と看病の両立が可能。

(17) 事業の利用を希望しない理由

問 17 問 14 で「3～9」を選んだ方にうかがいます。
宛名のお子さんが病気やけがの際、仕事を休んで看たいと思われませんか。(あてはまるものすべてに○)

子どもが病気やけがの際、仕事を休んで看たいと思うかは、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」が 69.9%と最も多く、次いで「子どもの看護を理由に休みをとることは難しい」が 14.1%、「休暇日数が足りないため休むことは難しい」が 9.8%となっています。

n=163



【その他】

- 仕事をしていないので問題ない
- 長期になるとむずかしいので、祖父母に預ける
- 子供が回復傾向にあったり、軽いケガ等であれば預け先があれば預けたい。
- 親が休んで看れる環境が大事かと思う。賃金補償。
- 自営業だから父母で交代で見てあげられる
- 公務員のわりに子の介護休暇が本当に少ないと思う
- 休みたいが、休みが長期になると職場に休みを申し出づらい環境
- 母が働いていないので対応する
- 休みを取れないわけではないが、仕事が多まるので休みたくない

(宛名のお子さんが5歳以上である方) 小学校就学後の放課後の過ごし方について

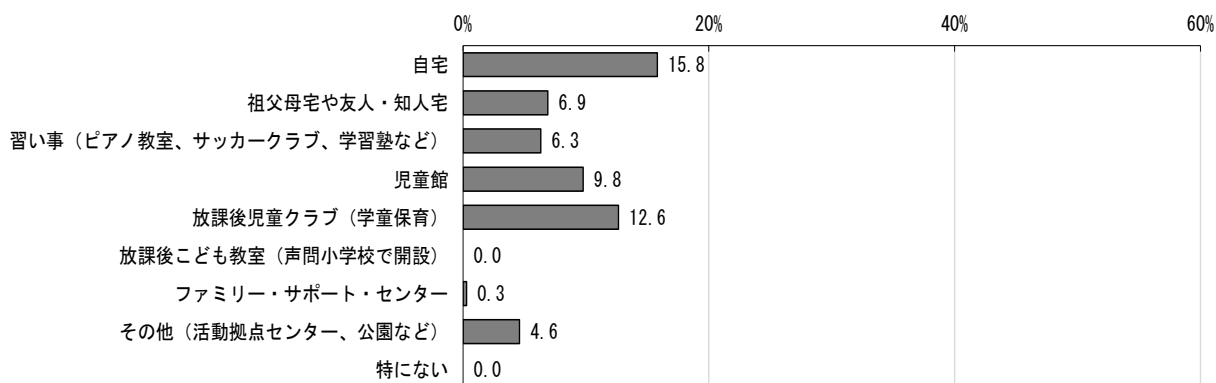
(18) 放課後の過ごし方

問 18 宛名のお子さんについて、小学校の内は、平日の学校終了後（放課後）や土曜日、日曜・祝日にどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（それぞれあてはまるものすべてに○）

【放課後】

平日の学校終了後（放課後）に過ごさせたい場所は、「自宅」が15.8%と最も多く、次いで「放課後児童クラブ（学童保育）」が12.6%、「児童館」が9.8%となっています。

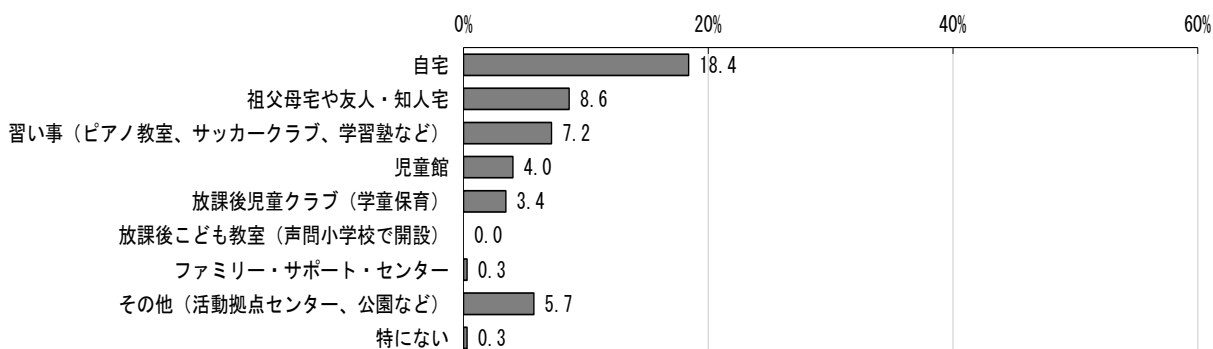
n=348



【土曜日】

土曜日に過ごさせたい場所は、「自宅」が18.4%と最も多く、次いで「祖父母宅や友人・知人宅」が8.6%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が7.2%となっています。

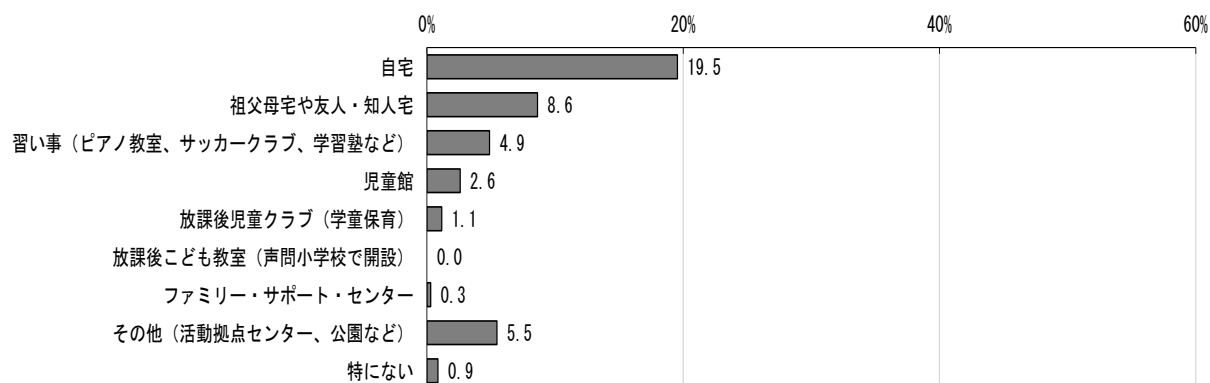
n=348



【日曜・祝日】

日曜・祝日に過ごさせたい場所は、「自宅」が19.5%と最も多く、次いで「祖父母宅や友人・知人宅」が8.6%、「その他（活動拠点センター、公園など）」が5.5%となっています。

n=348

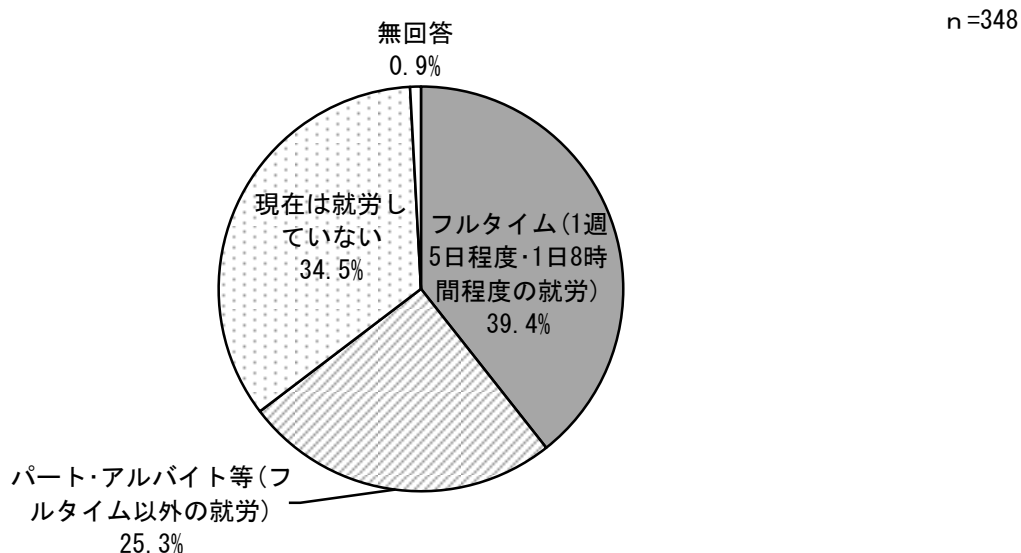


保護者の就労状況・職場の両立支援について

(19) 保護者【母親】の就労状況

問 19 現在の就労状況はどれですか。(1つに○)

現在の就労状況は、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」が39.4%と最も多く、次いで「現在は就労していない」が34.5%、「パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)」が25.3%となっています。

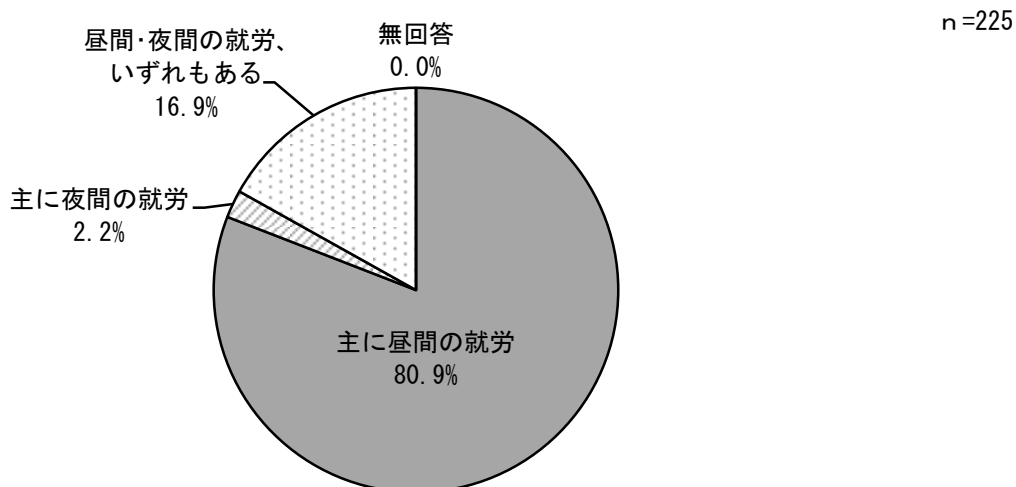


(20) 普段の就労時間帯

問 20 問 19 で「1～2」を選んだ方にうかがいます。

普段の就労時間帯について、最も多いパターンはどれですか。(1つに○)

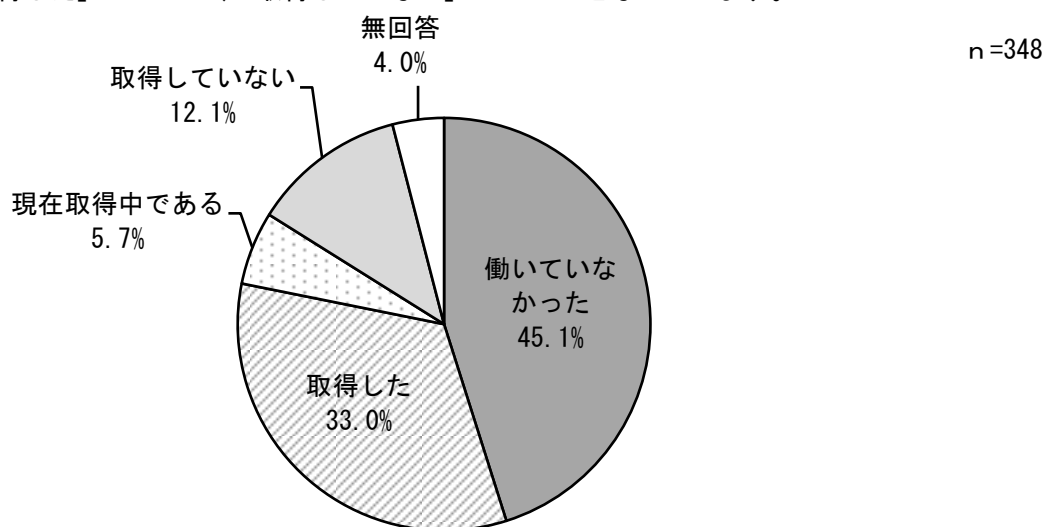
普段の就労時間帯は、「主に昼間の就労」が80.9%と最も多く、次いで「昼間・夜間の就労、いずれもある」が16.9%、「主に夜間の就労」が2.2%となっています。



(21) 育児休業取得の有無

問 23 宛名のお子さんが生まれたとき、育児休業を取得しましたか。(1つに○)

子どもが生まれたとき、育児休業を取得したかは、「働いていなかった」が45.1%と最も多く、次いで「取得した」が33.0%、「取得していない」が12.1%となっています。



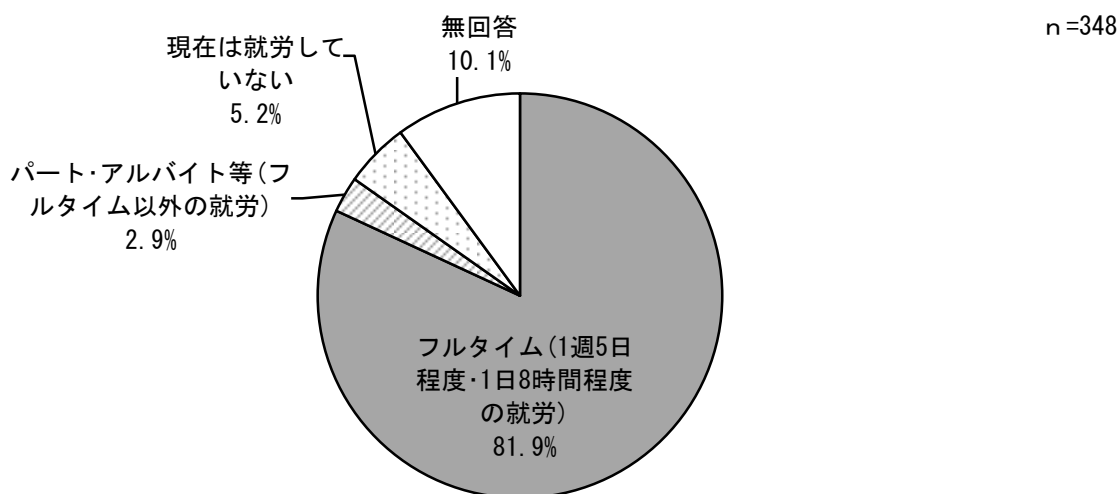
【理由】

- 仕事をしていたい
- 育休を取っても、給料満額がもらえなく、経済的に厳しいので
- 自営だから
- 制度が用意されていないため
- 専業主婦のため

(22) 保護者【父親】の就労状況

問 22 現在の就労状況はどれですか。(1つに○)

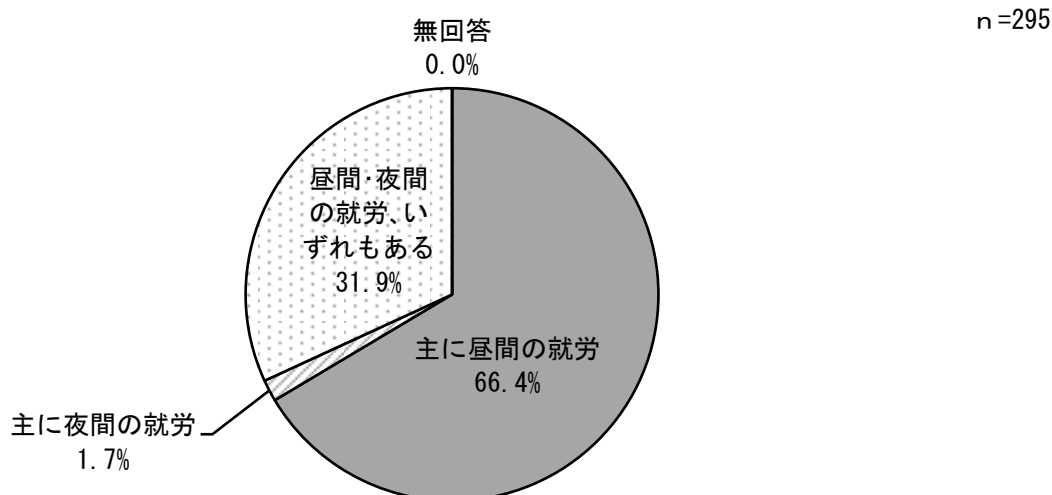
現在の就労状況は、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」が81.9%と最も多く、次いで「現在は就労していない」が5.2%、「パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)」が2.9%となっています。



(23) 普段の就労時間帯

問 23 問 22 で「1～2」を選んだ方にうかがいます。
普段の就労時間帯について、最も多いパターンはどれですか。(1つに○)

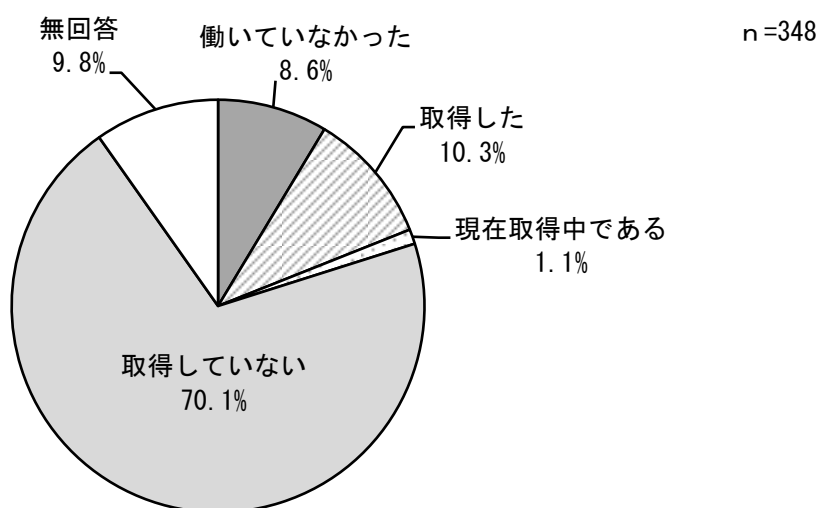
普段の就労時間帯は、「主に昼間の就労」が66.4%と最も多く、次いで「昼間・夜間の就労、いずれもある」が31.9%、「主に夜間の就労」が1.7%となっています。



(24) 育児休業取得の有無

問 24 宛名のお子さんが生まれたとき、育児休業を取得しましたか。

子どもが生まれたとき、育児休業を取得したかは、「取得していない」が70.1%と最も多く、次いで「取得した」が10.3%、「働いていなかった」が8.6%となっています。



【理由】

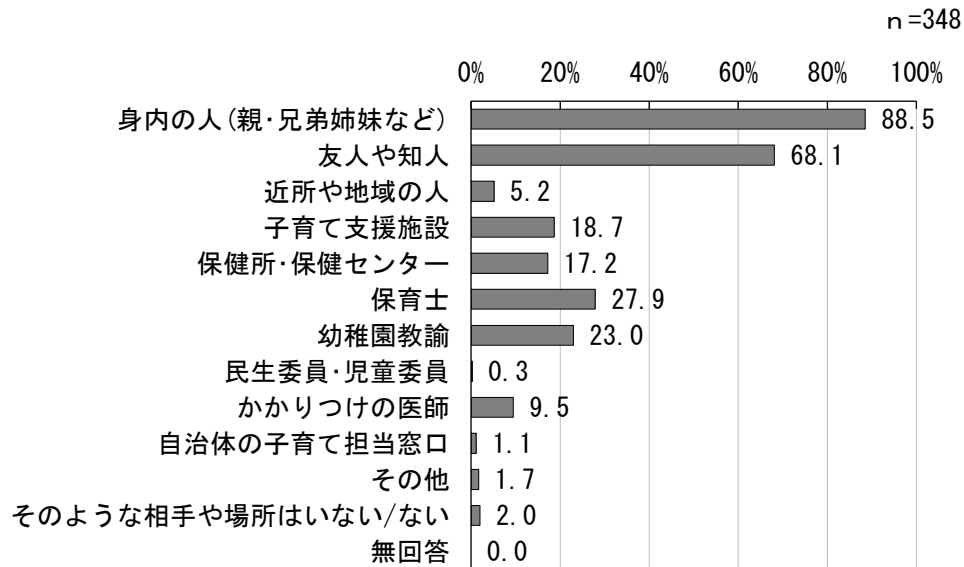
- 育児休業を取得できない所だったため
- 他の人も休んでいないので取る習慣がない
- 自営業のため
- 子どもの母親が休んでいたため

子どもの育ちを巡る環境について

(25) 子育てに関する相談先

問 25 日頃、子どものことや子育てについて気軽に相談できる相手はどなた（場所はどこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

子どものことや子育てについて気軽に相談できる相手は、「身内の人（親・兄弟姉妹など）」が88.5%と最も多く、次いで「友人や知人」が68.1%、「保育士」が27.9%となっています。



【その他】

職場の人／夫／転勤族なのもあり、夫婦間での話し合い、解決が多い。／訪問看護

(26) 子育てに関して希望するサポート

問 26 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあれば良いとお考えでしょうか。ご自由にご記入ください。

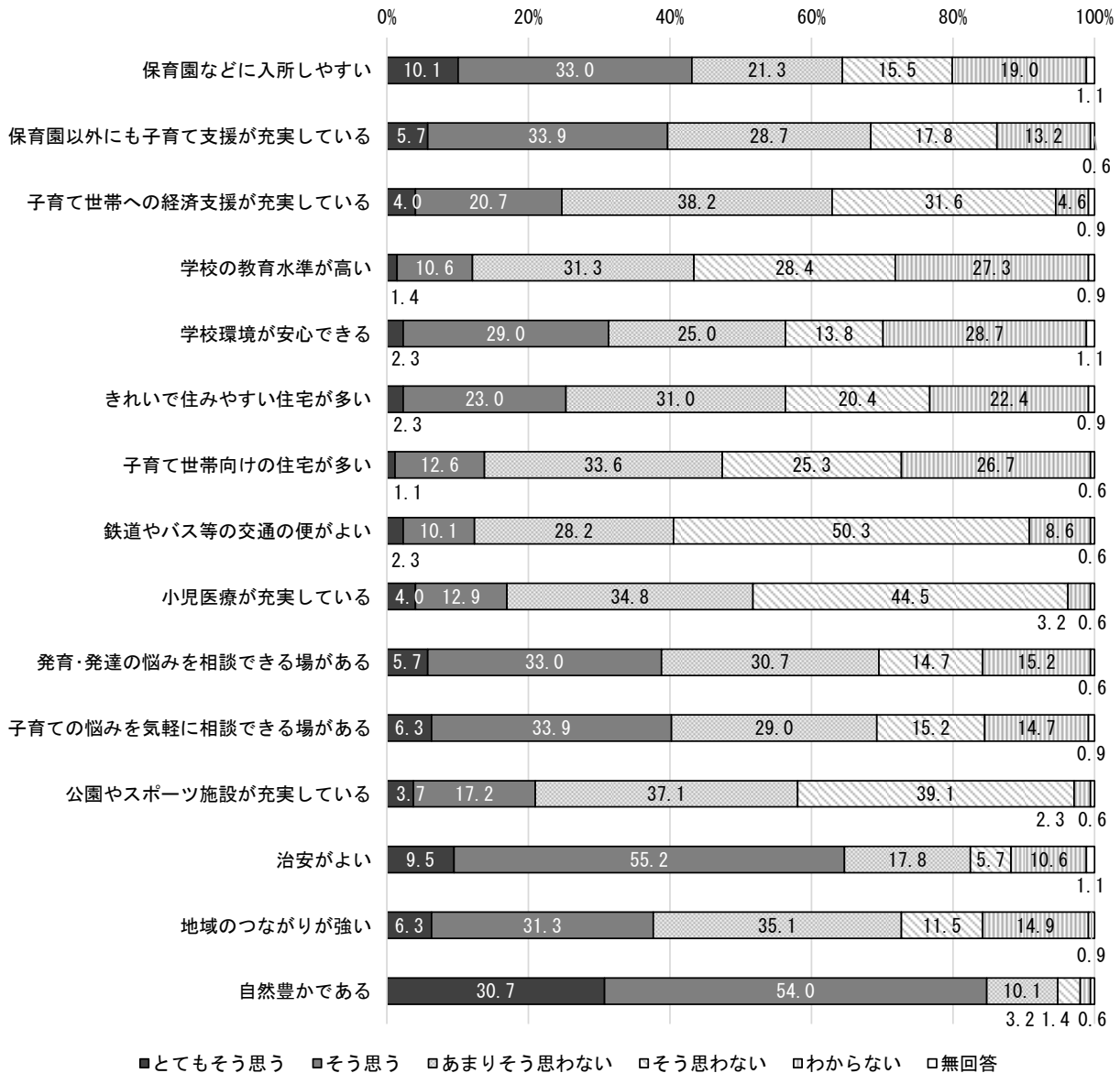
※自由記入については、別にまとめています。

稚内市の子育て環境全般への評価や意向

(27) 稚内市の子育て環境について

問 27 稚内市の子育て環境について、以下の項目についてどのように感じていますか。(それぞれあてはまるものすべてに○)

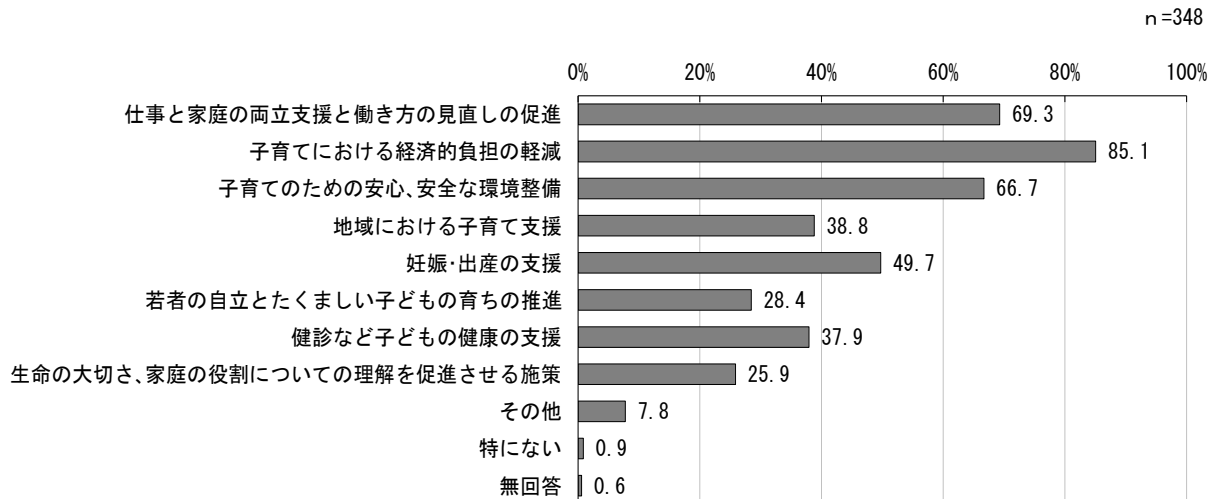
稚内市の子育て環境について、「とてもそう思う」としては、「自然豊かである」が30.7%と最も多く、次いで「保育園などに入所しやすい」が10.1%、「治安がよい」が9.5%となっています。
 「そう思わない」としては、「鉄道やバス等の交通の便がよい」が50.3%と最も多く、次いで「小児医療が充実している」が44.5%、「公園やスポーツ施設が充実している」が39.1%となっています。



(28) 望ましい子育て支援施策

問 28 あなたにとって望ましい子育て支援施策は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

望ましい子育て支援施策は、「子育てにおける経済的負担の軽減」が 85.1%と最も多く、次いで「仕事と家庭の両立支援と働き方の見直しの促進」が 69.3%、「子育てのための安心、安全な環境整備」が 66.7%となっています。



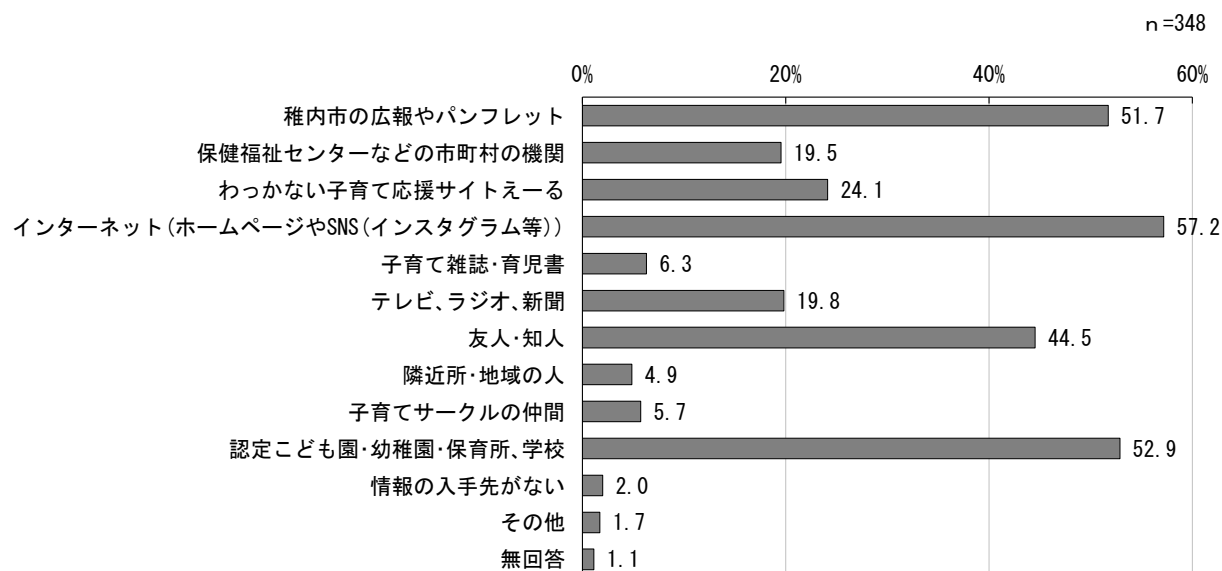
【その他】

- 気軽にに行ける公園や遊ぶ所を増やしてほしい。すべり台、ブランコだけとかで少なすぎる。
- 医療の面で心配なことが多い。市立病院の混雑をもう少しどうにかしてほしい。医療費の負担も減らしてほしい。(初診料、毎回かかる…)
- 学校での勉強だけでなく、生きていくための知識を身につけてほしいです。その他にも食育も重要だと思えます。他の地域での食育活動をぜひ参考にしてほしいです。泉大津市の南出市長の教育方法すごくいいです。(オーガニック給食等) インスタやユーチューブに動画あります、見てください。
- 保育料、医療費無償化、小学校授業料無償化など、子育て世代の経済的負担を減らしたい
- 子どもが長く稚内に居るような環境、施設など
- へき地の教育施設、児童館の設立
- 日本の伝統を伝えていく事業
- 学校に行けなくなった時に行ける場所の確保と周知
- 予約なしで受診できる医療(小児科以外も)
- 食育の推進

(29) 子育て施策などの情報の入手先

問 29 子育てに必要な施策などの情報をどのように入手されていますか。(あてはまるものすべてに○)

子育てに必要な施策などの情報の入手方法は、「インターネット（ホームページやSNS（インスタグラム等）」が57.2%と最も多く、次いで「認定こども園・幼稚園・保育所、学校」が52.9%、「稚内市の広報やパンフレット」が51.7%となっています。



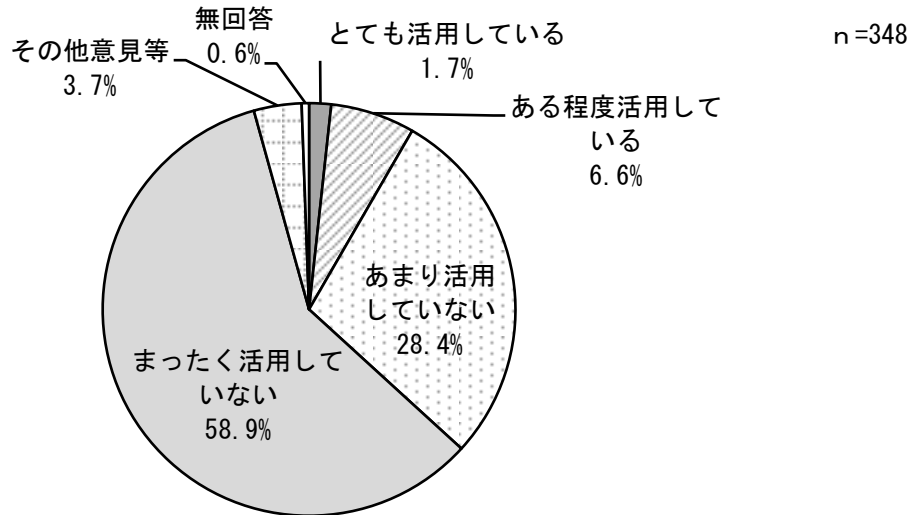
【その他】

職場の人たち／SNS／キタカラの掲示板／仕事柄、職場(市役所)で。

(30) 子育てファイル「あゆみ」の活用頻度

問 30 子育てファイル「あゆみ」は、保護者がお子さんの成長を記録しながら、お子さんを見守るツールとして役立てていくため、稚内市が平成 28 年 4 月から、お子さんがいる家庭に配布しています。子育てファイル「あゆみ」をどの程度活用していますか。(1つに○)

子育てファイル「あゆみ」をどの程度活用しているかは、「まったく活用していない」が 58.9%と最も多く、次いで「あまり活用していない」が 28.4%、「ある程度活用している」が 6.6%となっています。



【まったく活用していない理由】

- 使いにくい
- 存在を忘れている＝使用の必要性がない
- アプリでいいと思う。冊子は見ない。
- 暇、気力がない
- 分厚くてしまっている。紙類よりは電子保存できるものが便利だと思う。
- 最初は使っていたけど、ひとり親で仕事してたらする時間がない
- 子どもがやぶいてしまったため
- 忘れていた
- 自分で書きやすいものを準備するし、強制感が強くて不快な気持ちになった
- 母子手帳に記入したり、スマホアプリに入力したりするので仕事で日々忙しいため、同じ様な内容を何度も記入する時間がない。

【その他意見等】

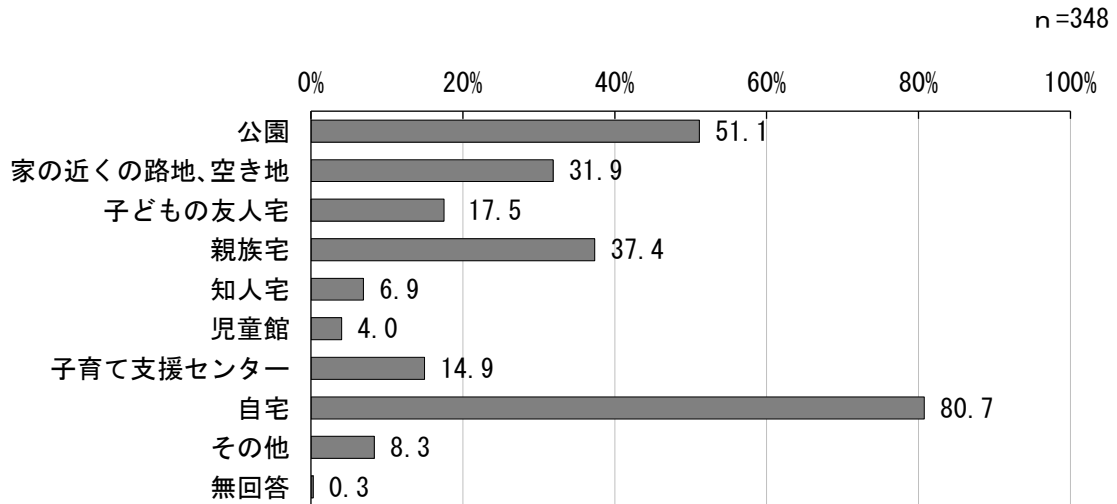
- 子育てファイルの存在を知らない。転入時案内すらなかった。
- R5. 7月に地方から引っ越してきたのでもらっていない。
- 知りませんでした
- あゆみというものが、どんなものかわからない
- 母子手帳で事足りる。記入等している暇がない。

子どもの居場所

(31) 日中にあそぶ場所

問 31 お子さんは定期的にご利用している施設以外で、日中にはどこで遊ぶことが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

定期的にご利用している施設以外で、日中にはどこで遊ぶことが多いかは、「自宅」が80.7%と最も多く、次いで「公園」が51.1%、「親族宅」が37.4%となっています。



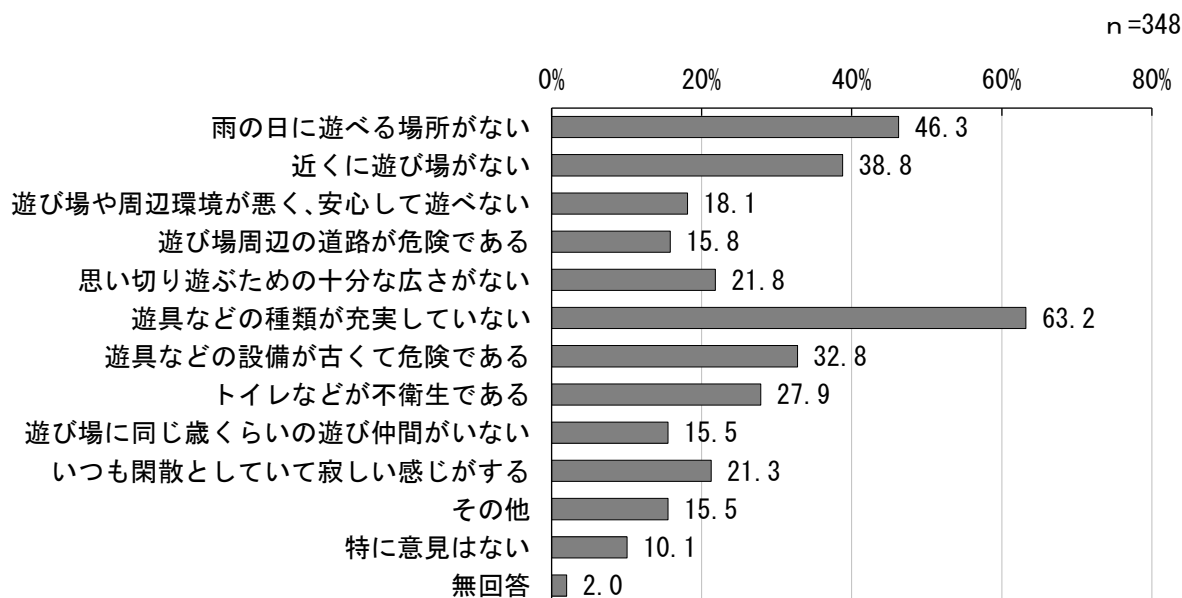
【その他】

家の前／ふれあい公園／直立公園／キタカラ／神社／寺／保育園園庭／水族館／幼稚園の未就園児教室／おもちゃライブラリー

(32) 子どもの遊び場で困ること・困ったこと

問 32 子どもの遊び場で困ること・困ったことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

子どもの遊び場で困ること・困ったことは、「遊具などの種類が充実していない」が63.2%と最も多く、次いで「雨の日に遊べる場所がない」が46.3%、「近くに遊び場がない」が38.8%となっています。



【その他】

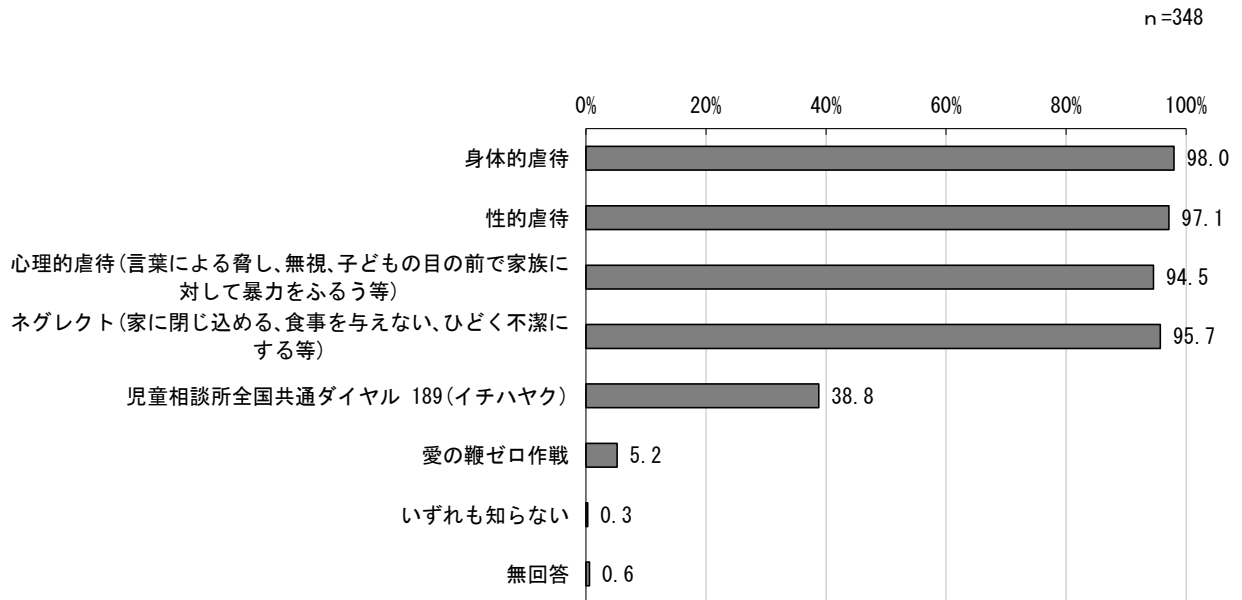
- 冬は雪が多く、近くの公園が雪すてばになっていて、入れない…もっと気軽に雪あそびさせたい。
- 天気が良くても悪くても子供がおもいきり遊べる施設、お店がもっとあってほしいです。
- 有料でも良いので、もっと室内で遊べる施設がほしい。
- 公園が少ない。遊具が古く種類も少ない。
- 車がないと移動が難しい
- 最近、稚内も夏でも暑いので、水遊びができる場所がほしい。○
- 小さい子どもの遊ぶ場所が少ない
- 年齢層に応じた遊び場が増えてくれれば安心して遊べるなと感じた。
- トイレがない
- 鹿のフンによる衛生面への心配

児童虐待について

(33) 児童虐待について知っていること

問 33 児童虐待について知っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

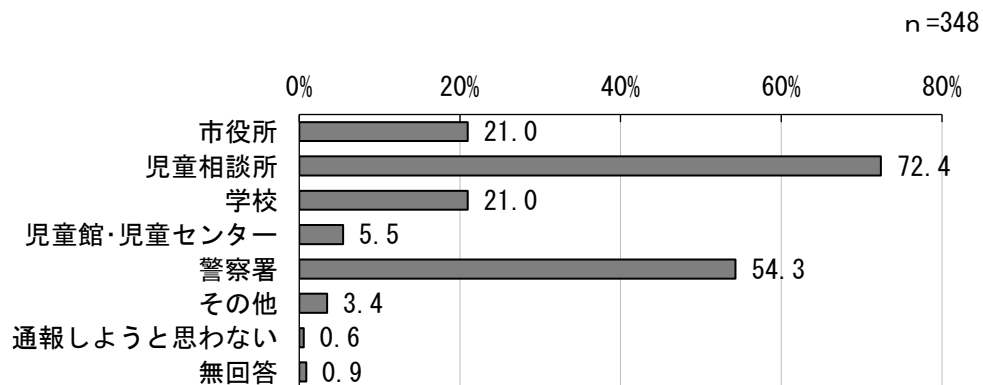
児童虐待について知っていることは、「身体的虐待」が98.0%と最も多く、次いで「性的虐待」が97.1%、「ネグレクト（家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする等）」が95.7%となっています。



(34) 児童虐待の通報先

問 34 児童虐待を見聞きした場合には、どちらに通報しようと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

児童虐待を見聞きした場合には、どこに通報しようと思うかは、「児童相談所」が72.4%と最も多く、次いで「警察署」が54.3%、「市役所」、「学校」がそれぞれ21.0%となっています。



【その他】

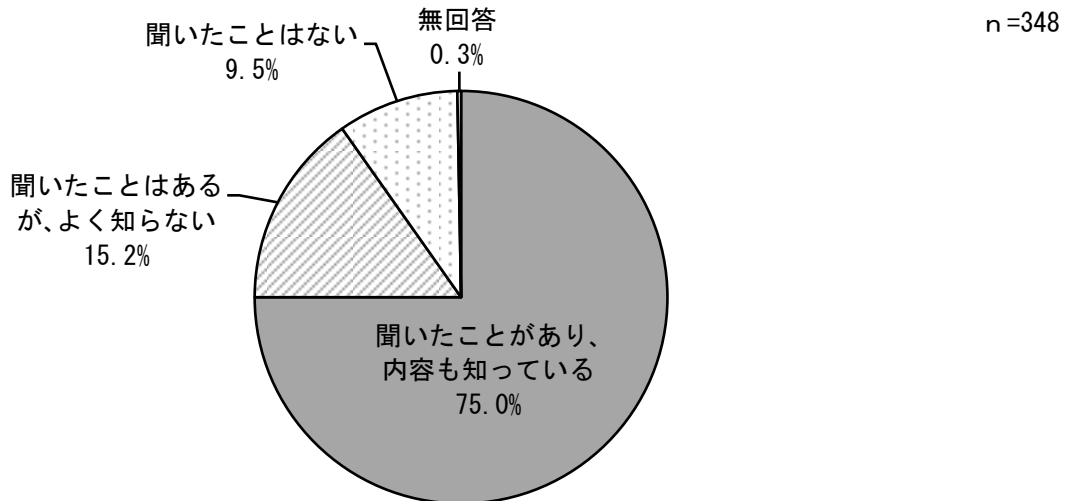
友人／どこに通報すればいいのかわからない／幼稚園／教育委員会／通っている保育所／加害者の知り合い

ヤングケアラー関係

(35) ヤングケアラーについて

問 35 あなたは、「ヤングケアラー」という言葉を知っていますか。(1つに○)

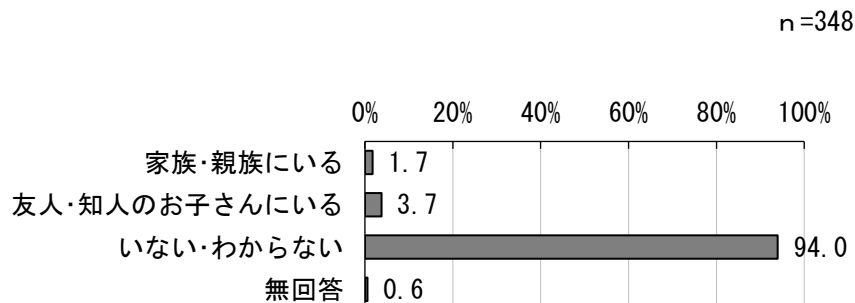
「ヤングケアラー」という言葉を知っているかは、「聞いたことがあり、内容も知っている」が75.0%と最も多く、次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」が15.2%、「聞いたことはない」が9.5%となっています。



(36) ヤングケアラーと思われるお子さんの有無

問 36 家族や親族、または友人・知人のお子さんにヤングケアラーと思われるお子さんはいますか。(あてはまるものすべてに○)

家族や親族、または友人・知人のお子さんにヤングケアラーと思われる子どもがいるかは、「いない・わからない」が94.0%と最も多く、次いで「友人・知人のお子さんにいる」が3.7%、「家族・親族にいる」が1.7%となっています。

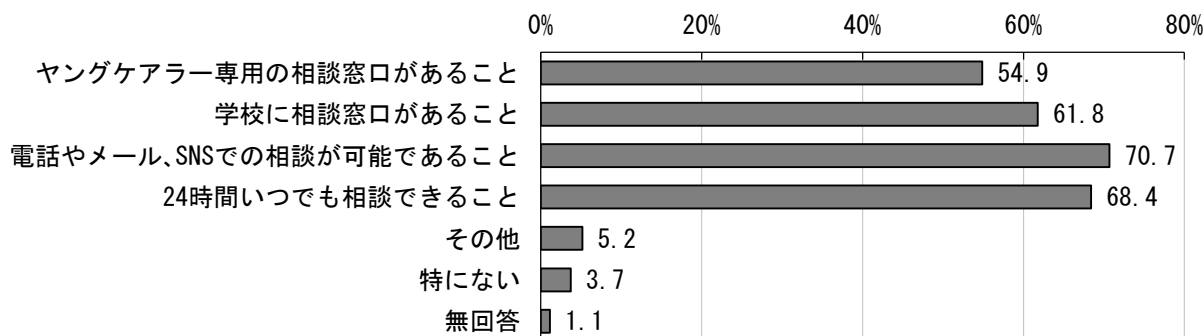


(37) ヤングケアラーへの支援として必要なこと

問 37 ヤングケアラーに関して、相談しやすい環境づくりとして必要なことはどんなことだと思いますか。当てはまる番号に○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

ヤングケアラーに関して、相談しやすい環境づくりとして必要だと思うことは、「電話やメール、SNSでの相談が可能であること」が70.7%と最も多く、次いで「24時間いつでも相談できること」が68.4%、「学校に相談窓口があること」が61.8%となっています。

n=348



【その他】

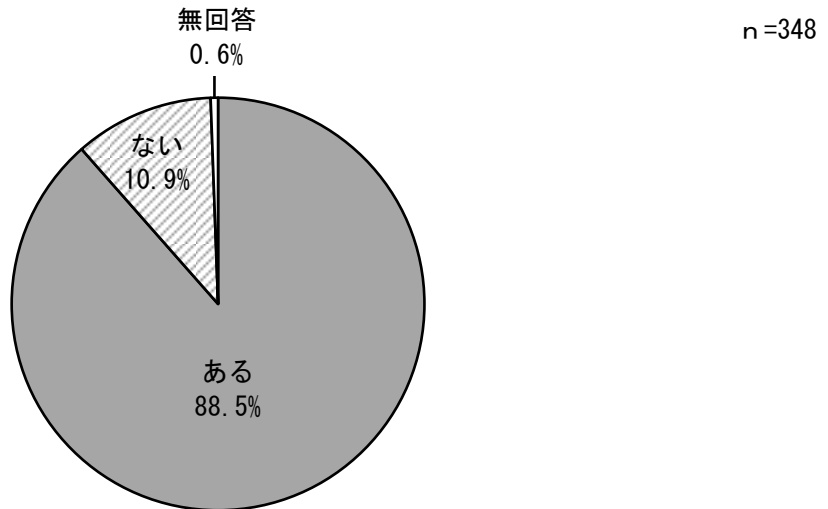
- 専門の方が自宅を訪問して、定期的に相談する環境を作ってあげる
- ヤングケアラー当事者は、親の介護は当然だと思っていると思うので、親がヘルパーが必要と認定された時点で病院で「この子は、ヤングケアラーになりそうだな」、学校側でも「もしかして？」と思うことがあったら、気軽に行政に相談できるようになったら良いと思います。自分からSOSは発信しづらいと思います。
- ヤングケアラーを保護すること。親とは別に生活させること。
- 知識普及。まず自分がヤングケアラーだと知ってもらう。家庭内だと普通のこととってしまう。
- 親ないし家族の世話を丸ごと請け負ってくれて、金銭的負担もしてくれて、ヤングケアラーが普通の生活を罪悪感なく送る事ができる。それが、保証された相談窓口でなければ相談する意味もないと考えてしまうと思う。
- 相談員を研修等で増して行くこと
- 誰かに相談して良いんだよ、他の人を頼っていいんだよということをヤングケアラー自身に早く気付いてもらえる仕組みづくりをする。(啓蒙活動)
- 行政側が気付く体制が整えられていること
- 外部からの関わり(本人はヤングケアラーだと自覚がないことが多いため)
- すべての大人(特に教育・福祉・医療に関わる大人)がヤングケアラーの問題について知ること

子どもへのスマホやネットの影響について

(38) スマホやタブレットを与えているか

問 38 子育てする中で、お子さんにスマホやタブレットを与える（動画を見せたり、ゲームで遊ばせたりする）ことはありますか。（1つに○）

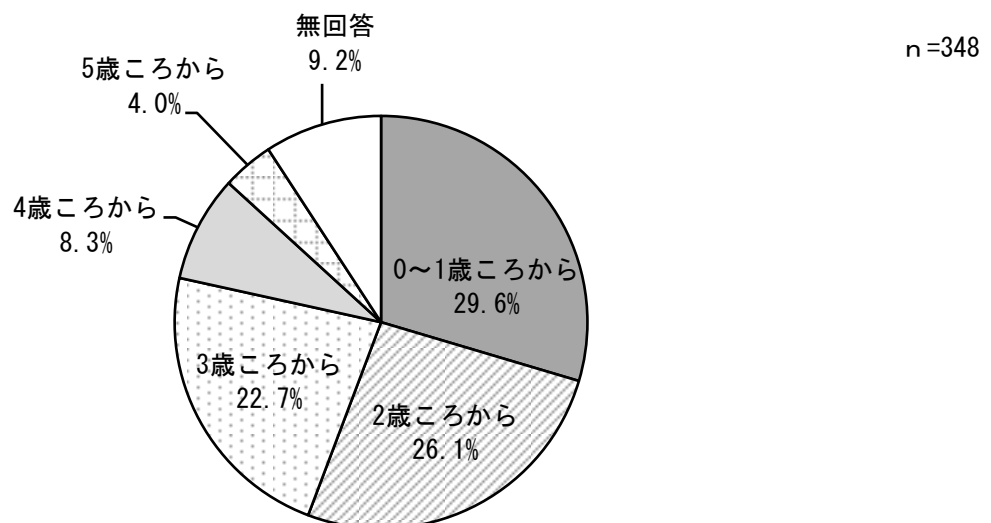
子育てする中で、お子さんにスマホやタブレットを与える（動画を見せたり、ゲームで遊ばせたりする）ことはあるかは、「ある」が88.5%、「ない」が10.9%となっています。



(39) 使用開始の年齢

問 39 お子さんが何歳のときからスマホやタブレットを使用（動画を見せたり、ゲームで遊ばせたりすること）していますか。（1つに○）

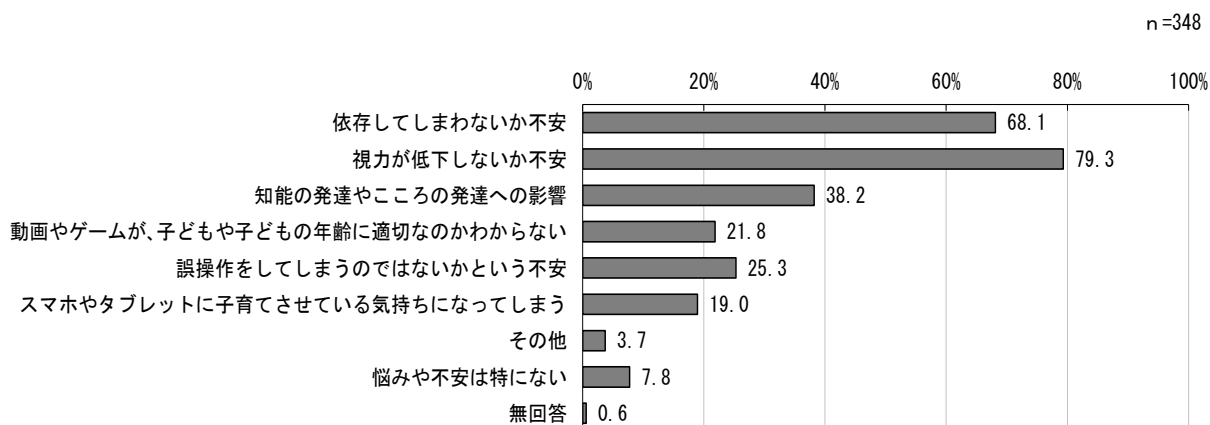
子どもが何歳のときからスマホやタブレットを使用（動画を見せたり、ゲームで遊ばせたりすること）しているかは、「0～1歳ころから」が29.6%と最も多く、次いで「2歳ころから」が26.1%、「3歳ころから」が22.7%となっています。



(40) スマホやタブレットを与えることへの悩みや不安

問 40 子育てする中で、お子さんにスマホやタブレットを与えることに関して、悩みや不安はありますか。(あてはまるものすべてに○)

子育てする中で、お子さんにスマホやタブレットを与えることに関して、悩みや不安はあるかは、「視力が低下しないか不安」が 79.3%と最も多く、次いで「依存してしまわないか不安」が 68.1%、「知能の発達やこころの発達への影響」が 38.2%となっています。



【その他】

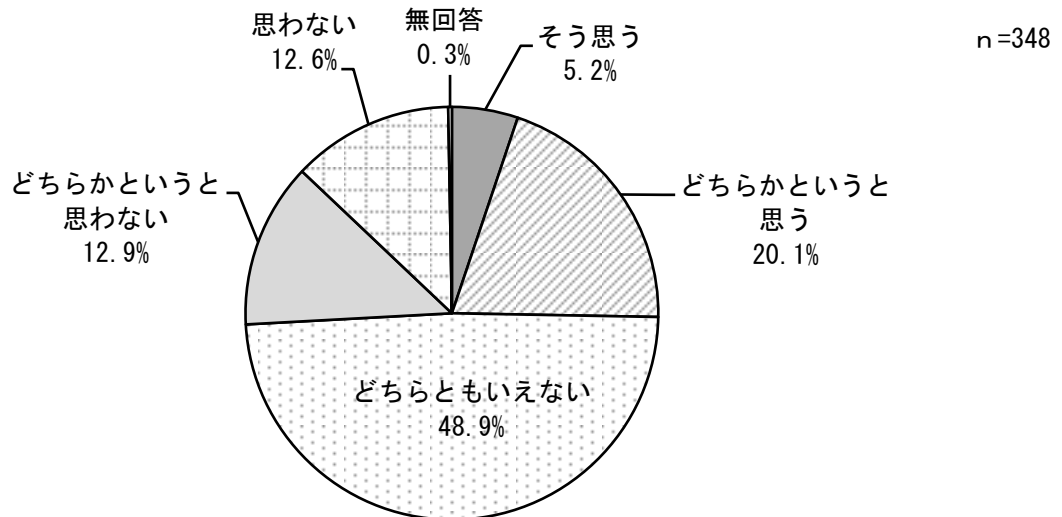
- 短時間 10～15 分以内、親がいいと判断した動画に限っている。ゲームはさせるつもりはない。
- 決してこれで良いとは思っていないけど、スマホを見てもらわないと、育児が出来ません。かといって、自分の心に余裕を持ってスマホや Youtube を〇で育児は絶対にできません。
- 周りの視線が気になる
- 大人でもやめられないものを、安易に子どもに使用させることに対して悩みや不安を持たない親がふえること
- なるべく見せないようにしているが、家事が進まない時に見せています
- 上の子どもがゲームをしているので、下の子どもにダメとはいえない
- 取り上げたいが親が使う必要があるので環境的にしかたないと思っている
- ずっとスマホ、タブレット等見せて、ごはん中など見られても困るし「ダメ」と言ってやめてくれなくて、泣かれても困るし、お互いストレスを感じるのなら、最初から見せる必要がない。テレビの子ども番組などで十分。という考えで子育てしています。
- 今は約束を守って使用しているが、いつまで約束を守って使うかなと思う。(→5～10分程度の教育コンテンツを上の子の習い事に連れて行き、待っている間に1回～2回/週見せるのみ)
- 情報の取捨選択
- 大人も子供もオンラインが主流になっているなか、仕方がないとも思う。仕事も授業もオンラインならば触りたくなるし見たくもなる。
- 姿勢の歪み

安全・安心な地域づくりについて

(41) 防犯活動について

問 41 地域における防犯活動が活発であると感じますか。(1つに○)

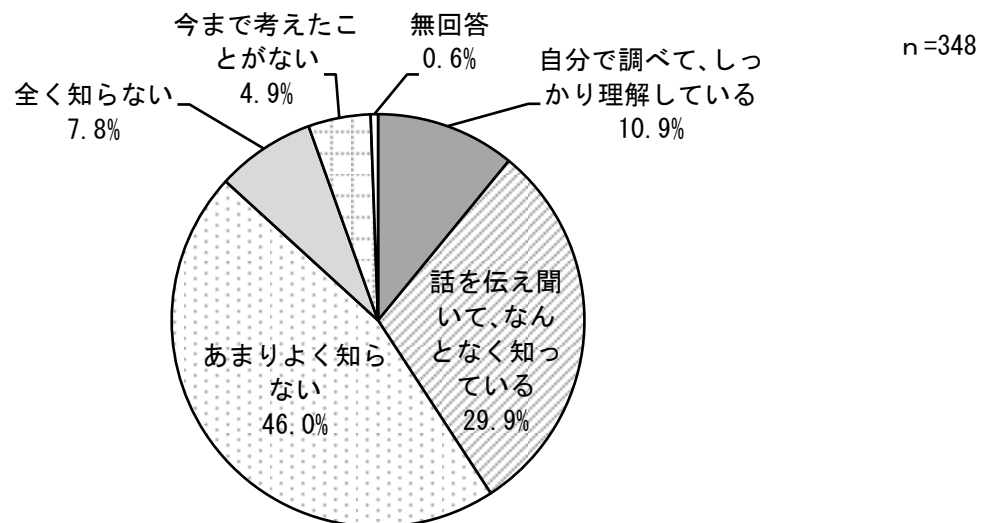
地域における防犯活動が活発であると感じるかは、「どちらともいえない」が48.9%と最も多く、次いで「どちらかというと思う」が20.1%、「どちらかというと思わない」が12.9%となっています。



(42) 災害を受ける可能性の知識の有無

問 42 現在生活している地域やお子さんが利用している施設の地域が、どのような災害を受ける可能性があるか知っていますか。(1つに○)

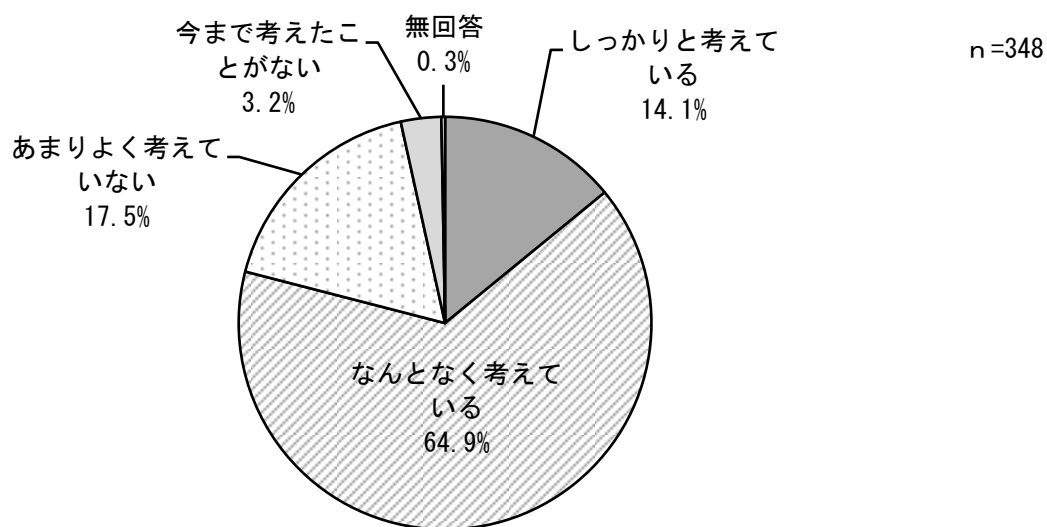
どのような災害を受ける可能性があるか知っているかは、「あまりよく知らない」が46.0%と最も多く、次いで「話を伝え聞いて、なんとなく知っている」が29.9%、「自分で調べて、しっかり理解している」が10.9%となっています。



(43) 避難する方法

問 43 災害が発生したときに、子どもを連れて避難する方法を考えていますか。(あてはまるものすべてに○)

災害が発生したときに、子どもを連れて避難する方法を考えているかは、「なんとなく考えている」が64.9%と最も多く、次いで「あまりよく考えていない」が17.5%、「しっかりと考えている」が14.1%となっています。

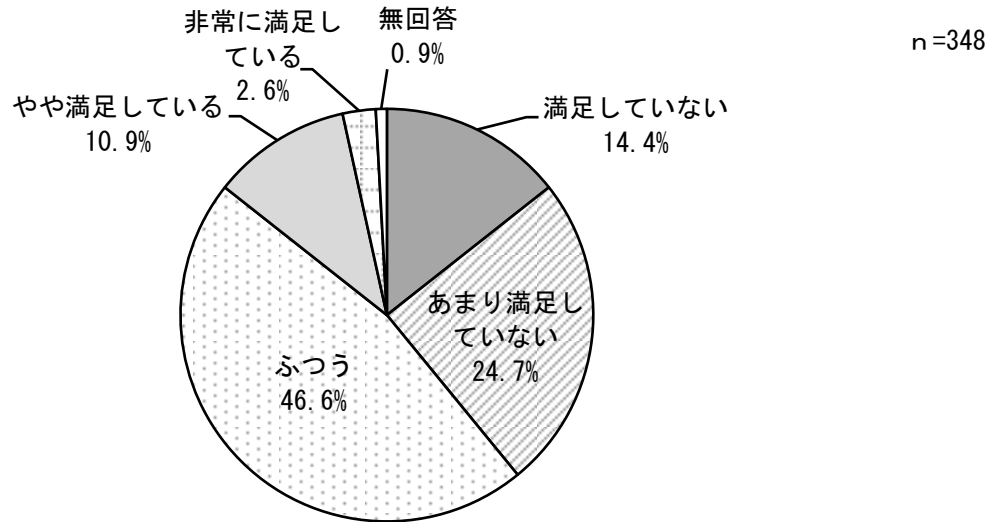


今後の市の取り組みについて

(44) 子育て環境や支援への満足度

問 44 お住まいの地域における、子育て環境や支援への満足度についてお答えください。(1つに○)

子育て環境や支援への満足度は、「ふつう」が46.6%と最も多く、次いで「あまり満足していない」が24.7%、「満足していない」が14.4%となっています。



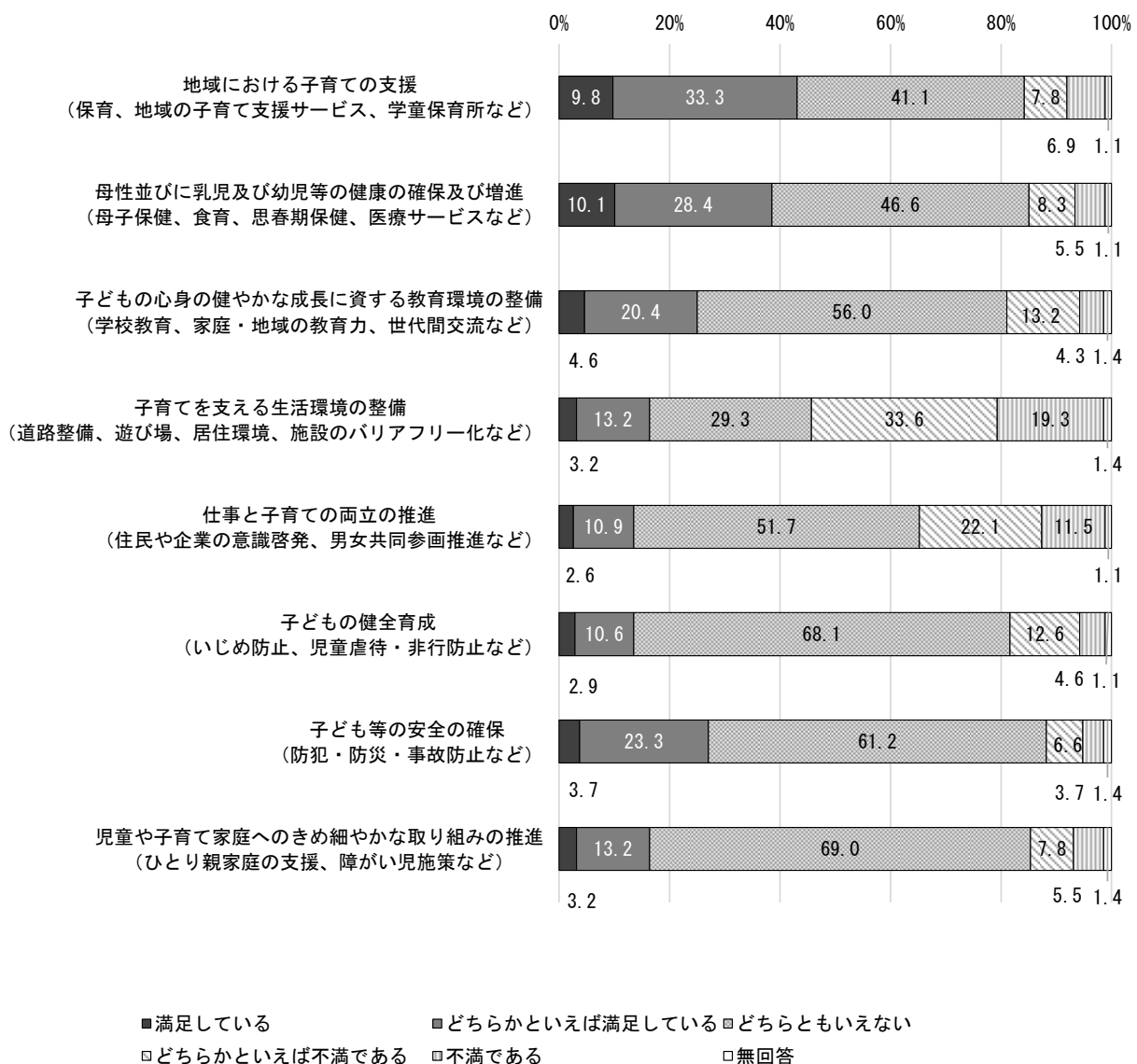
(45) 子育て支援の取り組みについて

問 45 市の子育て支援の取り組みについてどのように感じますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

【現状の評価】

市の子育て支援の取り組みについてどのように感じるかは、「満足している」としては、「母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進（母子保健、食育、思春期保健、医療サービスなど）」が10.1%と最も多く、次いで「地域における子育ての支援（保育、地域の子育て支援サービス、学童保育所など）」が9.8%、「子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備（学校教育、家庭・地域の教育力、世代間交流など）」が4.6%となっています。

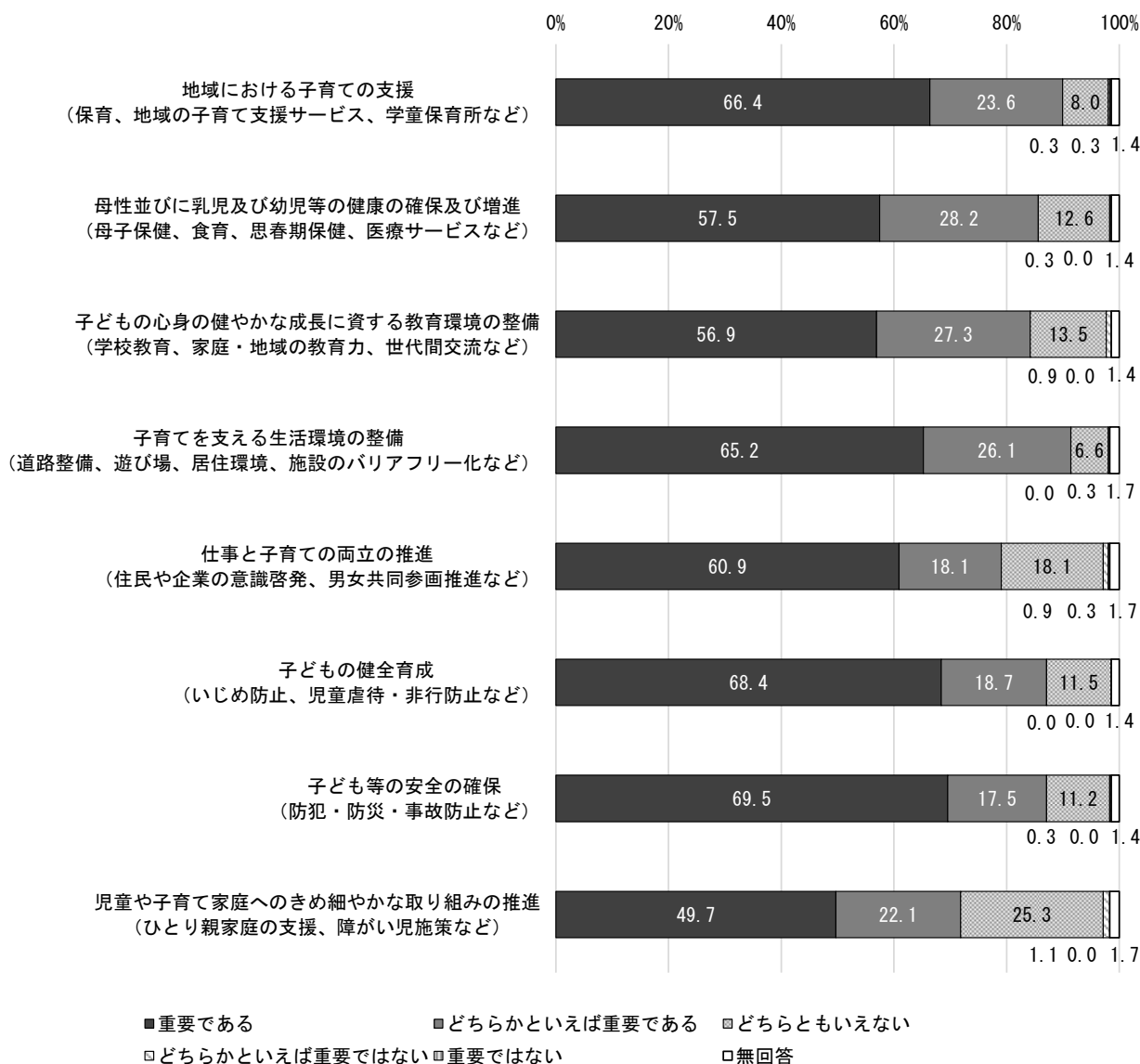
「不満である」としては、「子育てを支える生活環境の整備（道路整備、遊び場、居住環境、施設のバリアフリー化など）」が19.3%と最も多く、次いで「仕事と子育ての両立の推進（住民や企業の意識啓発、男女共同参画推進など）」が11.5%、「地域における子育ての支援（保育、地域の子育て支援サービス、学童保育所など）」が6.9%となっています。



【今後の重要度】

今後の重要度は、「重要である」としては、「子ども等の安全の確保（防犯・防災・事故防止など）」が69.5%と最も多く、次いで「子どもの健全育成（いじめ防止、児童虐待・非行防止など）」が68.4%、「地域における子育ての支援（保育、地域の子育て支援サービス、学童保育所など）」が66.4%となっています。

「どちらかといえば重要ではない」としては、「児童や子育て家庭へのきめ細やかな取り組みの推進（ひとり親家庭の支援、障がい児施策など）」が25.3%と最も多く、次いで「仕事と子育ての両立の推進（住民や企業の意識啓発、男女共同参画推進など）」が18.1%、「子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備（学校教育、家庭・地域の教育力、世代間交流など）」が13.5%となっています。



(46) 自由意見

問 46 稚内市の教育・保育環境の充実など、子育て環境や支援に関してご意見がございましたら、自由にご記入ください。

※自由記入については、別にまとめています。

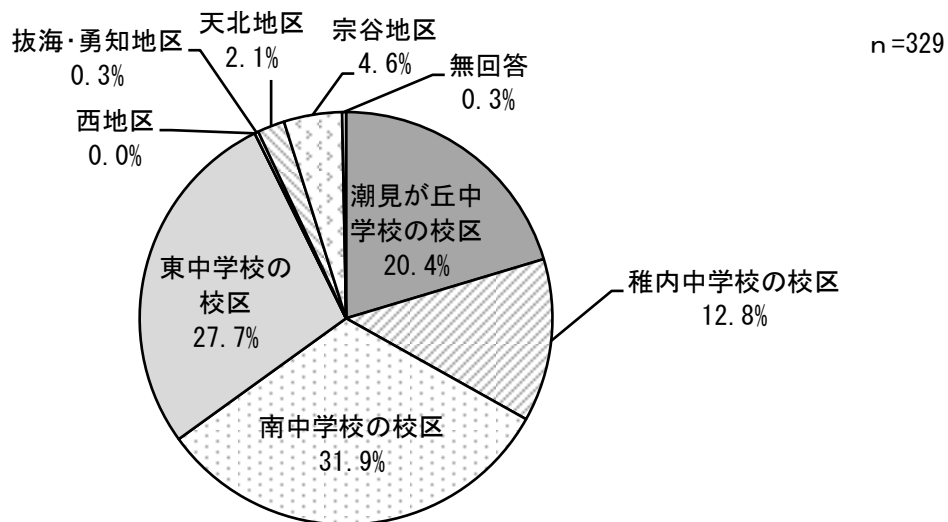
小学生のいる世帯の調査結果

お住まいの地域について

(1) 居住地区

問1 お住まいの地区をお答えください。(1つに○)

住まいの地区は、「南中学校の校区」が31.9%と最も多く、次いで「東中学校の校区」が27.7%、「潮見が丘中学校の校区」が20.4%となっています。

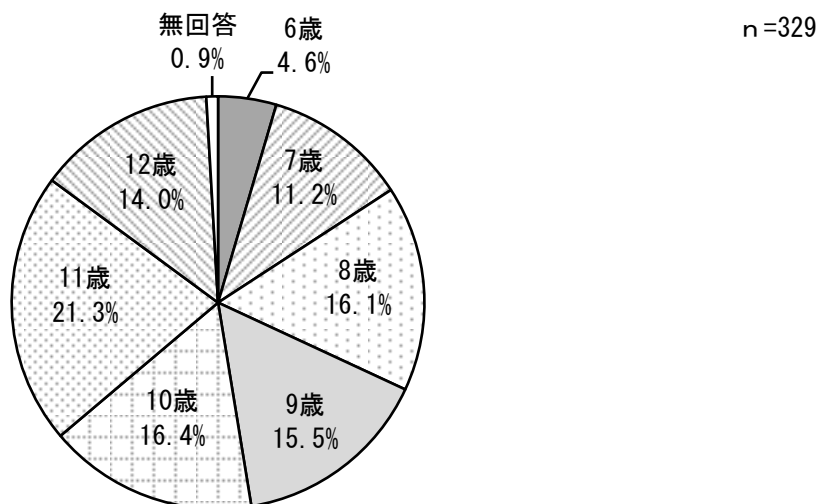


お子さんとご家族の状況について

(2) お子さんの年齢

問2 宛名のお子さんの年齢（令和5年4月1日現在）をお答えください。（1つに○）

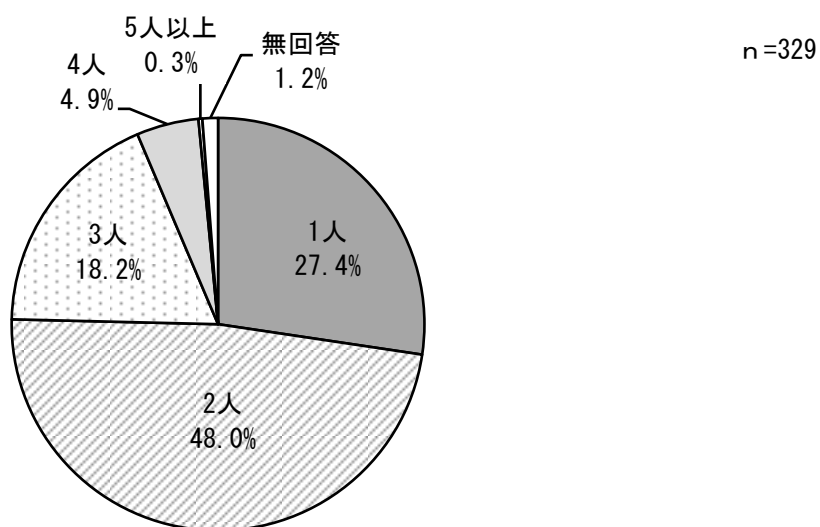
子どもの年齢は、「11歳」が21.3%と最も多く、次いで「10歳」が16.4%、「8歳」が16.1%となっています。



(3) きょうだいの数

問3 宛名のお子さんのきょうだいの数（宛名のお子さんを含めた人数）をお答えください。（1つに○）

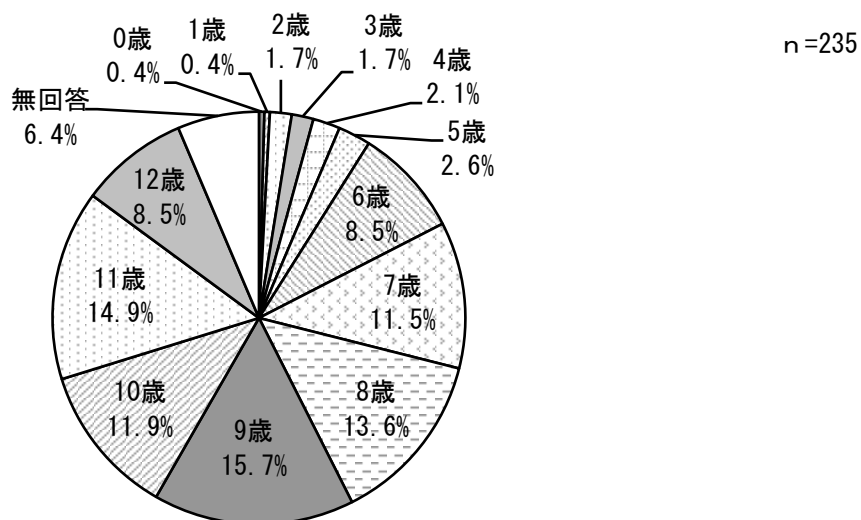
子どものきょうだいの数は、「2人」が48.0%と最も多く、次いで「1人」が27.4%、「3人」が18.2%となっています。



(3-1) きょうだいの年齢

問 3-1 問3で「2～5」を選んだ方にうかがいます。
2人以上お子さんがいらっしゃる場合、末子の子の年齢（令和5年4月1日現在）をお答え
ください。（1つに○）

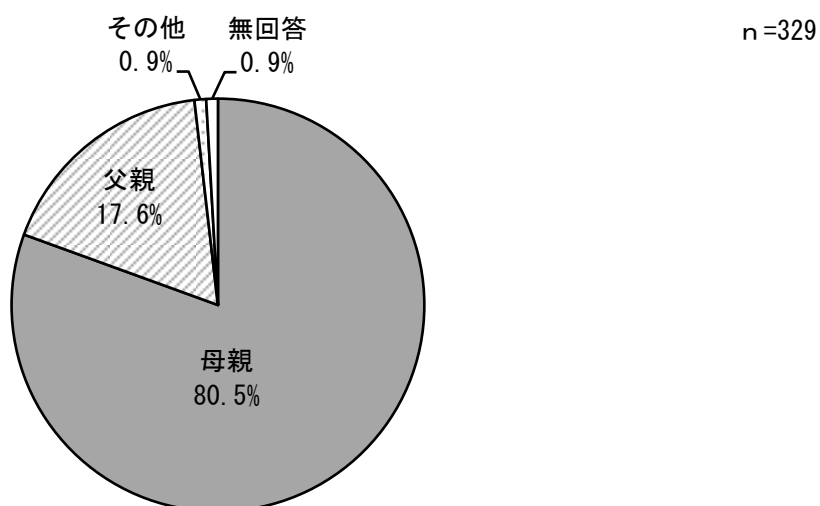
末子の子の年齢は、「9歳」が15.7%と最も多く、次いで「11歳」が14.9%、「8歳」が13.6%
となっています。



(4) 回答者とお子さんの関係

問 4 この調査にご回答いただく方はどなたですか。（1つに○）

回答者は、「母親」が80.5%と最も多く、次いで「父親」が17.6%、「その他」が0.9%となっ
ています。

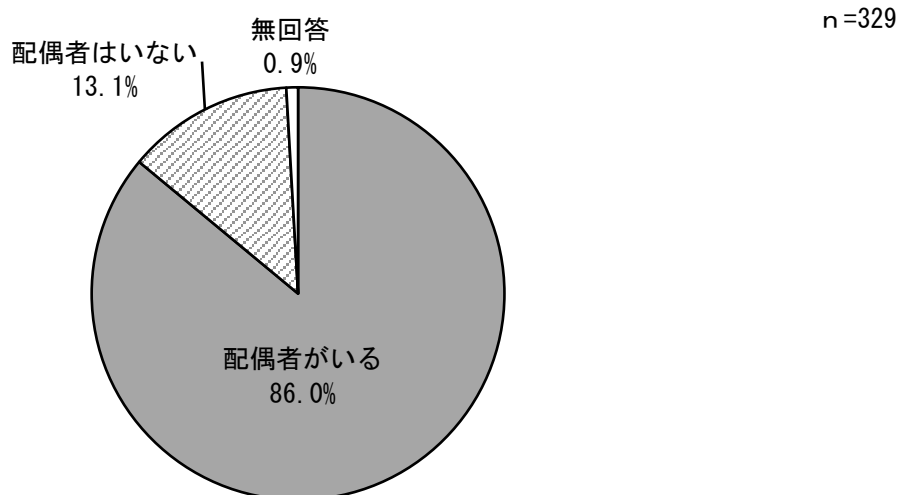


【その他】
施設職員／祖母

(5) 回答者の配偶関係

問5 この調査にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。(1つに○)

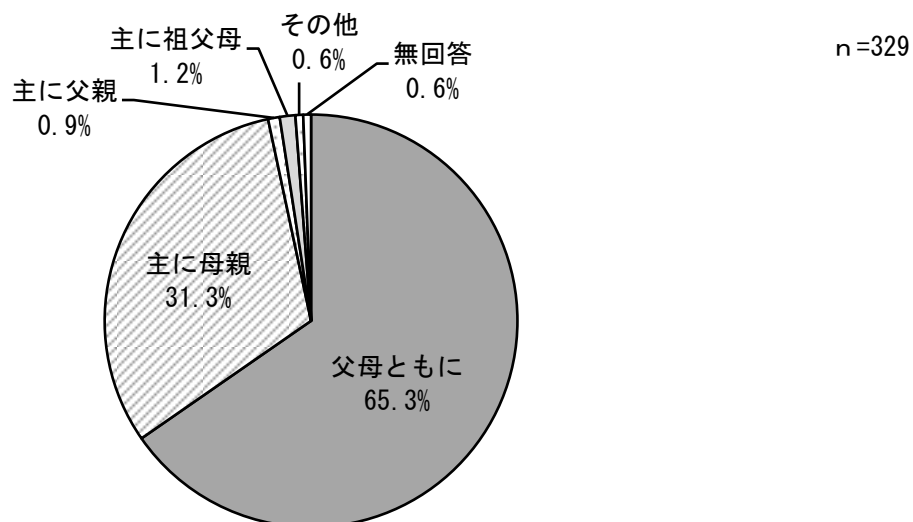
回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」が86.0%、「配偶者がいない」が13.1%となっています。



(6) お子さんの子育てを主に行っている方

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方をお答えください。(1つに○)

子育て（教育を含む）を主に行っている人は、「父母ともに」が65.3%と最も多く、次いで「主に母親」が31.3%、「主に祖父母」が1.2%となっています。



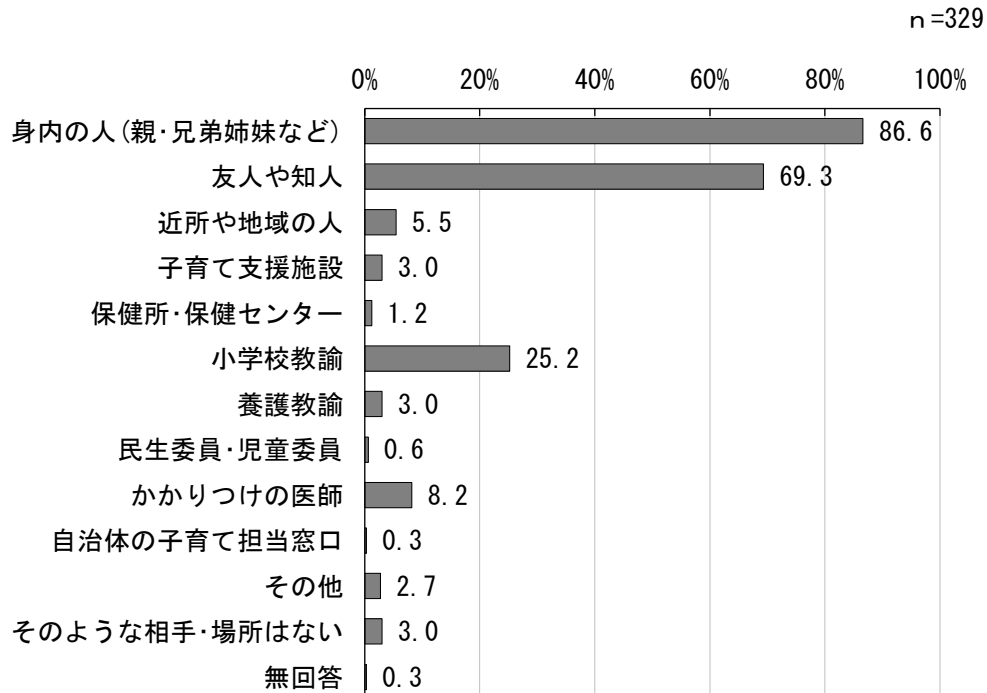
【その他】
施設長

子どもの育ちを巡る環境について

(7) 気軽に相談できる相手・場所

問7 子どものことや子育てについて気軽に相談できる相手・場所は誰(どこ)ですか。(あてはまるものすべてに○)

子どものことや子育てについて気軽に相談できる相手・場所は、「身内の人(親・兄弟姉妹など)」が86.6%と最も多く、次いで「友人や知人」が69.3%、「小学校教諭」が25.2%となっています。



【その他】

職場の人／スクールカウンセラー／夫／習い事の先生／同居の交際相手／SSW

(8) 希望する周囲からのサポート

問8 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあれば良いとお考えでしょうか。ご自由にご記入ください。

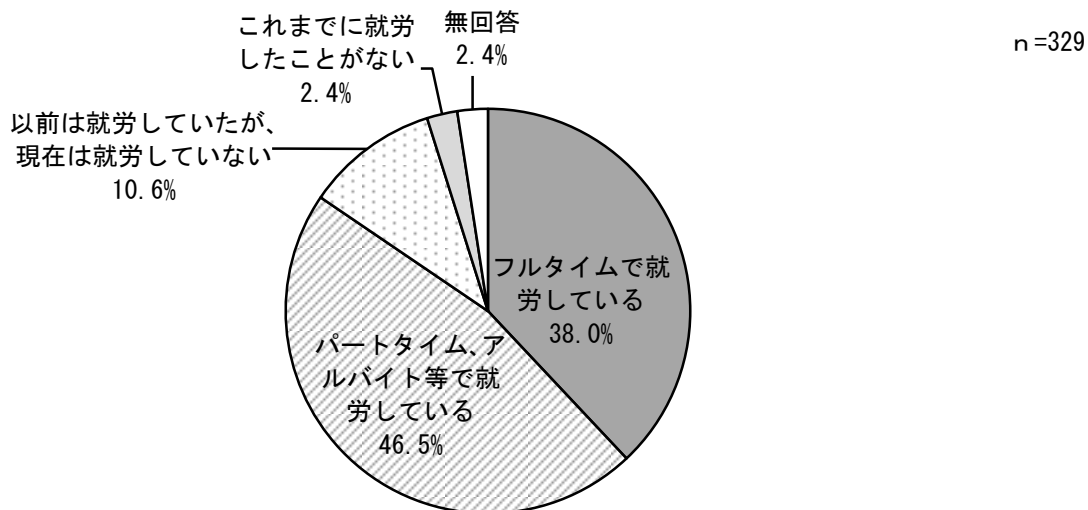
※自由意見については、別にまとめています。

保護者の就労状況について

(9) 保護者【母親】の就労状況

問9 就労形態についてお答えください。(1つに○)

就労形態は、「パートタイム、アルバイト等で就労している」が46.5%と最も多く、次いで「フルタイムで就労している」が38.0%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が10.6%となっています。

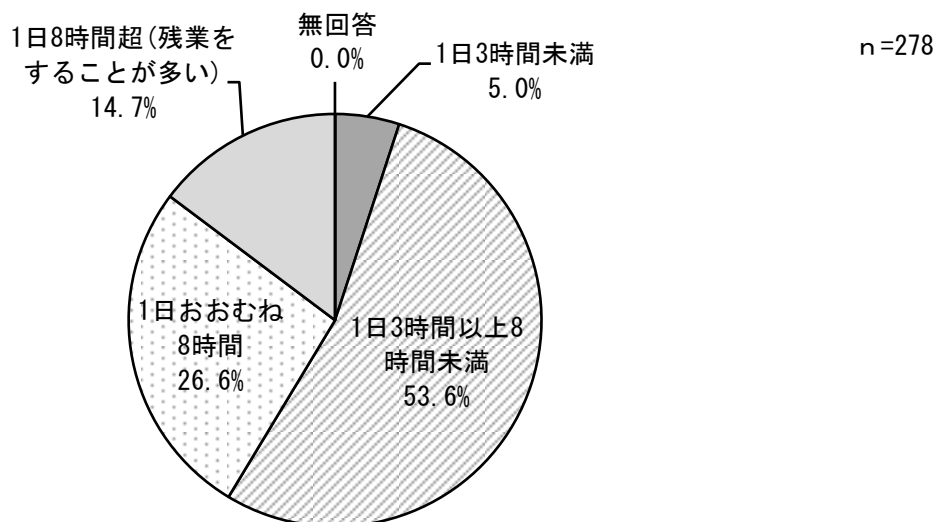


(9-1) 普段の就労時間

問9-1 問9で「1～2」を選んだ方にうかがいます。

普段の就労時間について、最も多いパターンをお答えください。(1つに○)

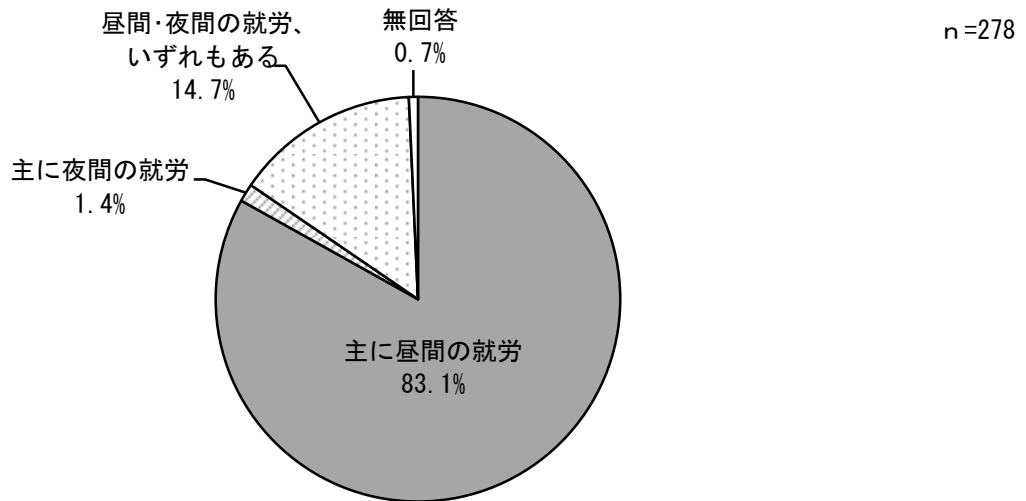
普段の就労時間は、「1日3時間以上8時間未満」が53.6%と最も多く、次いで「1日おおむね8時間」が26.6%、「1日8時間超(残業をすることが多い)」が14.7%となっています。



(9-2) 普段の就労時間帯

問 9-2 問 9 で「1～2」を選んだ方にうかがいます。
普段の就労時間帯について、最も多いパターンをお答えください。(1つに○)

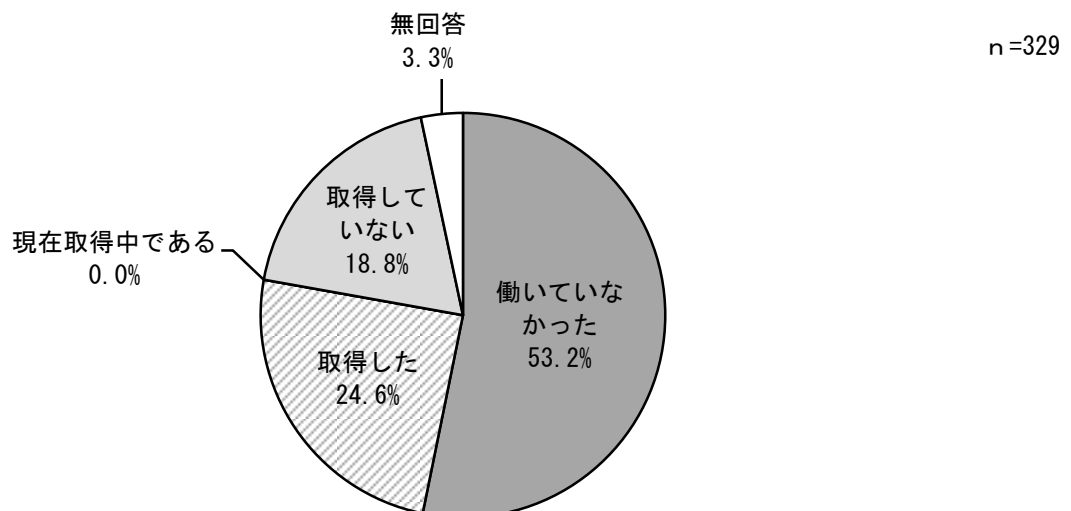
普段の就労時間帯は、「主に昼間の就労」が83.1%と最も多く、次いで「昼間・夜間の就労、いずれもある」が14.7%、「主に夜間の就労」が1.4%となっています。



(10) 育児休暇取得の有無

問 10 宛名のお子さんが生まれたとき、育児休業を取得しましたか。(1つに○)

子どもが生まれたとき、育児休業を取得したかは、「働いていなかった」が53.2%と最も多く、次いで「取得した」が24.6%、「取得していない」が18.8%となっています。



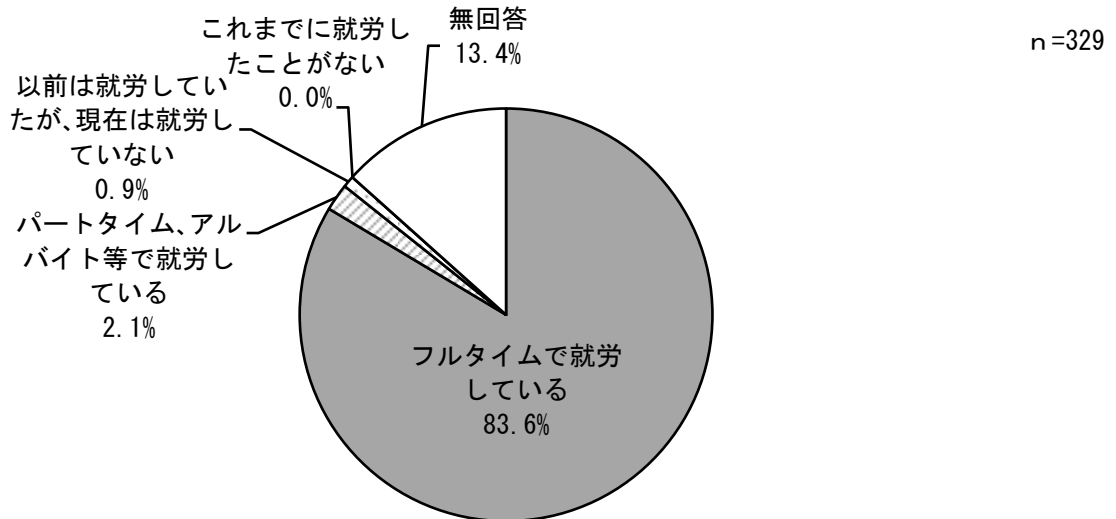
【取得していない理由】

- 仕事が休めない
- 自営業のため
- 職場に託児所があったので

(11) 保護者【父親】の就労状況

問 11 就労形態についてお答えください。(1つに○)

就労形態は、「フルタイムで就労している」が83.6%と最も多く、次いで「パートタイム、アルバイト等で就労している」が2.1%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が0.9%となっています。

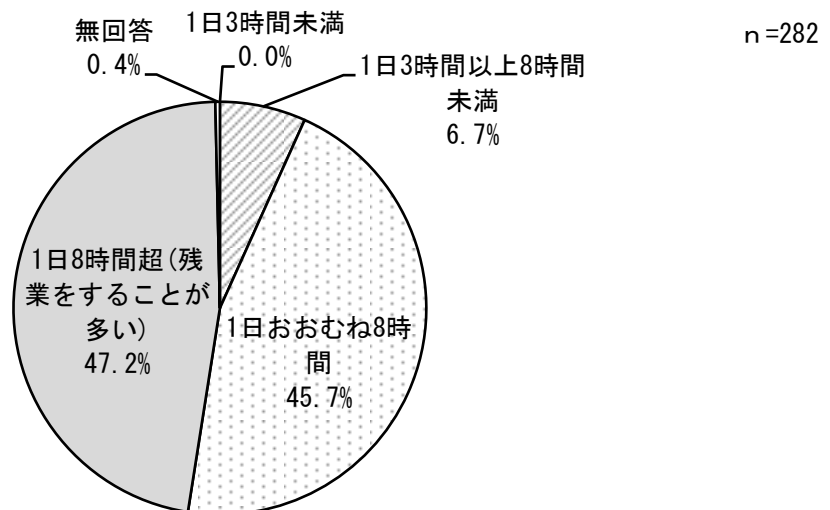


(11-1) 普段の就労時間

問 11-1 問 11 で「1～2」を選んだ方にうかがいます。

普段の就労時間について、最も多いパターンをお答えください。(1つに○)

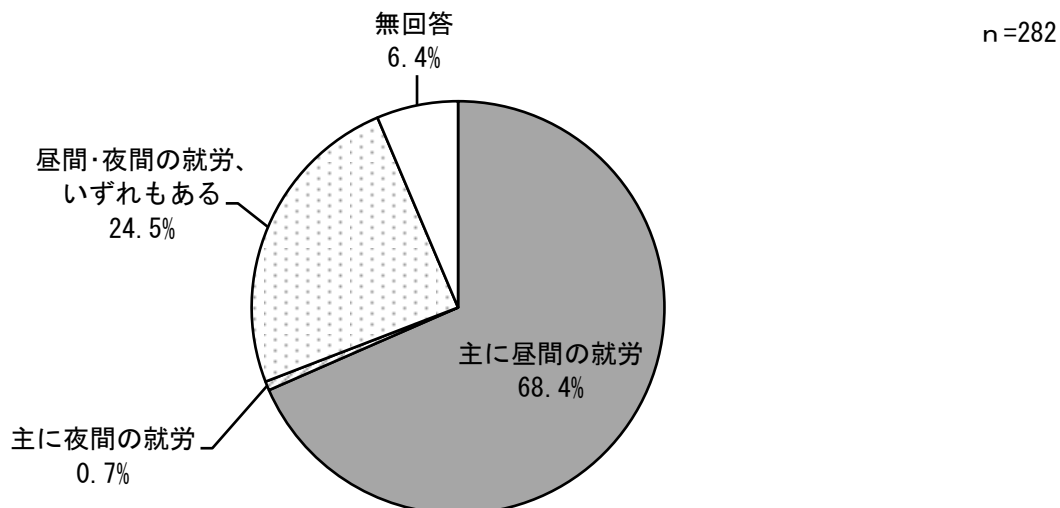
普段の就労時間は、「1日8時間超(残業をすることが多い)」が47.2%と最も多く、次いで「1日おおむね8時間」が45.7%、「1日3時間以上8時間未満」が6.7%となっています。



(11-2) 普段の就労時間帯

問 11-2 問 11 で「1～2」を選んだ方にうかがいます。
 普段の就労時間帯について、最も多いパターンをお答えください。(1つに○)

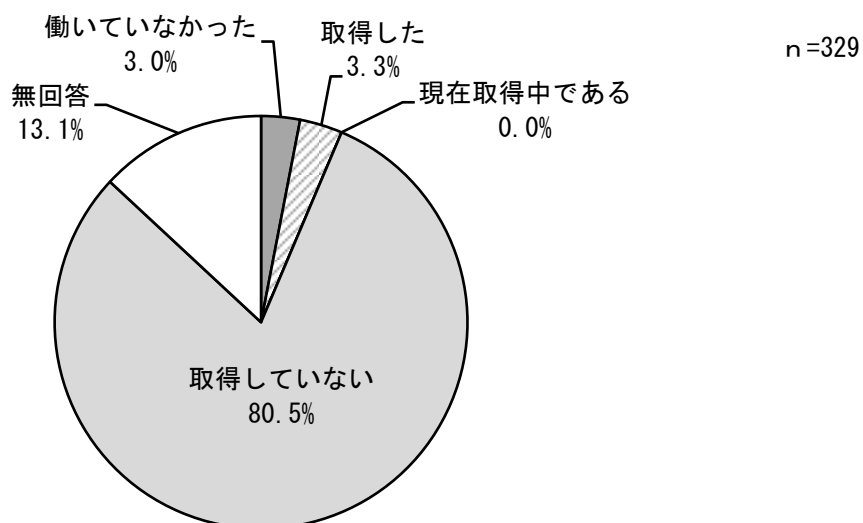
普段の就労時間帯は、「主に昼間の就労」が68.4%と最も多く、次いで「昼間・夜間の就労、いずれもある」が24.5%、「主に夜間の就労」が0.7%となっています。



(12) 育児休暇取得の有無

問 12 宛名のお子さんが生まれたとき、育児休業を取得しましたか。(1つに○)

子どもが生まれたとき、育児休業を取得したかは、「取得していない」が80.5%と最も多く、次いで「取得した」が3.3%、「働いていなかった」が3.0%となっています。



【取得していない理由】

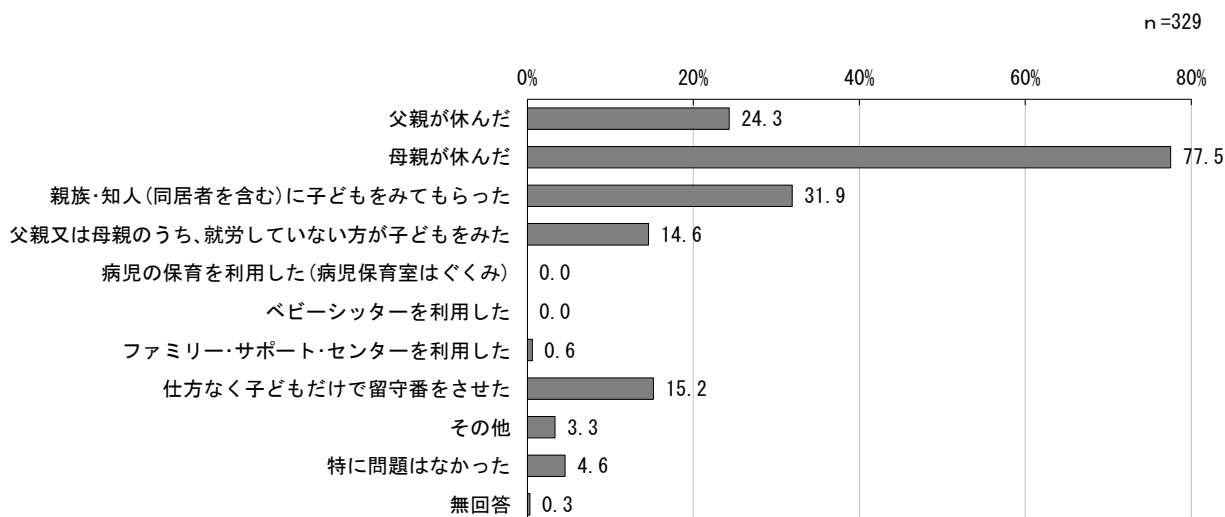
- なかなか男性は取得しづらく、母親が取得できたからしなかった。
- 自営だったため
- 取得できる環境ではなかった

お子さんの病気等の対応について

(13) 子どもが病気・病気の回復期等で学校を休んだ場合の対応方法

問 13 宛名のお子さんが、病気やけがで学校をお休みした場合に、この1年間に行った対処方法についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

子どもが、病気やけがで学校をお休みした場合に、この1年間に行った対応方法は、「母親が休んだ」が77.5%と最も多く、次いで「親族・知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった」が31.9%、「父親が休んだ」が24.3%となっています。



【その他】

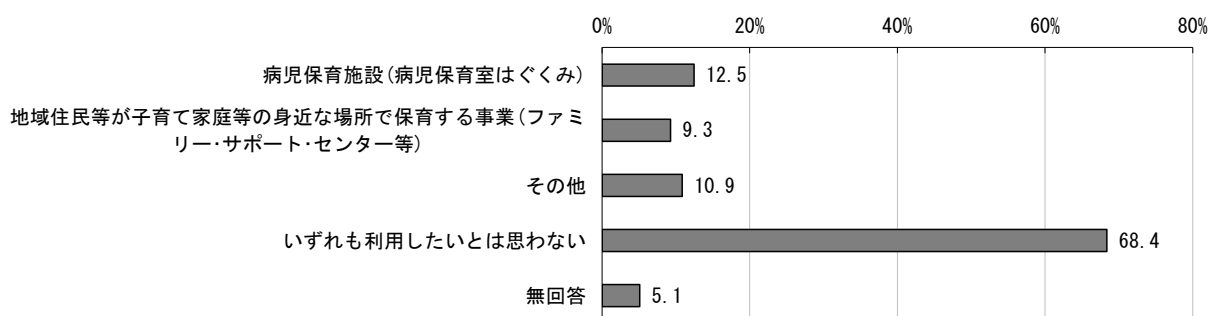
- 病気の時は、やはり父親より母親の方が安心するので母親が休んだ。
- 父親の休みの時に重なることが多かった
- 母親が働いていないので、全て1人で対応
- 就労形態が柔軟なため、休む必要はない。
- その日は母仕事でしたが、会社に連絡し午前の早い時間に病院受診させてもらい、子どもの病状も軽かったため受診後出勤しました。子どもは二世帯同居の義父母に母の帰宅まで見守りをお願いしました。
- 日中は母、夜間は父が対応します。

(13-1) 病児・病後児のための保育施設等の利用意向

問 13-1 問 13 で「1～9」を選んだ方にうかがいます。
宛名のお子さんが病気やけがの際、以下の病児・病後児のための保育施設等を今後（も）利用したいですか。（あてはまるものすべてに○）

子どもが病気やけがの際、利用したい病児・病後児のための保育施設等は、「いずれも利用したいとは思わない」が 68.4%と最も多く、次いで「病児保育施設（病児保育室はぐくみ）」が 12.5%、「その他」が 10.9%となっています。

n=313



【その他】

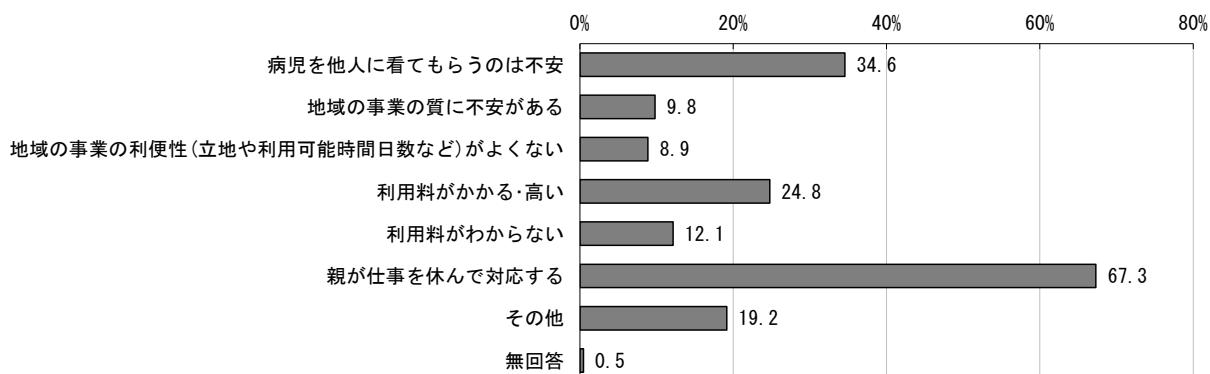
- 病気の子の心境として親がそばにいた方が安心するので、できる限り休みをもらってるけどどうしても…という時に施設が頭にうかぶことがある。
- 利用してみたいが、病気やケガの際は親がみてあげた方が子どもは安心するのではとってしまう
- 子どもの体調が悪い時は、可能な限り休んで一緒にいてあげたい
- 学童などでできると助かる（普段利用していない人も）→同じく普段、利用していない人も夏休みや土曜・祝日などもっと気軽に短期で利用できると助かる。身体を動かしてみたり、体験をできたり、そういうイベントがあると安心して子供をあずけられる。
- 利用しなくてもどちらかが休むので問題ない
- 存在を知りませんでした
- 預けてみたいが、車がないため、厳しい
- 使い方が分からない
- 転勤するため利用しない

(13-2) 病児・病後児のための保育施設等を利用したくない理由

問 13-2 問 13-1 で「4」を選んだ方にうかがいます。
利用したいと思わない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

利用したいと思わない理由は、「親が仕事を休んで対応する」が 67.3%と最も多く、次いで「病児を他人に看てもらうのは不安」が 34.6%、「利用料がかかる・高い」が 24.8%となっています。

n=214



【その他】

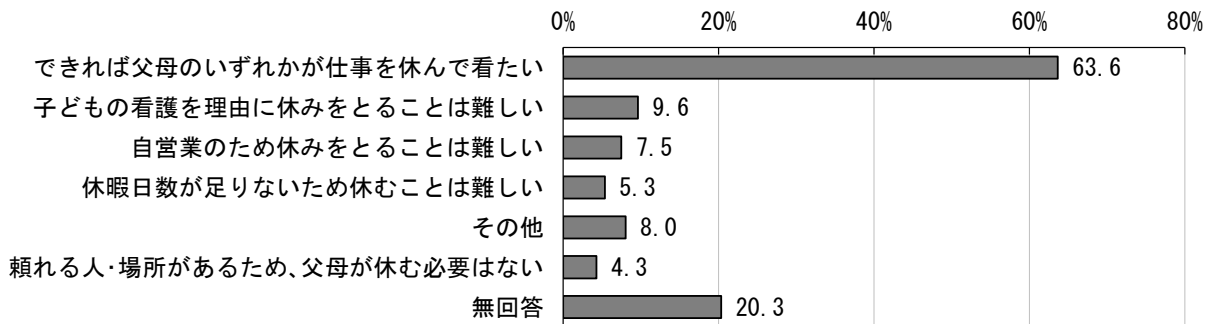
- 子の心境として親がそばにいた方が安心するかと思う
- 子ども自身が利用したがないため
- 子どもが一人で留守番できるため、1人でいても何かあれば自分で連絡ができる
- 融通がきくので困ったことがないから
- 母親が家にいるので利用しなくてもいい
- 子どもが安心できる方を選ぶ
- 医療ケア児を看ってくれる所がないと思う
- はぐのは、事前登録があるので不便。急にカゼひくのに、使用出来ずみんな不便といっている。
- 母親も気軽に仕事を休める環境であり、更に祖父母も近くにいるため。
- 病児保育室は他の感染症をもらわないか心配、ファミサポは一般の方に病児をみてもらうのは申し訳ないし心配でもある

(13-3) 仕事を休んで看たいか

問 13-3 問 13 で「3～9」を選んだ方にうかがいます。
宛名のお子さんが病気やけがの際、仕事を休んで看たいと思われませんか。(あてはまるものすべてに○)

子どもが病気やけがの際、仕事を休んで看たいと思うかは、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」が 63.6%と最も多く、次いで「子どもの看護を理由に休みをとることは難しい」が 9.6%、「その他」が 8.0%となっています。

n=187



【その他】

- 子どもの症状が軽症の時は、数時間なら一人にしても大丈夫と思ったため
- 母親が働いていないので、対応ができる
- 今は就業していないので看られます
- 父母以外看る人がいないので、休まざるを得ない
- 就業形態が柔軟なため、休む必要がない。
- 病状などによります。親がそばにいた方が良い状態ならば仕事を休んでも看たいし、症状が安定しているのならば祖父母にお願いをして仕事に行きたい。
- 3人の子育てで、かわるがわるに体調崩す事もあり、有給が足りない。
- ピークを超えたから留守番させた。隔離期間の最後は元気すぎる。
- 軽い風邪程度なら、留守番もできる
- 休みは取れる環境ではあるが、休むと、周りに迷惑をかけるので、最低限しか休みを取っていない。

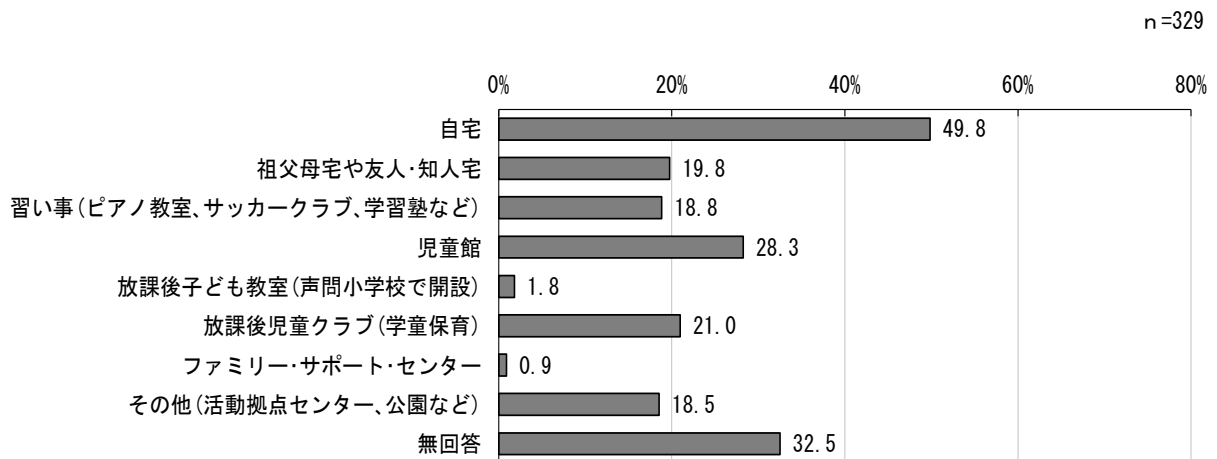
放課後の過ごし方について

(14) 放課後の時間を過ごさせたい場所

問 14 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。（低学年・高学年のそれぞれあてはまるものすべてに○）

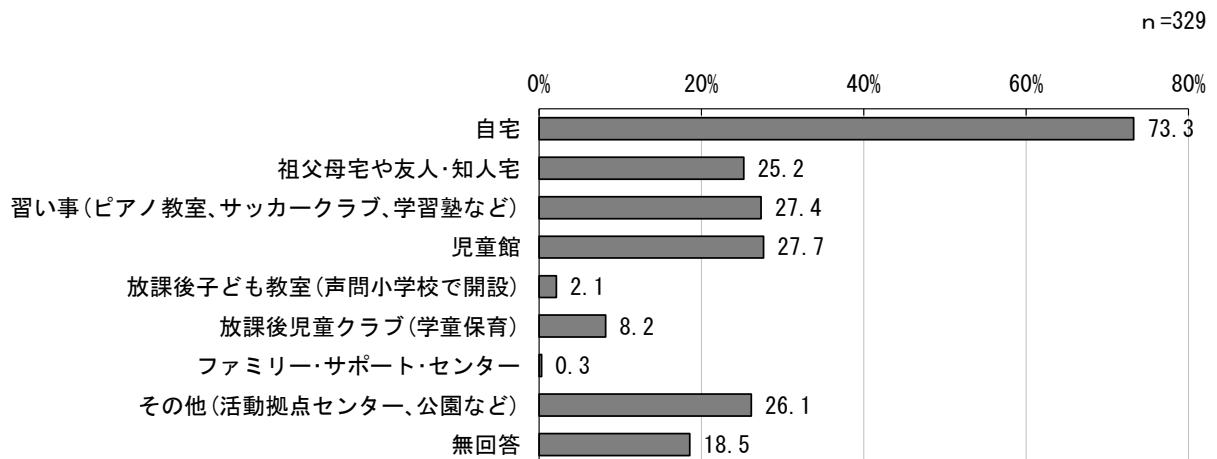
【1～3年生（低学年）】

放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごさせたい場所は、「自宅」が49.8%と最も多く、次いで「児童館」が28.3%、「放課後児童クラブ（学童保育）」が21.0%となっています。



【4～6年生（高学年）】

放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごさせたい場所は、「自宅」が73.3%と最も多く、次いで「児童館」が27.7%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が27.4%となっています。



(15) 放課後児童クラブの利用希望の有無

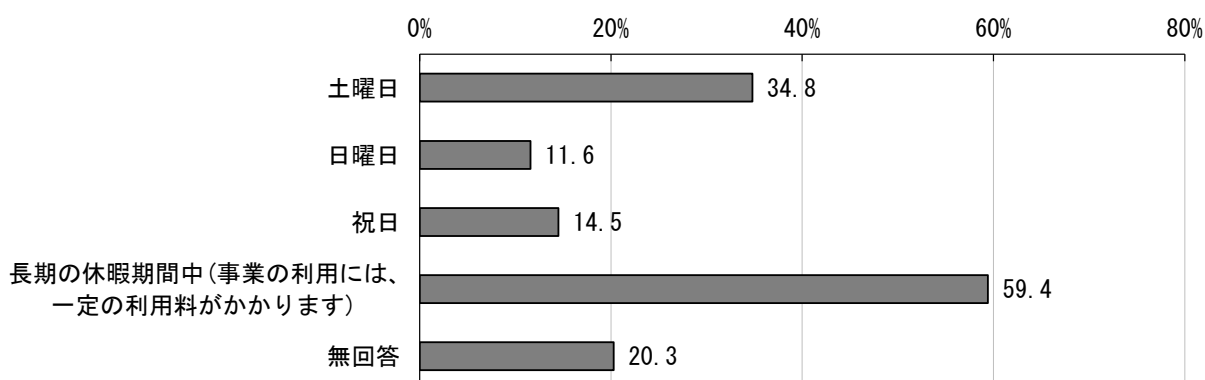
問 15 問 14 で「6」を選んだ方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜日、日曜・祝日、長期の休暇期間中に、放課後児童クラブの利用を希望しますか。(低学年・高学年のそれぞれあてはまるものに○)

【1～3年生（低学年）】

土曜日、日曜・祝日、長期の休暇期間中に、放課後児童クラブの利用を希望するかは、「長期の休暇期間中（事業の利用には、一定の利用料がかかります）」が 59.4%と最も多く、次いで「土曜日」が 34.8%、「祝日」が 14.5%となっています。

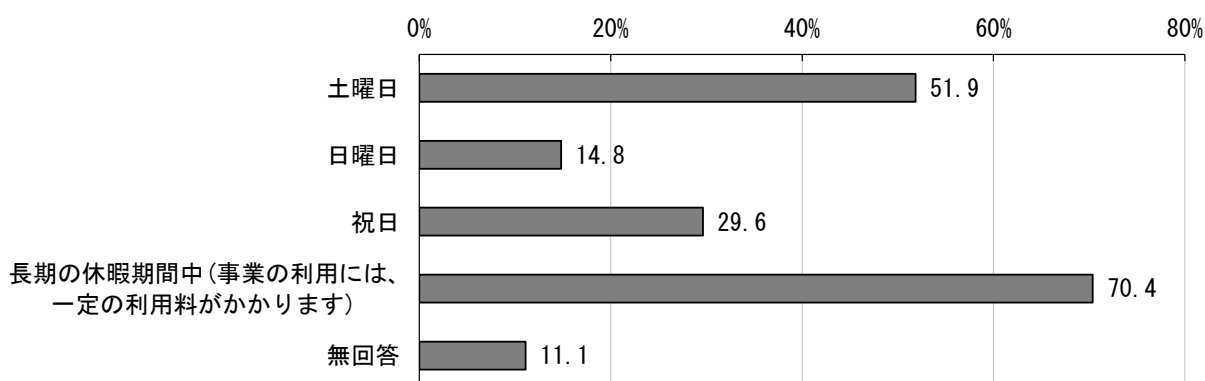
n=69



【4～6年生（高学年）】

土曜日、日曜・祝日、長期の休暇期間中に、放課後児童クラブの利用を希望するかは、「長期の休暇期間中（事業の利用には、一定の利用料がかかります）」が 70.4%と最も多く、次いで「土曜日」が 51.9%、「祝日」が 29.6%となっています。

n=27



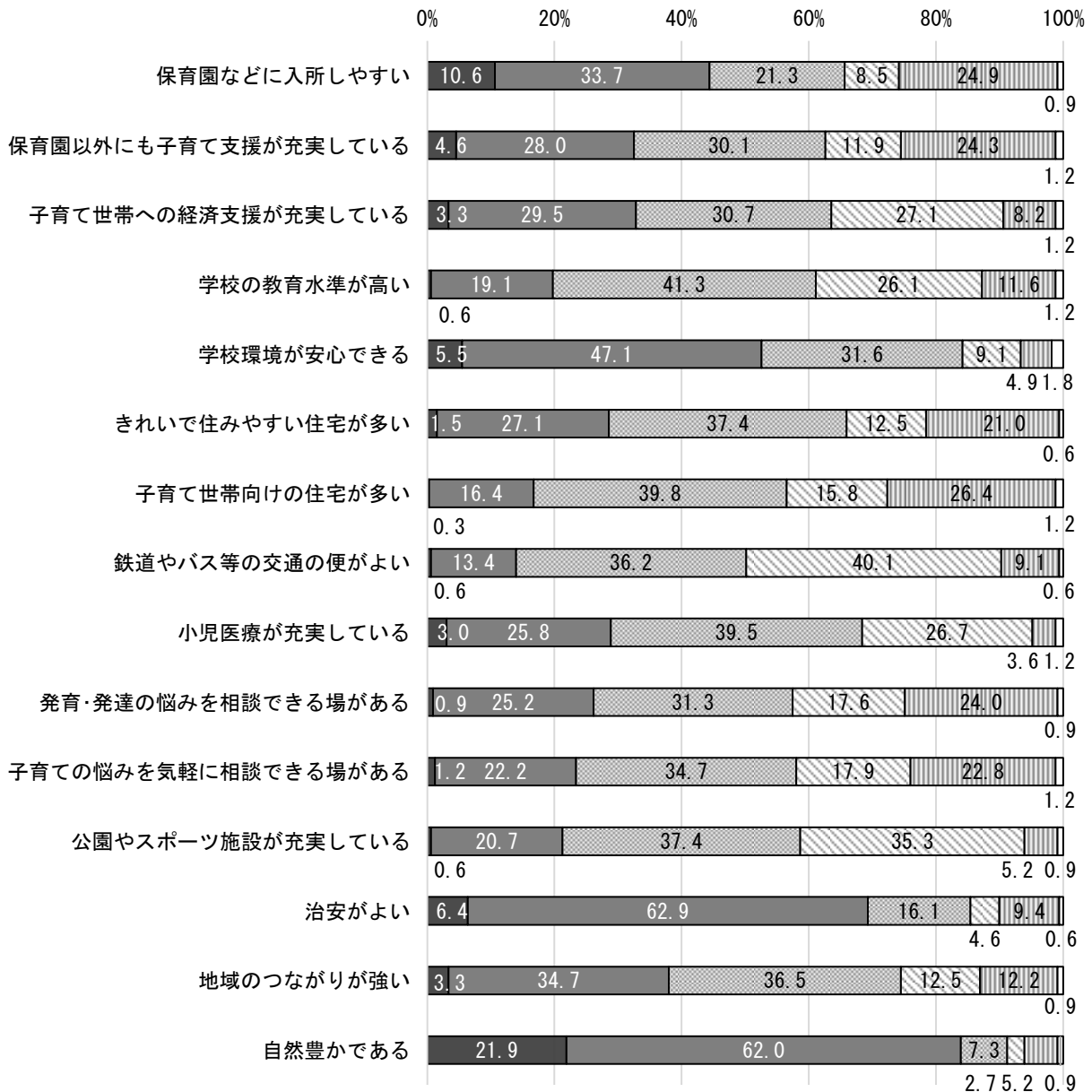
稚内市の子育て環境全般への評価や意向

(16) 稚内市の子育て環境について

問 16 稚内市の子育て環境について、以下の項目についてどのように感じていますか。(1つに○)

稚内市の子育て環境について感じていることは、「とてもそう思う」としては、「自然豊かである」が21.9%と最も多く、次いで「保育園などに入所しやすい」が10.6%、「治安がよい」が6.4%となっています。

「そう思わない」としては、「鉄道やバス等の交通の便がよい」が40.1%と最も多く、次いで「公園やスポーツ施設が充実している」が35.3%、「子育て世帯への経済支援が充実している」が27.1%となっています。

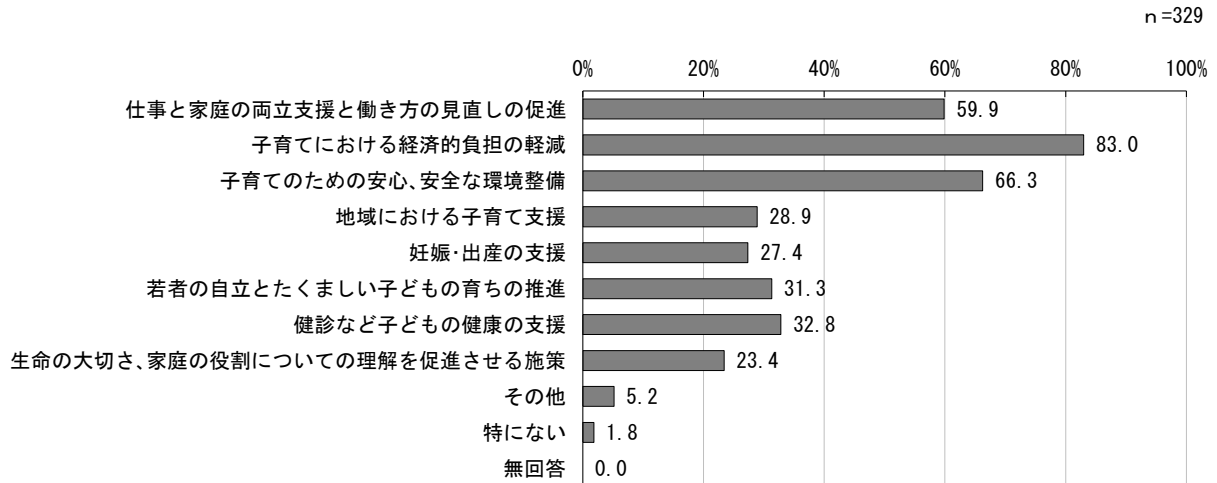


■とてもそう思う □そう思う □あまりそう思わない □そう思わない □わからない □無回答

(17) 望ましい子育て支援施策

問 17 あなたにとって望ましい子育て支援施策は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

望ましい子育て支援施策は、「子育てにおける経済的負担の軽減」が 83.0%と最も多く、次いで「子育てのための安心、安全な環境整備」が 66.3%、「仕事と家庭の両立支援と働き方の見直しの促進」が 59.9%となっています。



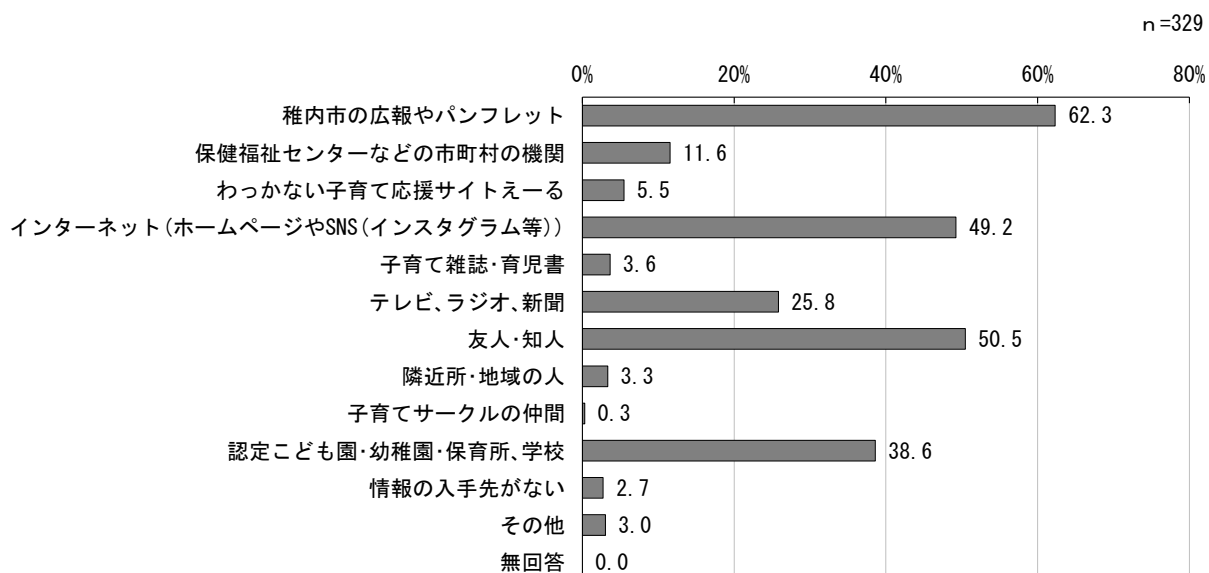
【その他】

- 長期間対応の放課後デイがほしい
- 子どもの健康な支援ができる施設の構築
- 学力の向上のための支援、図書館などの充実
- 親への教育。
- 児童虐待や育児放棄に踏み込む姿勢
- 父親の積極的な子育て
- 子どもが集まって遊べる場所があまりない。学校に遊具がなかったり、放課後、バスで帰宅すると遠いので遊びにいけないなど。
- 公園等の屋外で遊べる場所を増やしてほしい（水遊びも出来るようになるとさらに良い）
- 障害児を含めた子育て支援施策の必要性を強く感じる。障害者、児に対する支援があまりにも無い。行政は差別化しているのではと疑ってしまう。

(18) 子育て施策の情報の入手先

問 18 子育てに必要な施策などの情報をどのように入手されていますか。(あてはまるものすべてに○)

子育てに必要な施策などの情報の入手方法は、「稚内市の広報やパンフレット」が 62.3%と最も多く、次いで「友人・知人」が 50.5%、「インターネット（ホームページやSNS（インスタグラム等）」が 49.2%となっています。



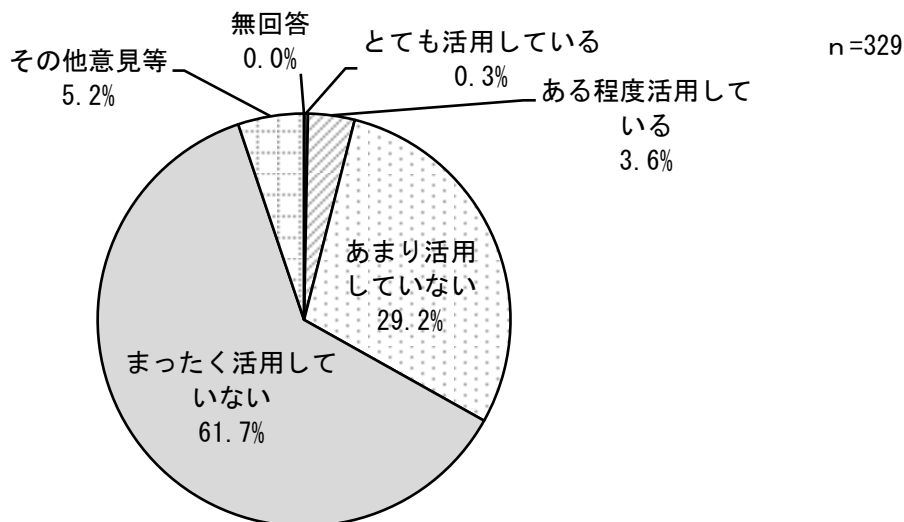
【その他】

○学校からのチラシなど、まちこみアプリ／キタカラ等にある掲示板／家族から／職場

(19) 子育てファイル「あゆみ」の活用頻度

問 19 子育てファイル「あゆみ」は、保護者がお子さんの成長を記録しながら、お子さんを見守るツールとして役立てていくため、稚内市が平成 28 年 4 月から、お子さんがいる家庭に配布しています。子育てファイル「あゆみ」をどの程度活用していますか。(1つに○)

子育てファイル「あゆみ」をどの程度活用しているかは、「まったく活用していない」が 61.7%と最も多く、次いで「あまり活用していない」が 29.2%、「その他意見等」が 5.2%となっています。



【まったく活用していない理由】

- 必要性がわかりません
- そもそも時間をそこに割けなかった、忙しいので。
- もらっていない
- 途中でもらったため、活用しよう！という気持ちになれない。
- 母子手帳で充足している
- 別のツール（スマホ等を使っているので）
- 存在を知らない
- 記入するのがめんどろ、なくても困らない
- 存在を忘れていた
- 活用場面が不明

【その他意見等】

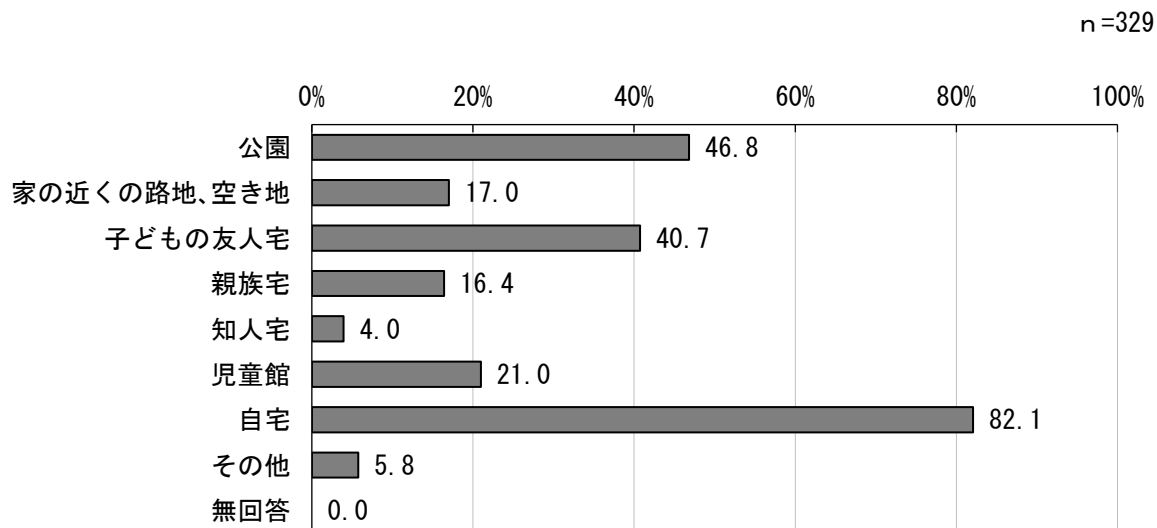
- 持っていない
- 忘れていたため
- 今年度転居してきたため、持っていません。
- 「あゆみ」の存在を知らない
- 配布された当時はこまめに記録していましたが、子どもが成長するにつれ活用頻度が減りました。

子どもの居場所

(20) 日中にあそぶ場所

問 20 お子さんは学校以外で、日中にはどこで遊ぶことが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

学校以外で、日中にはどこで遊ぶことが多いかは、「自宅」が82.1%と最も多く、次いで「公園」が46.8%、「子どもの友人宅」が40.7%となっています。



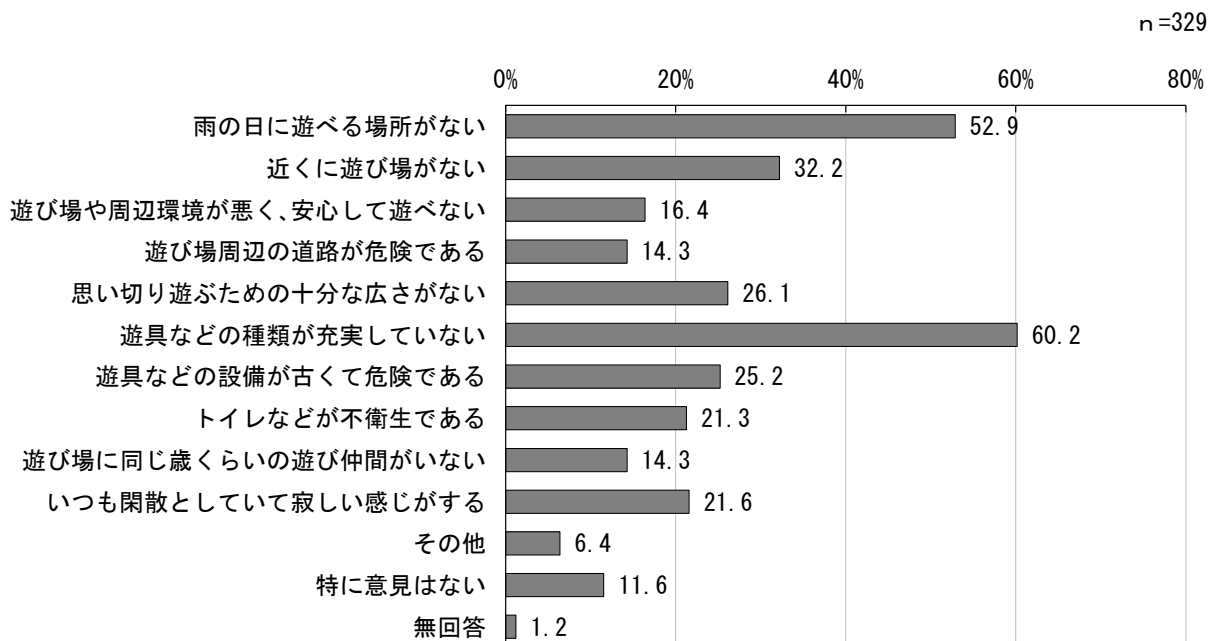
【その他】

ゲームセンター／放課後ディ／体育館／キタカラ／学童保育／道立ふれあい公園／学校のグラウンド

(21) 子どもの遊び場で困ること・困ったこと

問 21 子どもの遊び場で困ること・困ったことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

子どもの遊び場で困ること・困ったことは、「遊具などの種類が充実していない」が60.2%と最も多く、次いで「雨の日に遊べる場所がない」が52.9%、「近くに遊び場がない」が32.2%となっています。



【その他】

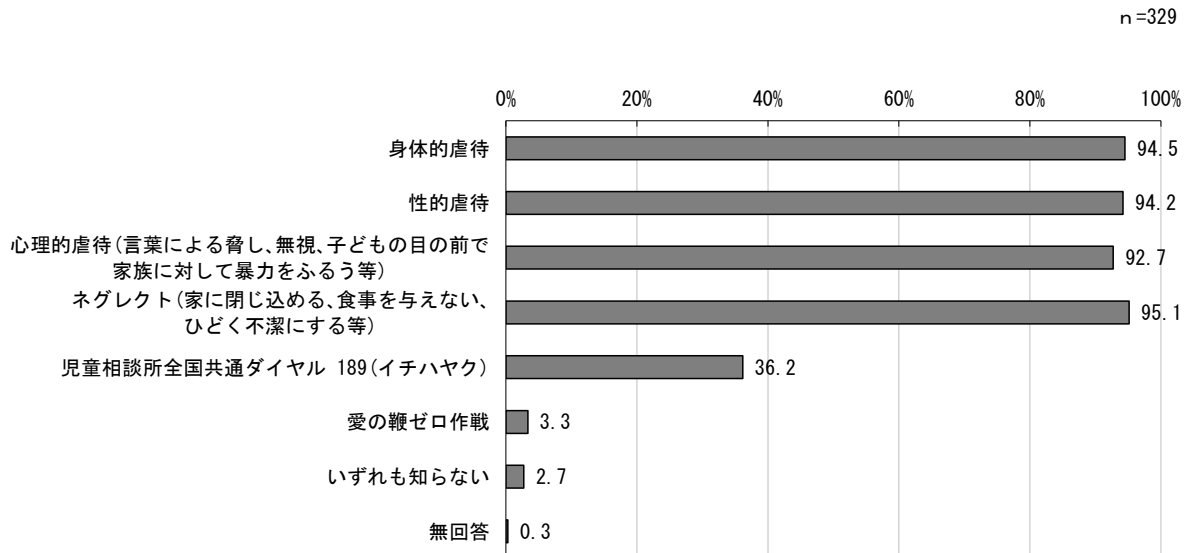
- もっと子どもが遊べる場所や施設がほしいです。
- 時計があると良い
- 壊れた遊具が何年もそのまま
- 雪の日に遊べる場所がない、トイレがない（ちびっこ広場）、時計を設置してほしい○r 時報のチャイム（音楽）がほしい
- 寒かったり、雨、冬のあそぶ場所がほしい
- 公園はシカのフンだらけであそべない
- 大岬小学校のグラウンドになにも遊具がありません
- 幼児の遊び場は豊富だが、小学校中学年くらいになると楽しめなくなる
- 移動が車移動なので親が暇なときでないと送り迎えが出来ない。
- 水遊びが楽しくできる場所が近くにない。

児童虐待について

(22) 児童虐待について知っていること

問 22 児童虐待について知っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

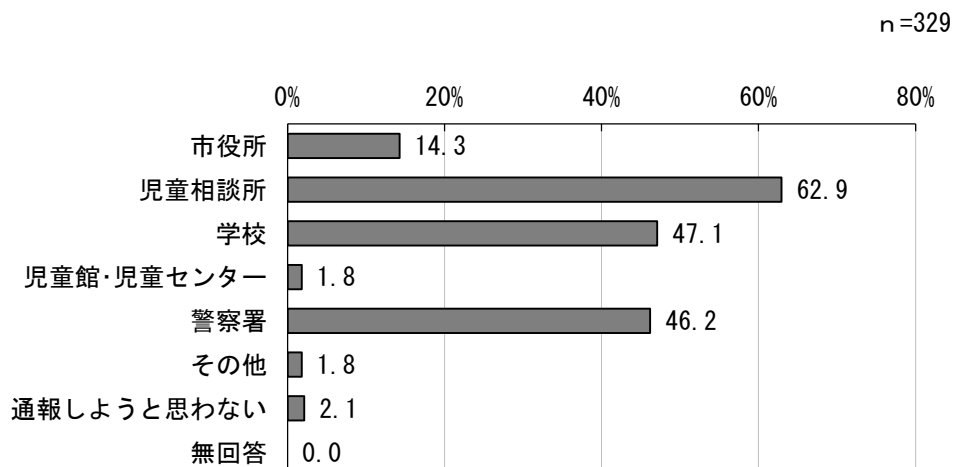
児童虐待について知っていることは、「ネグレクト(家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする等)」が95.1%と最も多く、次いで「身体的虐待」が94.5%、「性的虐待」が94.2%となっています。



(23) 児童虐待の通報先

問 23 児童虐待を見聞きした場合には、どちらに通報しようと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

児童虐待を見聞きした場合には、どこに通報しようと思うかは、「児童相談所」が62.9%と最も多く、次いで「学校」が47.1%、「警察署」が46.2%となっています。



【その他】

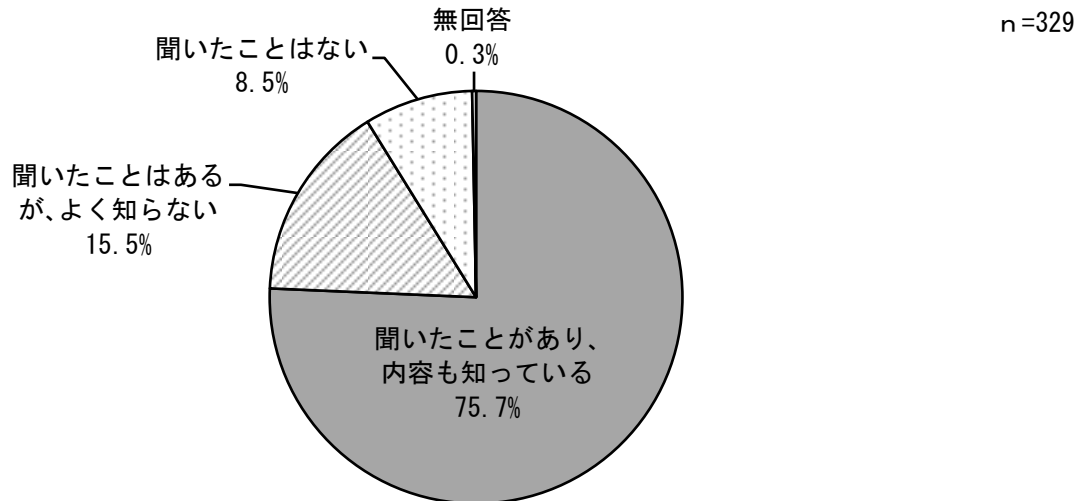
189 / 迷ってわからない / 職場

ヤングケアラー関係

(24) ヤングケアラーについて

問 24 あなたは、「ヤングケアラー」という言葉を知っていますか。(1つに○)

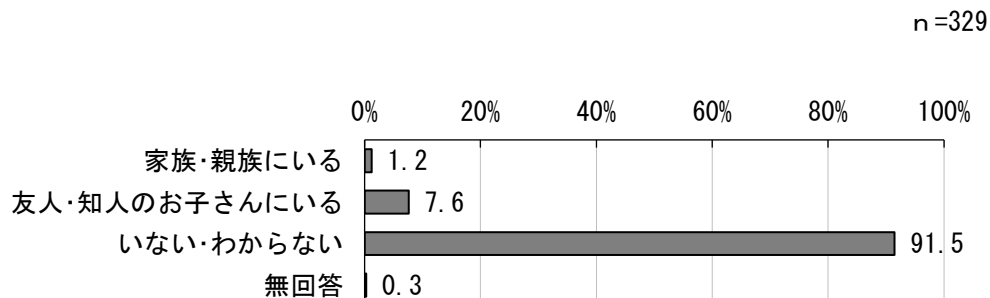
「ヤングケアラー」という言葉を知っているかは、「聞いたことがあり、内容も知っている」が75.7%と最も多く、次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」が15.5%、「聞いたことはない」が8.5%となっています。



(25) ヤングケアラーと思われるお子さんの有無

問 25 家族や親族、または友人・知人のお子さんにヤングケアラーと思われるお子さんはいますか。(あてはまるものすべてに○)

家族や親族、または友人・知人の子どもにヤングケアラーと思われる子どもがいるかは、「いない・わからない」が91.5%と最も多く、次いで「友人・知人のお子さんにいる」が7.6%、「家族・親族にいる」が1.2%となっています。

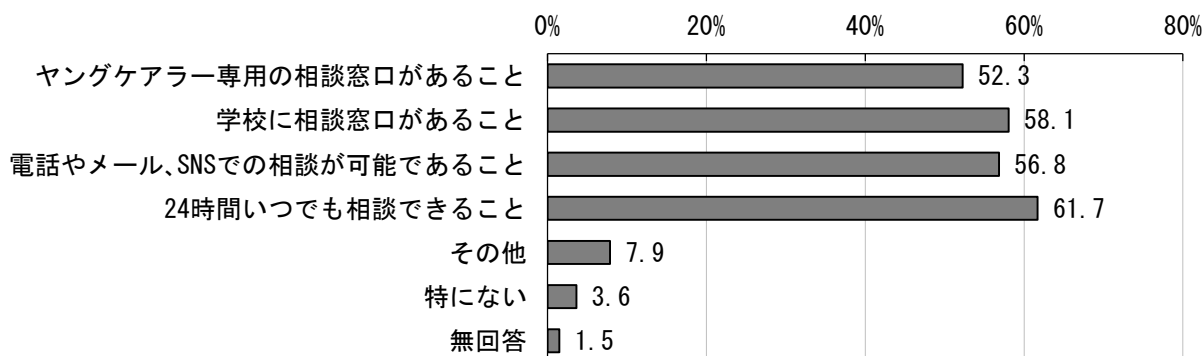


(26) ヤングケアラーへの支援として必要なこと

問 26 ヤングケアラーに関して、相談しやすい環境づくりとして必要なことはどんなことだと思いますか。当てはまる番号に○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

ヤングケアラーに関して、相談しやすい環境づくりとして必要だと思うことは、「24 時間いつでも相談できること」が 61.7%と最も多く、次いで「学校に相談窓口があること」が 58.1%、「電話やメール、SNSでの相談が可能であること」が 56.8%となっています。

n=329



【その他】

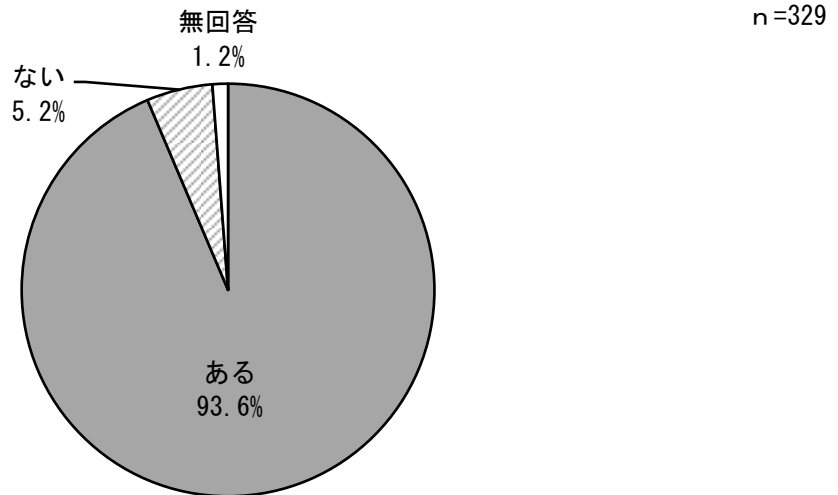
- ヤングケアラーにさせないために、親や祖父母支援が必要なのでは？色々な制度があることは知っているが、いざ利用しようとなると認定が受けられなかったり、手続きが大変だったりするように感じています。
- 通報するシステム
- 環境を作っても相談できないと思う
- 本人やまわりがヤングケアラーに関する情報、知識を知る
- 学校が子どもの家庭環境などの把握
- 子どもから日常生活を聞きとる
- 自身がヤングケアラーであり、辛ければ相談できるということを知るための方策（その環境当たり前になって自分がヤングケアラーであると気付かない子もいると思うので）
- 周りの大人の声掛け、気付き
- 学校に行けていない子への見守り。
- 買い物が出来る場所に相談窓口を置く

子どもへのスマホやネットの影響について

(27) スマホやタブレットを与えているか

問 27 子育てする中で、お子さんにスマホやタブレットを与える（動画を見せたり、ゲームで遊ばせたりする）ことはありますか。（1つに○）

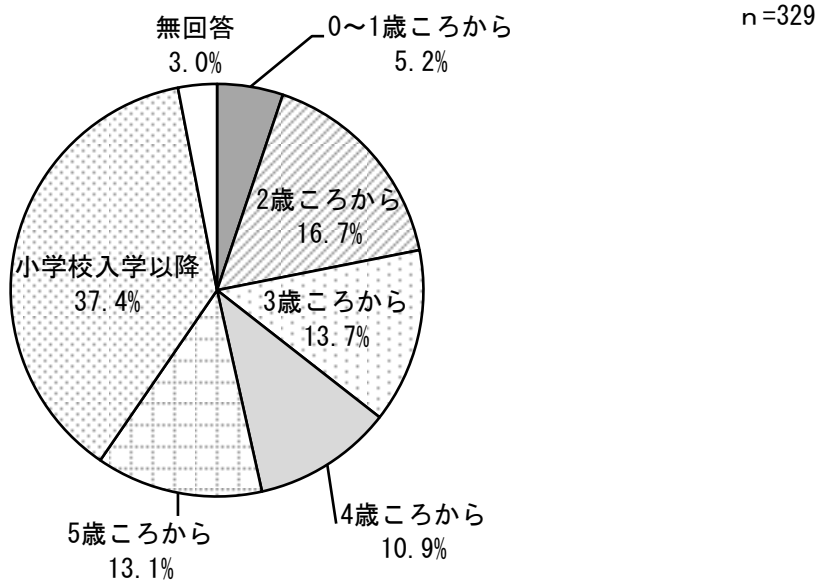
子どもにスマホやタブレットを与える（動画を見せたり、ゲームで遊ばせたりする）ことはあるかは、「ある」が93.6%、「ない」が5.2%となっています。



(28) 使用開始の年齢

問 28 お子さんが何歳のときからスマホやタブレットを使用（動画を見せたり、ゲームで遊ばせたりすること）していますか。（1つに○）

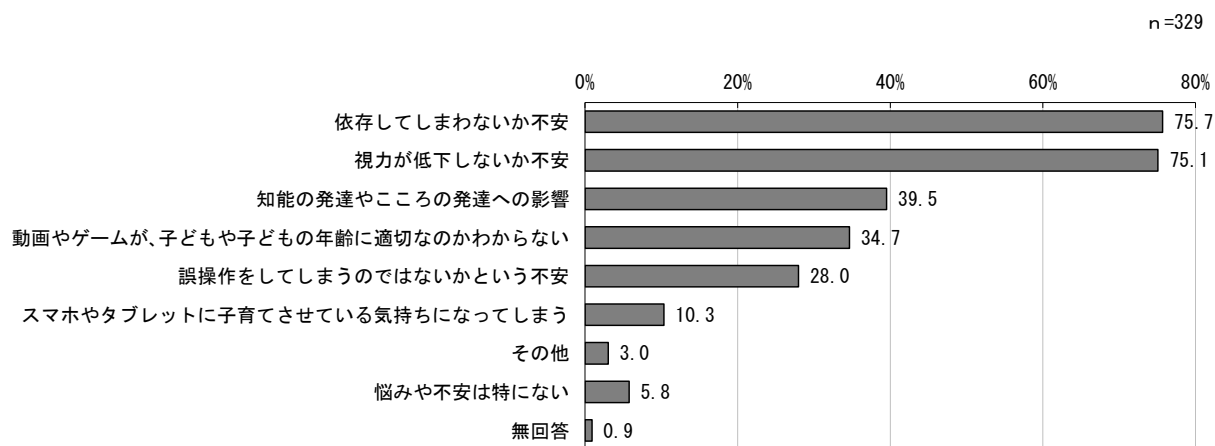
子どもが何歳のときからスマホやタブレットを使用（動画を見せたり、ゲームで遊ばせたりすること）しているかは、「小学校入学以降」が37.4%と最も多く、次いで「2歳ころから」が16.7%、「3歳ころから」が13.7%となっています。



(29) スマホやタブレットを与えることへの悩みや不安

問 29 子育てする中で、お子さんにスマホやタブレットを与えることに関して、悩みや不安はありますか。(あてはまるものすべてに○)

子どもにスマホやタブレットを与えることに関して、悩みや不安はあるかは、「依存してしまわないか不安」が 75.7%と最も多く、次いで「視力が低下しないか不安」が 75.1%、「知能の発達やこころの発達への影響」が 39.5%となっています。



【その他】

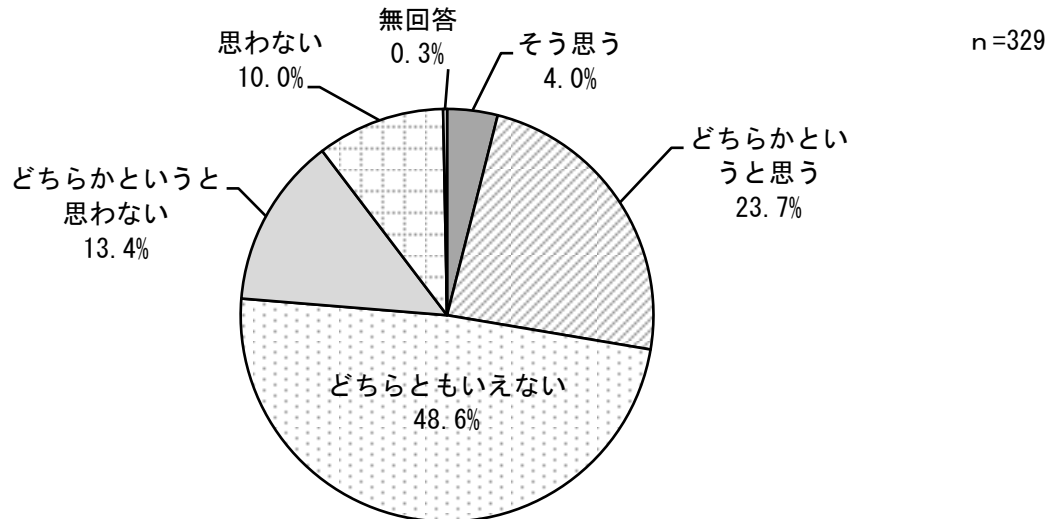
- 約束の範囲内での使用
- 会ったことのない人とのコミュニケーションの適切さ
- ネットリテラシー
- 例えば Youtube などは、大人が見るようなコンテンツをおすすめに出てくるので、見っ放しにさせている時もあるので、そういう時は心配になります。見たからといって、何か悪い方向へいく子ではないですが…
- 学校教育で必要以上にタブレットを使うことが心配

安全・安心な地域づくりについて

(30) 防犯活動について

問 30 地域における防犯活動が活発であると感じますか。(1つに○)

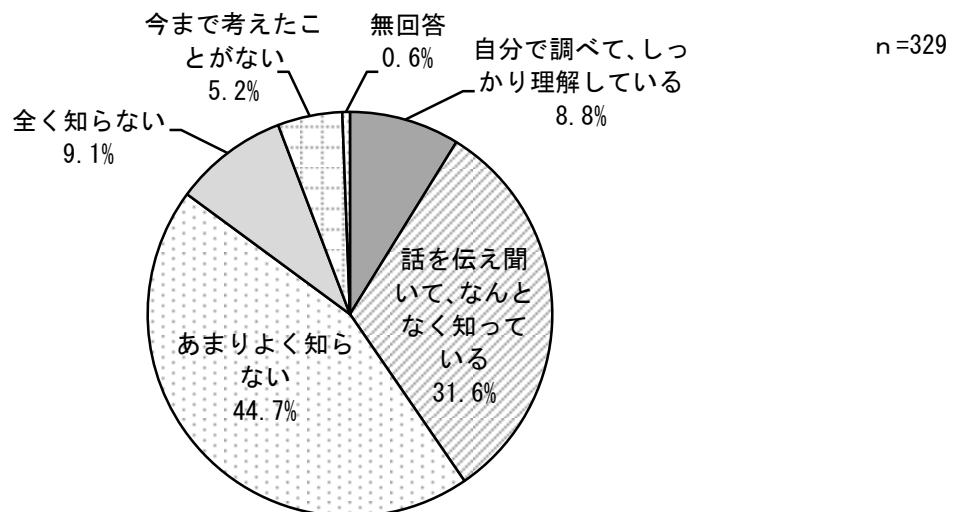
地域における防犯活動が活発であると感じるかは、「どちらともいえない」が48.6%と最も多く、次いで「どちらかというと思う」が23.7%、「どちらかというと思わない」が13.4%となっています。



(31) 災害を受ける可能性の知識の有無

問 31 現在生活している地域やお子さんが利用している施設の地域が、どのような災害を受ける可能性があるか知っていますか。(1つに○)

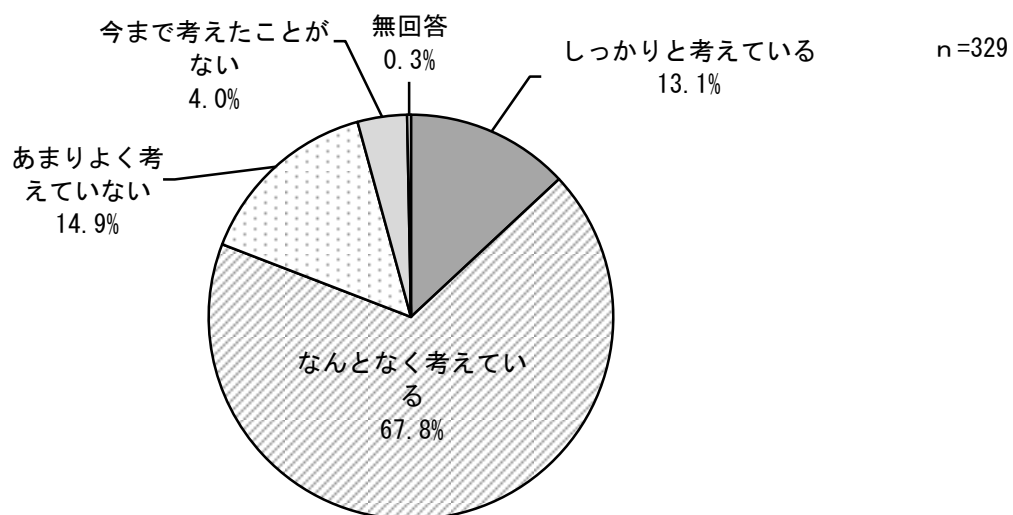
どのような災害を受ける可能性があるか知っているかは、「あまりよく知らない」が44.7%と最も多く、次いで「話を伝え聞いて、なんとなく知っている」が31.6%、「全く知らない」が9.1%となっています。



(32) 避難する方法

問 32 災害が発生したときに、子どもを連れて避難する方法を考えていますか。(あてはまるものすべてに○)

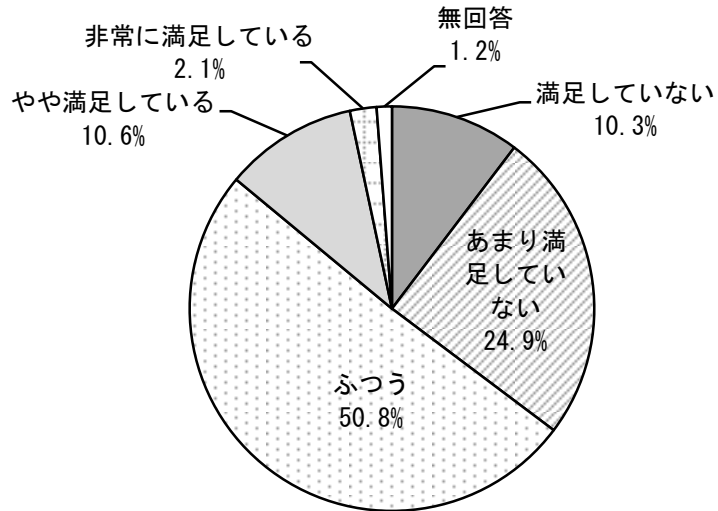
災害が発生したときに、子どもを連れて避難する方法を考えているかは、「なんとなく考えている」が67.8%と最も多く、次いで「あまりよく考えていない」が14.9%、「しっかりと考えている」が13.1%となっています。



(33) 子育て環境や支援への満足度

問 33 お住まいの地域における、子育て環境や支援への満足度についてお答えください。(1つに○)

子育て環境や支援への満足度は、「ふつう」が 50.8%と最も多く、次いで「あまり満足していない」が 24.9%、「やや満足している」が 10.6%となっています。



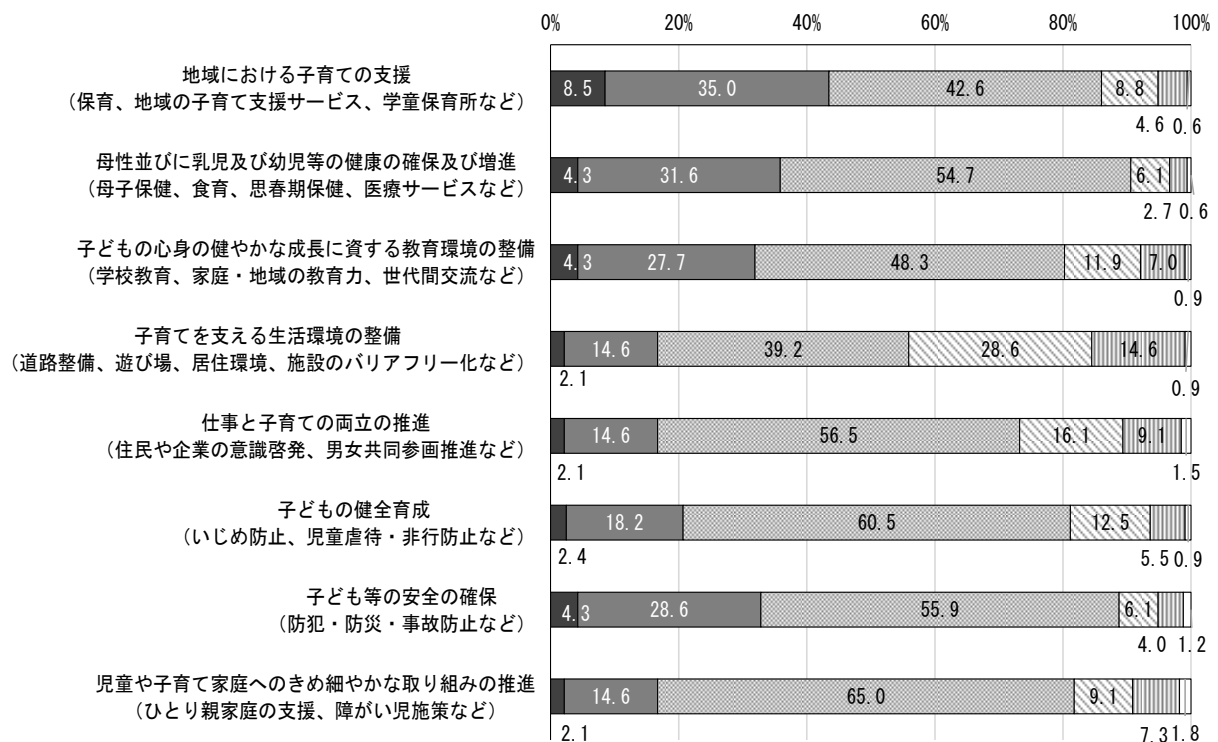
(34) 子育て支援の取り組みについて

問 34 市の子育て支援の取り組みについてどのように感じますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

【現状の評価】

市の子育て支援の取り組みについてどのように感じるかは、「満足している」としては、「地域における子育ての支援（保育、地域の子育て支援サービス、学童保育所など）」が 8.5%と最も多く、次いで「母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進（母子保健、食育、思春期保健、医療サービスなど）」、「子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備（学校教育、家庭・地域の教育力、世代間交流など）」、「子ども等の安全の確保（防犯・防災・事故防止など）」がそれぞれ 4.3%となっています。

「どちらかといえば不満である」としては、「子育てを支える生活環境の整備（道路整備、遊び場、居住環境、施設のバリアフリー化など）」が 28.6%と最も多く、次いで「仕事と子育ての両立の推進（住民や企業の意識啓発、男女共同参画推進など）」が 16.1%、「子どもの健全育成（いじめ防止、児童虐待・非行防止など）」が 12.5%となっています。

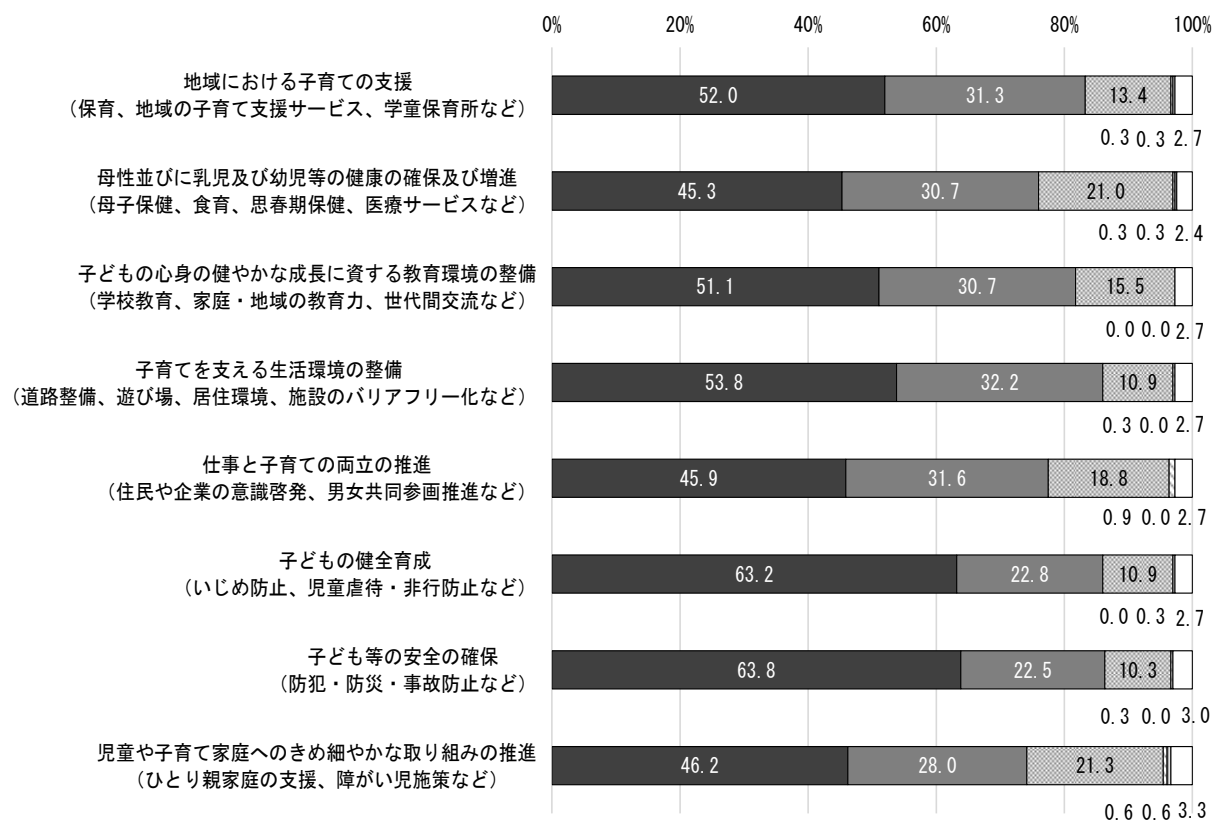


■満足している ■どちらかといえば満足している ■どちらともいえない □どちらかといえば不満である □不満である □無回答

【今後の重要度】

今後の重要度は、「重要である」としては、「子ども等の安全の確保（防犯・防災・事故防止など）」が63.8%と最も多く、次いで「子どもの健全育成（いじめ防止、児童虐待・非行防止など）」が63.2%、「子育てを支える生活環境の整備（道路整備、遊び場、居住環境、施設のバリアフリー化など）」が53.8%となっています。

「どちらかといえば重要ではない」としては、「児童や子育て家庭へのきめ細やかな取り組みの推進（ひとり親家庭の支援、障がい児施策など）」が21.3%と最も多く、次いで「母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進（母子保健、食育、思春期保健、医療サービスなど）」が21.0%、「仕事と子育ての両立の推進（住民や企業の意識啓発、男女共同参画推進など）」が18.8%となっています。



■重要である ■どちらかといえば重要である □どちらともいえない □どちらかといえば重要ではない □重要ではない □無回答

(35) 自由意見

問 35 お住まいの地域の教育・保育環境の充実など、子育て環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

※自由意見については、別にまとめています。

**稚内市「第3期子ども・子育て支援事業計画」
策定のためのアンケート調査 結果報告書**

発行年月：令和6年3月

発行：稚内市

編集：教育委員会 教育部こども課

住所：〒097-8686

北海道稚内市中央3丁目13番15号

電話：0162-23-6529／0162-23-6530